

こども計画策定に係るアンケート調査

令和8年3月
北栄町

目 次

第1章 保護者アンケート調査結果	1
I 調査の概要	1
II 調査結果の概要	2
III 調査結果	3
1 属性	3
2 回答者の属性	5
3 子育て環境について	7
4 子育てに関する情報について	26
5 対象のお子さまについて	33
6 ヤングケアラーについて	39
7 子育て環境に対する評価について	45
8 自由意見	52
第2章 こども・青年期アンケート調査結果	53
I 調査の概要	53
II 調査結果の概要	54
III 調査結果	55
1 属性	55
2 普段の生活について	58
3 勉強について	71
4 自分の持ち物について	76
5 自分自身について	82
6 虐待やいじめについて	92
7 ヤングケアラーについて	96
8 外出について	105
9 自立について	106
10 将来について	109
11 こども・若者の権利について	115
12 自由意見	119

第1章 保護者アンケート調査結果

I 調査の概要

(1)調査目的

本調査は、北栄町こども計画の策定にあたり、本町の子育て世帯の状況等を把握し、本町がこれから取り組んでいく事業の計画の策定に向けた基礎資料とすることを目的として実施した。

(2)調査方法

- 1) 調査対象： 就学前児童の保護者 431 人、小学 1～2年生の保護者 216 人
- 2) 調査期間： 令和7年12月26日～令和8年1月 28 日まで
- 3) 調査方法：園、小学校を通じて配布・インターネットによる回答

(3)回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	431 票	192 票	44.5%
小学1～2年生	216 票	68 票	31.5%

(4)報告書の見方

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100.0%とならない場合がある。
- ・図表中の「n」は number of cases の略で、回答数総数または分類別の回答者数を示す。各比率はnを 100.0%として算出している。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- ・自由記述の回答は、趣旨を変えない範囲で要約し記述している。

Ⅱ 調査結果の概要

◆北栄町の子育て環境について

8割以上の保護者が本町の子育て環境を「子育てしやすい」と回答している。(p.7)また、乳幼児健診や予防接種、保育・教育の質など、基盤的な子育て支援施策が概ね高く評価されていることが明らかとなった。(p.45)一方で、虐待防止やヤングケアラー支援、ひとり親家庭の支援といった専門性を要する領域については、「わからない」とする回答が多く、施策内容の周知や具体的支援体制の明確化が課題として浮き彫りになった。(p.46)

◆子育てにおける家事負担や経済的負担について

家庭内での子育て、家事負担では母親の負担割合が平均約6割と高く、家事育児の偏りを感じている保護者が多数を占めていた。(p.10~12)子育てにおいて、負担に感じている費目については、食費や住宅費、光熱水費などが高くなっている。(p.16)物価高騰による子育てへの経済的な影響は約6割が感じており、生活の不安定さが子育てのしづらさに直結している様子がうかがえた。(p.18)

◆子育てに関する悩みについて

子育ての悩みとしては、こどものしつけや生活習慣、家事と仕事の両立、発育・発達に関する不安などが多く、とくに発達に関する相談体制の必要性が示された。(p.21)

◆地域の子育て環境について

地域とのつながりに関して、友人や相談相手が身近に存在するとの回答が多く、地域全体で子育てを支える仕組みは一定程度機能しているものの、困ったときにこどもを預かってもらえる環境が十分でない家庭もあり、支援への必要性には個人差が認められた。(p.23)また、子育て情報の入手経路は園・学校が中心であるものの、「子育てしにくい」と感じる層ではインターネット検索に依存する傾向があり、行政の情報が届きにくい層も存在していることも分かった。(p.29)

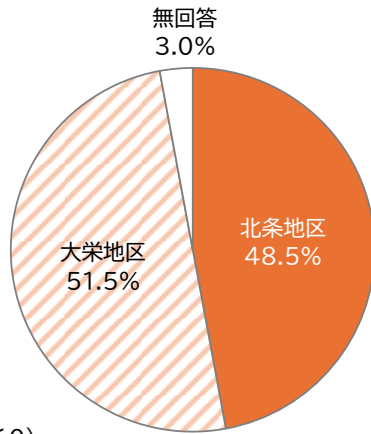
◆今後の課題と対策

これらの結果から、保護者に対しては、家事・育児の負担軽減策や経済的支援の強化に加え、発達支援や相談支援の周知・充実が求められる。また、地域の育ちの場の充実、多様な情報提供手段の整備など、家庭状況に応じたきめ細やかな支援体制の構築が必要である。

Ⅲ 調査結果

1 属性

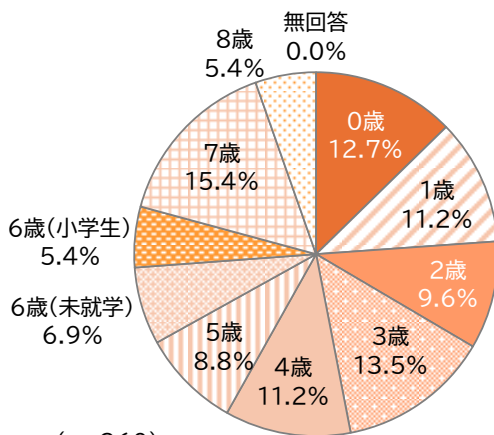
(1) 居住地区



(n=260)

	回答数	(%)
北条地区	126	48.5
大栄地区	134	51.5
無回答	-	-
合計	620	100.0

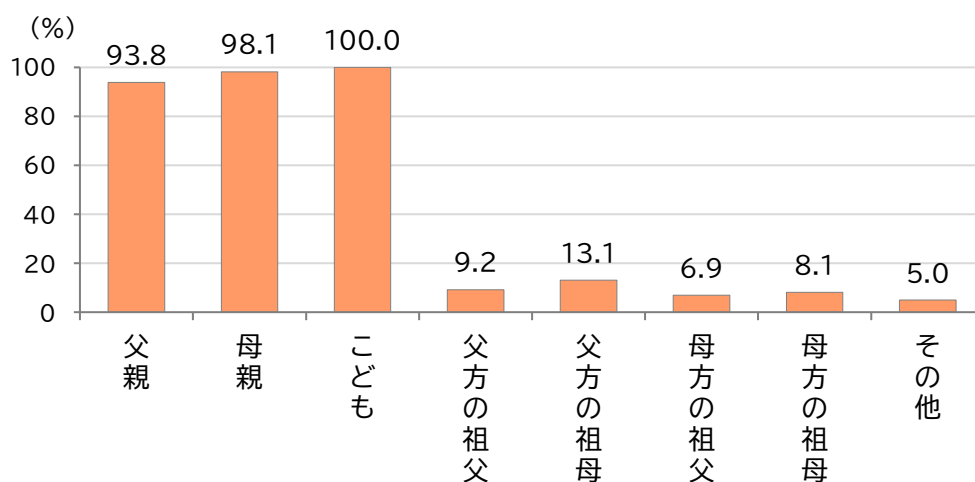
(2) 年齢



(n=260)

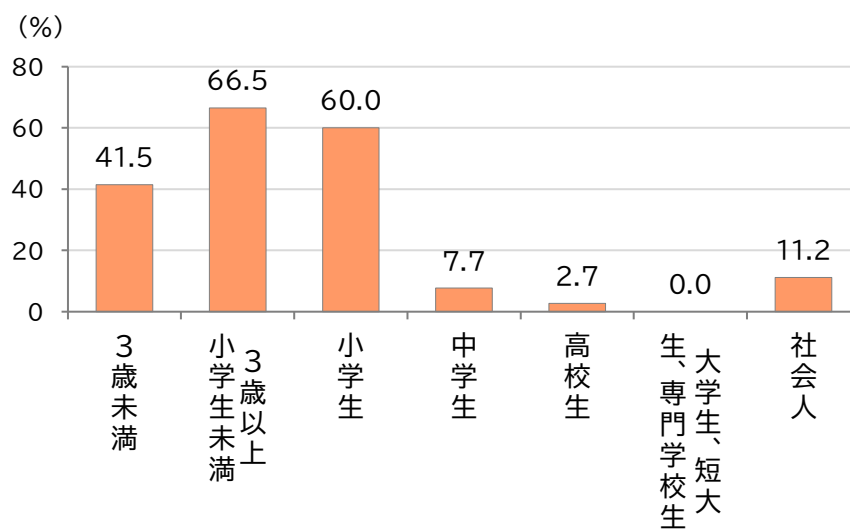
	回答数	(%)
0歳	33	12.7
1歳	29	11.2
2歳	25	9.6
3歳	35	13.5
4歳	29	11.2
5歳	23	8.8
6歳(未就学)	18	6.9
6歳(小学生)	14	5.4
7歳	40	15.4
8歳	14	5.4
無回答	-	-
合計	620	100.0

(3)同居の家族



	父親	母親	こども	父方の祖父	父方の祖母	母方の祖父	母方の祖母	その他
回答数	244	255	260	24	34	18	21	13
(%)	93.8	98.1	100.0	9.2	13.1	6.9	8.1	5.0

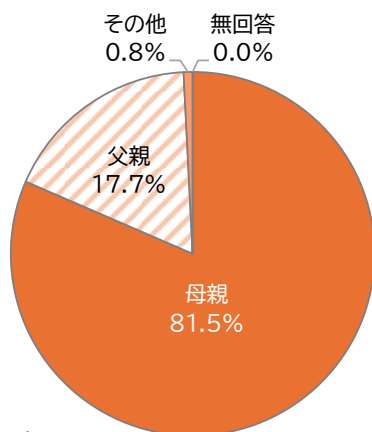
〈こどもの内訳〉



	3歳未満	3歳以上小学生未満	小学生	中学生	高校生	大学生、短大生、専門学校生	社会人
回答数	108	173	156	20	7	-	29
(%)	41.5	66.5	60.0	7.7	2.7	-	11.2

2 回答者の属性

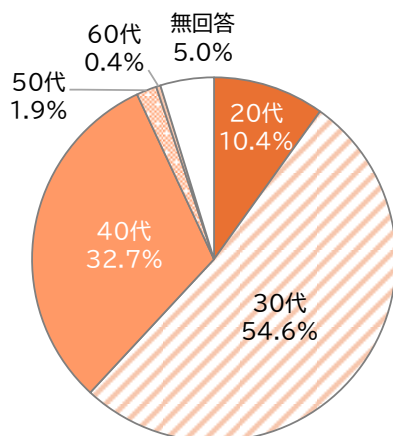
(1)回答者と子どもとの関係



(n=260)

	回答数	(%)
母親	212	81.5
父親	46	17.7
その他	2	0.8
無回答	-	-
合計	260	100.0

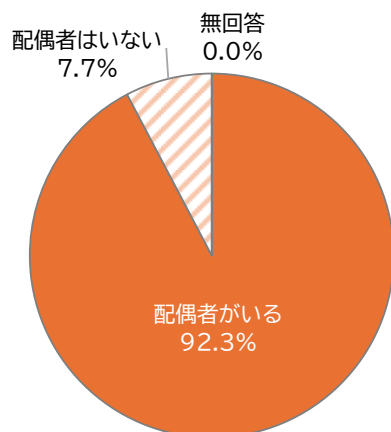
(2)回答者の年代



(n=260)

	回答数	(%)
20代	27	10.4
30代	142	54.6
40代	85	32.7
50代	5	1.9
60代	1	0.4
無回答	-	-
合計	260	100.0

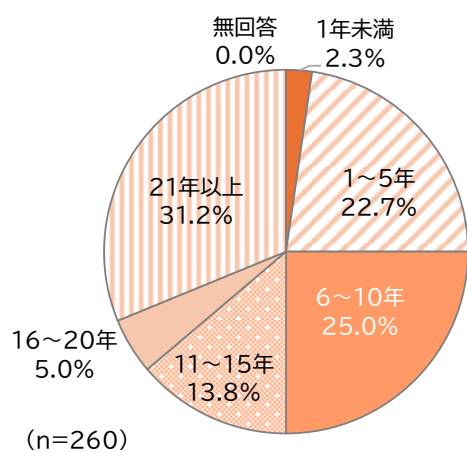
(3)配偶者の有無



(n=260)

	回答数	(%)
配偶者がいる	240	92.3
配偶者がいない	20	7.7
無回答	-	-
合計	260	100.0

(4)居住年数



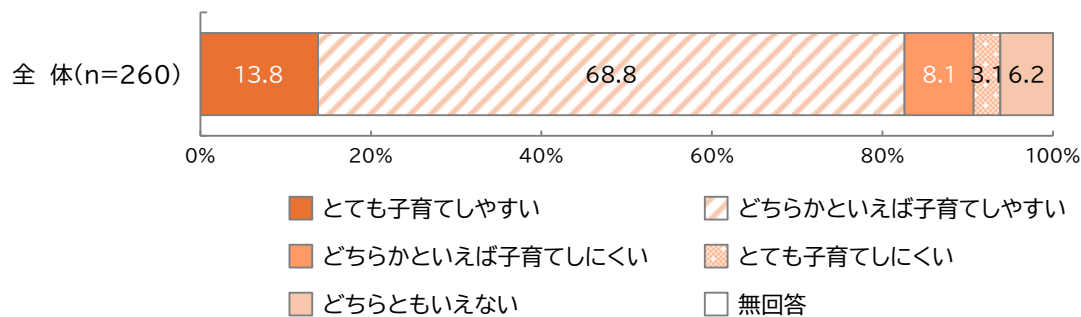
	回答数	(%)
1年未満	6	2.3
1年~5年	59	22.7
6年~10年	65	25.0
11年~15年	36	13.8
16年~20年	13	5.0
21年以上	81	31.2
無回答	-	-
合計	260	100.0

3 子育て環境について

(1)北栄町の子育て環境

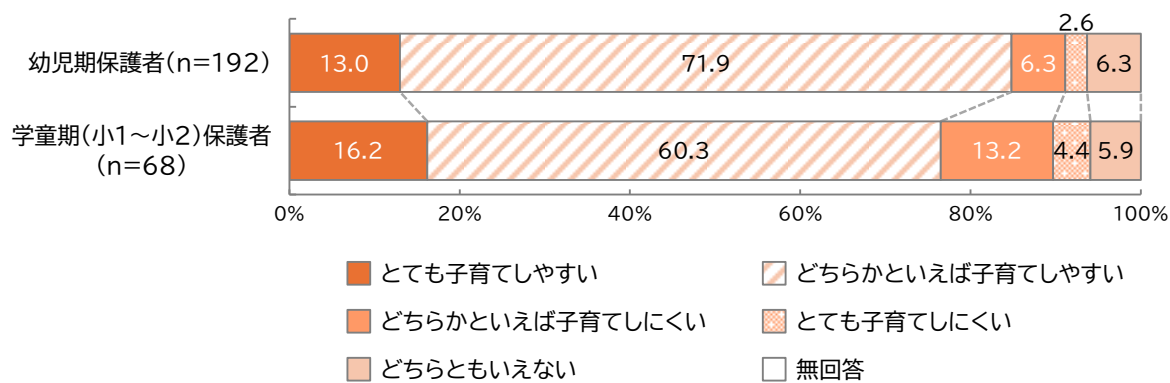
問:北栄町での子育てについて、どのように感じているかお答えください。(回答は1つ)

【北栄町の子育て環境】



北栄町の子育て環境について、『子育てしやすい』(「とても子育てしやすい」と「どちらかといえば子育てしやすい」を合わせた割合)との回答が 82.6%、『子育てしにくい』(「とても子育てしにくい」と「どちらかといえば子育てしにくい」を合わせた割合)との回答が 11.2%となっています。

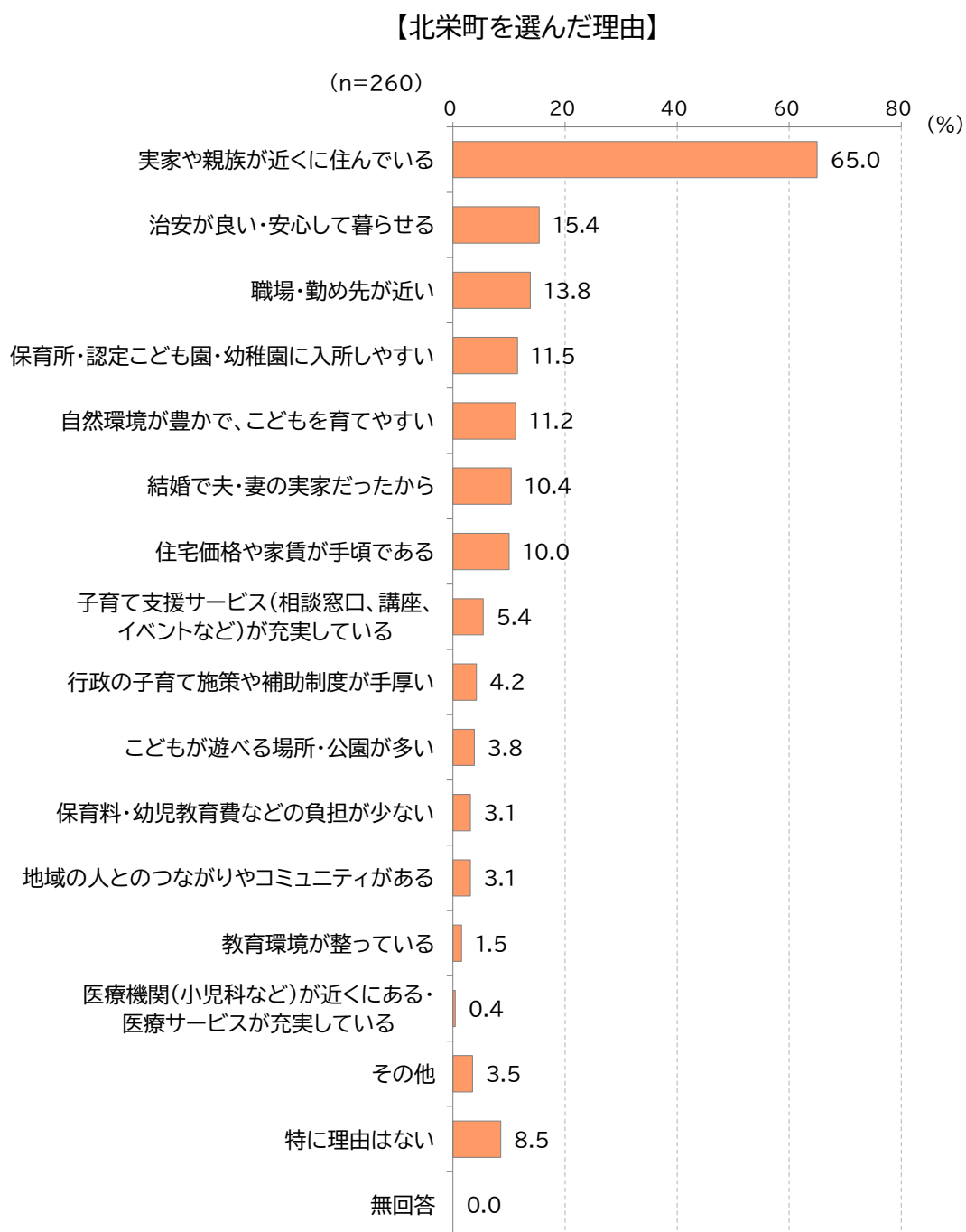
【北栄町の子育て環境(就学状況別)】



就学状況別にみると、『子育てしやすい』との回答は幼児期保護者(84.9%)が学童期保護者(76.5%)を 8.4 ポイント上回っています。

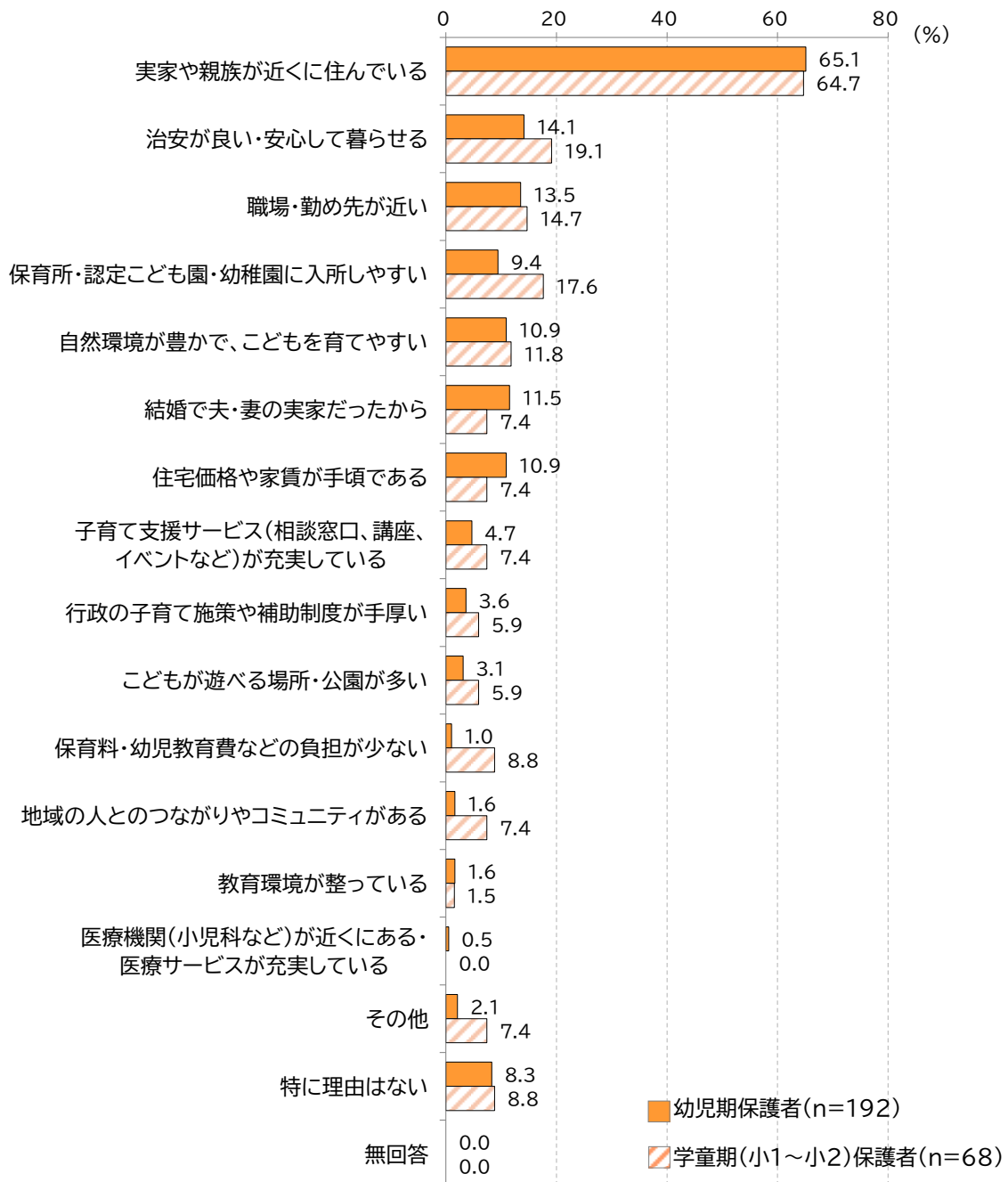
(2)北栄町を選んだ理由

問:あなたが、居住地に北栄町を選んだ理由をお答えください。(回答はあてはまるものすべて)



北栄町を選んだ理由について、「実家や親族が近くに住んでいる」との回答が 65.0%と最も高く、次いで「治安が良い・安心して暮らせる」(15.4%)、「職場・勤め先が近い」(13.8%)などの順となっています。

【北栄町を選んだ理由(就学状況別)】



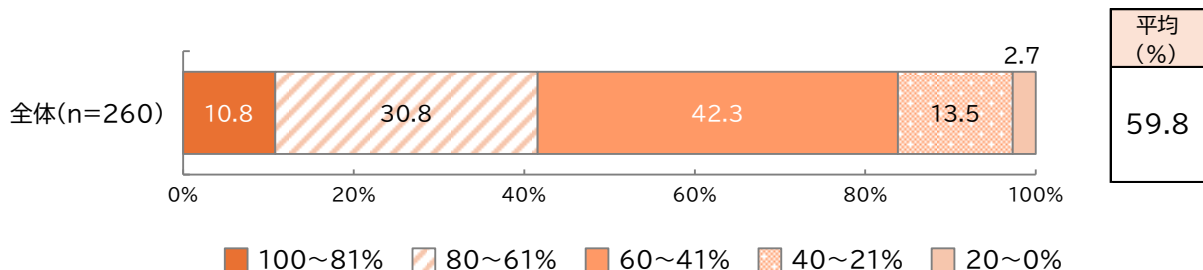
就学状況別にみると、「治安が良い・安心して暮らせる」との回答は学童期保護者(19.1%)が幼児期保護者(14.1%)を 5.0 ポイント、「保育所・認定こども園・幼稚園に入所しやすい」との回答は学童期保護者(17.6%)が幼児期保護者(9.4%)を 8.2 ポイント、「保育料・幼児教育費などの負担が少ない」との回答は学童期保護者(8.8%)が幼児期保護者(1.0%)を 7.8 ポイント上回っています。

(3)子育てや家事の分担

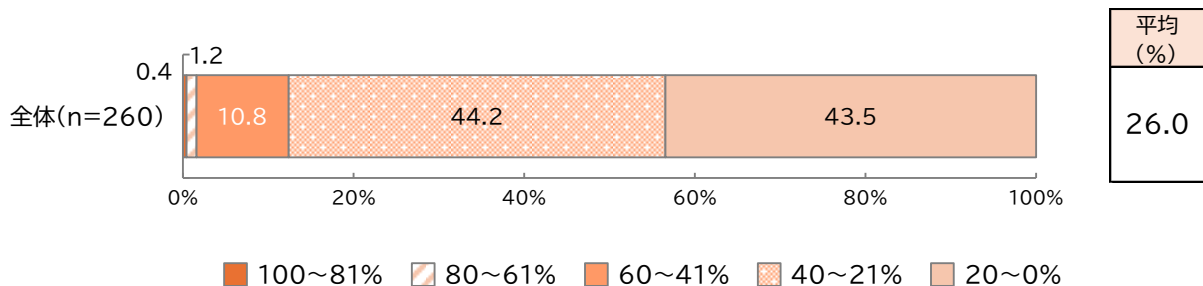
問:お子さまの子育て(教育を含む)や家事をどのように分担していますか。全体で 100%になるように数字をお答えください。

【子育てや家事の分担】

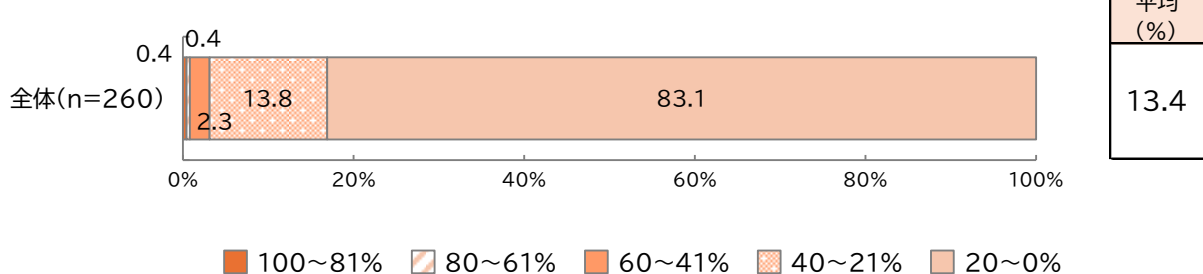
《母親の割合》



《父親の割合》



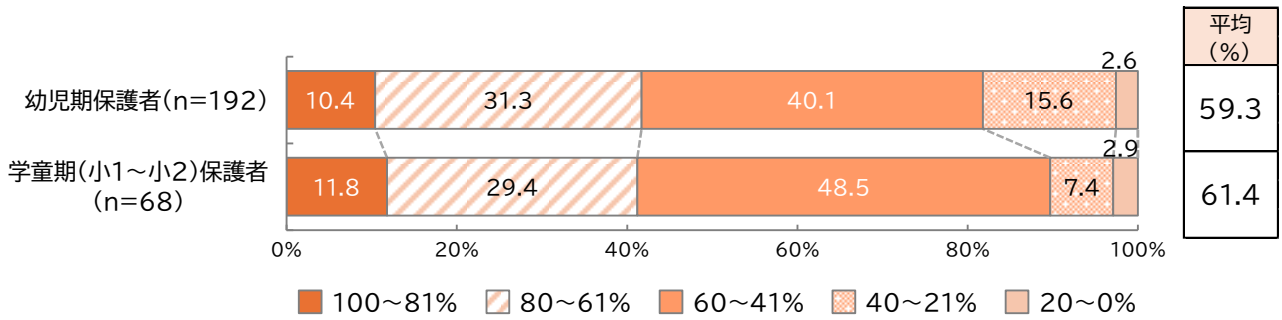
《祖父母の割合》



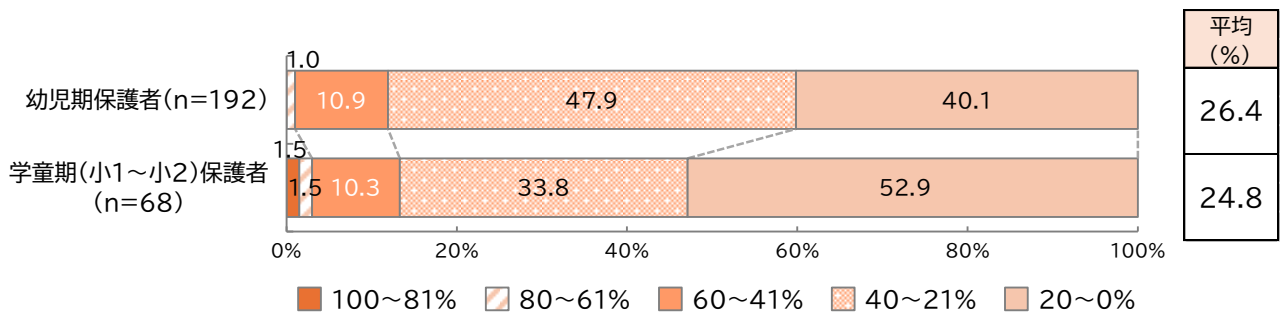
子育てや家事の分担について、母親の割合は「60~41%」との回答が4割台前半と最も高く、平均は 59.8%となっています。父親の割合は、「40~21%」、「20~0%」との回答がともに4割台と高く、平均は 26.0%となっています。祖父母の割合は、「20~0%」との回答が8割台前半と最も高く、平均は 13.4%となっています。

【子育てや家事の分担(就学状況別)】

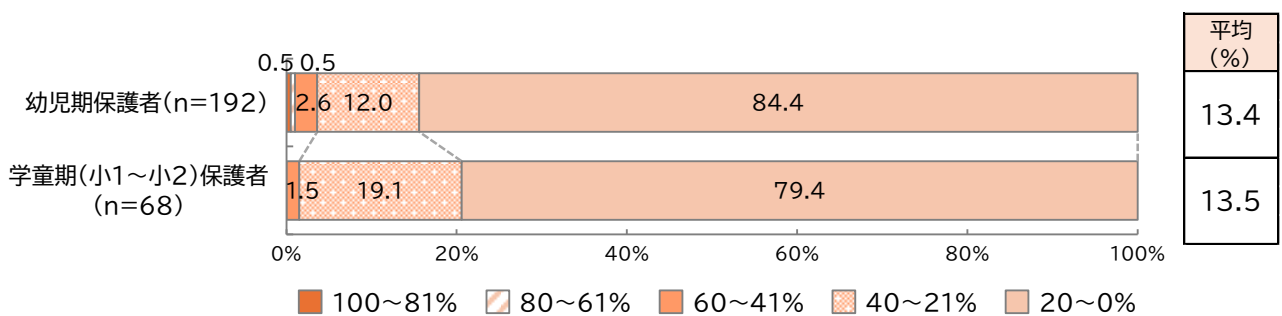
《母親の割合》



《父親の割合》



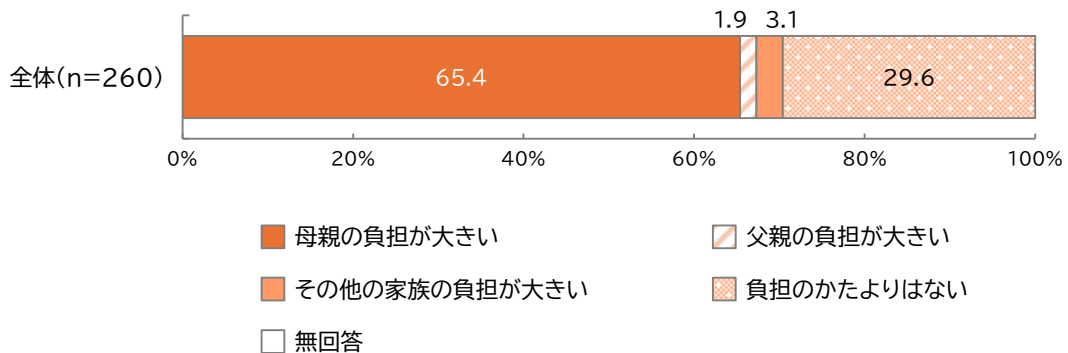
《祖父母の割合》



就学状況別にみると、母親の割合が40%以上との回答は学童期保護者(89.7%)が幼児期保護者(81.8%)を7.9ポイント上回っています。父親の割合が20%以下との回答は学童期保護者(52.9%)が幼児期保護者(40.1%)を12.8ポイント上回っています。

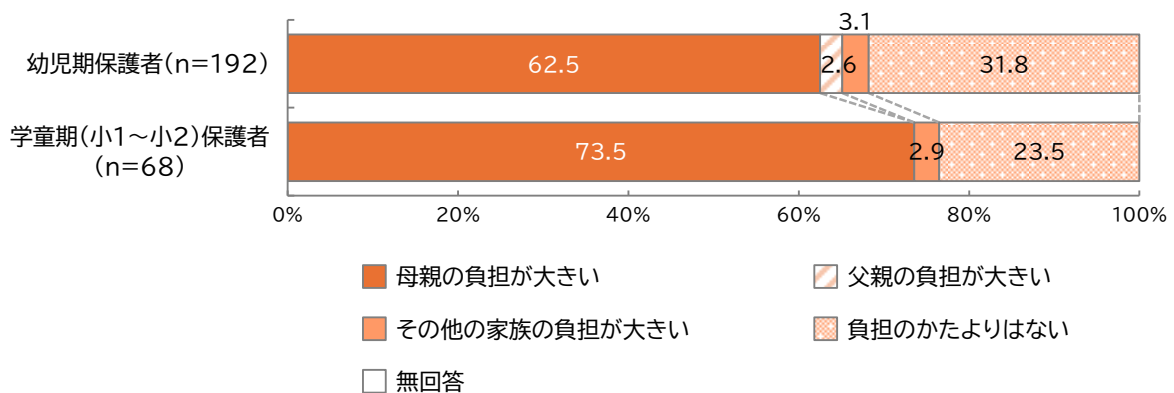
問:子育てや家事の分担について、負担のかたよりを感じますか。(回答は1つ)

【子育てや家事の負担のかたより】



子育てや家事の負担のかたよりについて、「母親の負担が大きい」との回答が 65.4%と最も高く、次いで「負担のかたよりはない」(29.6%)などの順となっています。

【子育てや家事の負担のかたより(就学状況別)】

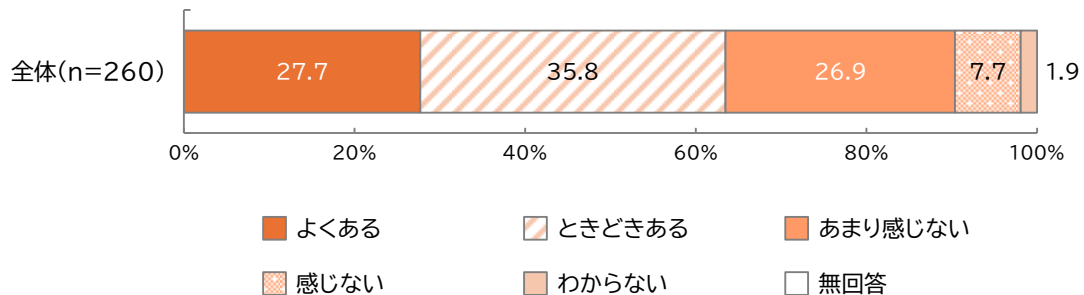


就学状況別にみると、「母親の負担が大きい」との回答は学童期保護者(73.5%)が幼児期保護者(62.5%)を 11.0 ポイント上回っています。

(4)子育てにおける経済的負担

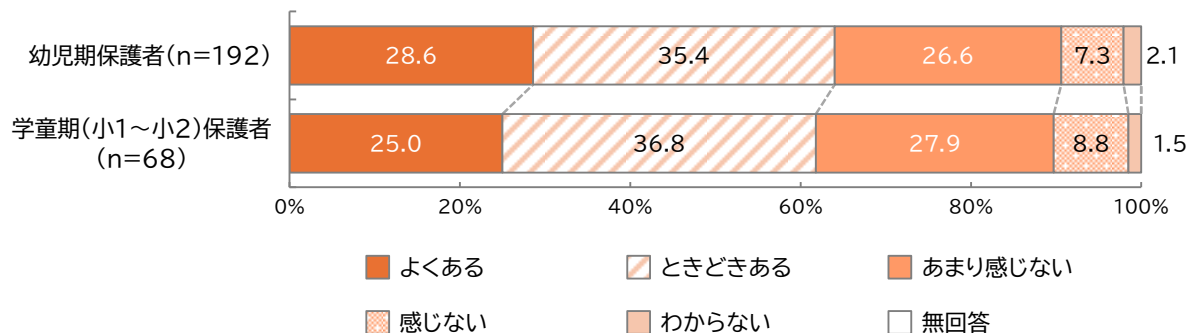
問:これまで、子育てに経済的な負担を感じたことがありますか。(回答は1つ)

【子育てにおける経済的負担の実感】



子育てにおける経済的負担の実感について、『ある』(「よくある」と「ときどきある」を合わせた割合)との回答が 63.5%、『感じない』(「感じない」と「あまり感じない」を合わせた割合)との回答が 34.6%となっています。

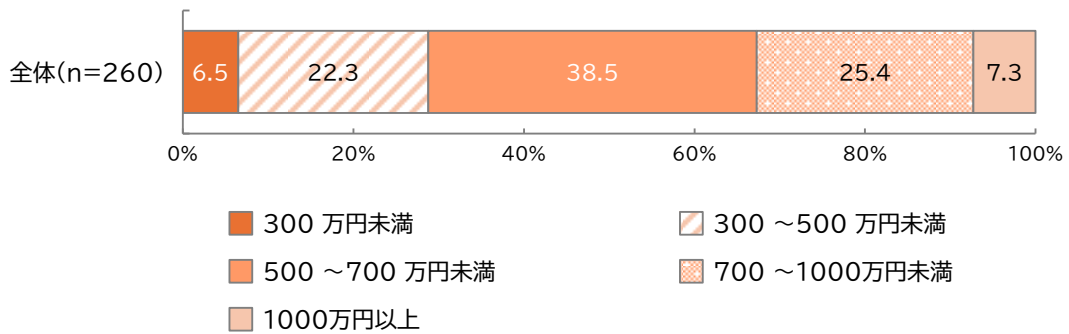
【子育てにおける経済的負担の実感(就学状況別)】



就学状況別にみると、子育てにおける経済的負担の実感に大きな差はみられません。

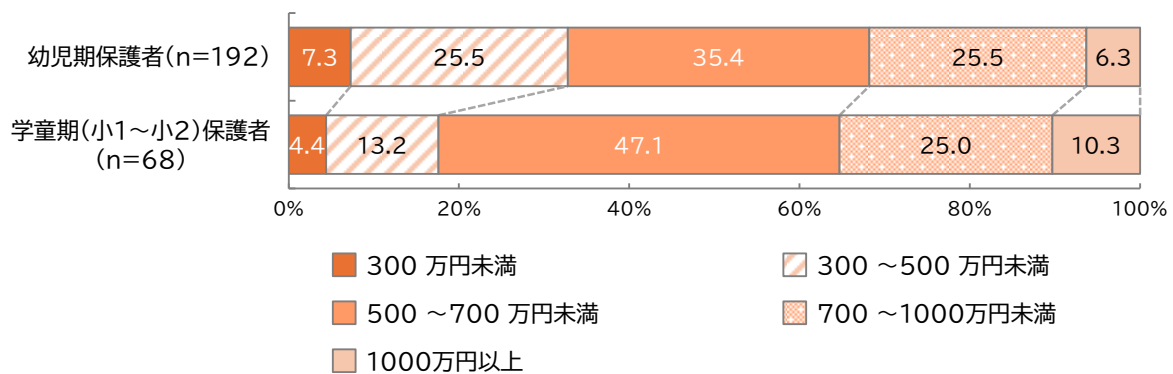
問：世帯全体の昨年の年間収入(手取り額)は、およそどのくらいですか。

【世帯全体の年収】



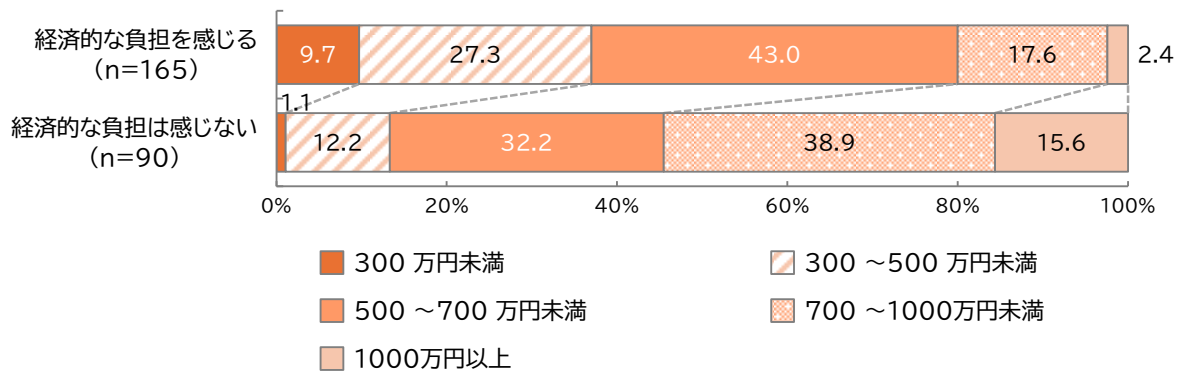
世帯全体の年収について、「500～700万円未満」との回答が 38.5%と最も高く、次いで「700～1000万円未満」(25.4%)、「300～500万円未満」(22.3%)などの順となっています。

【世帯全体の年収(就学状況別)】



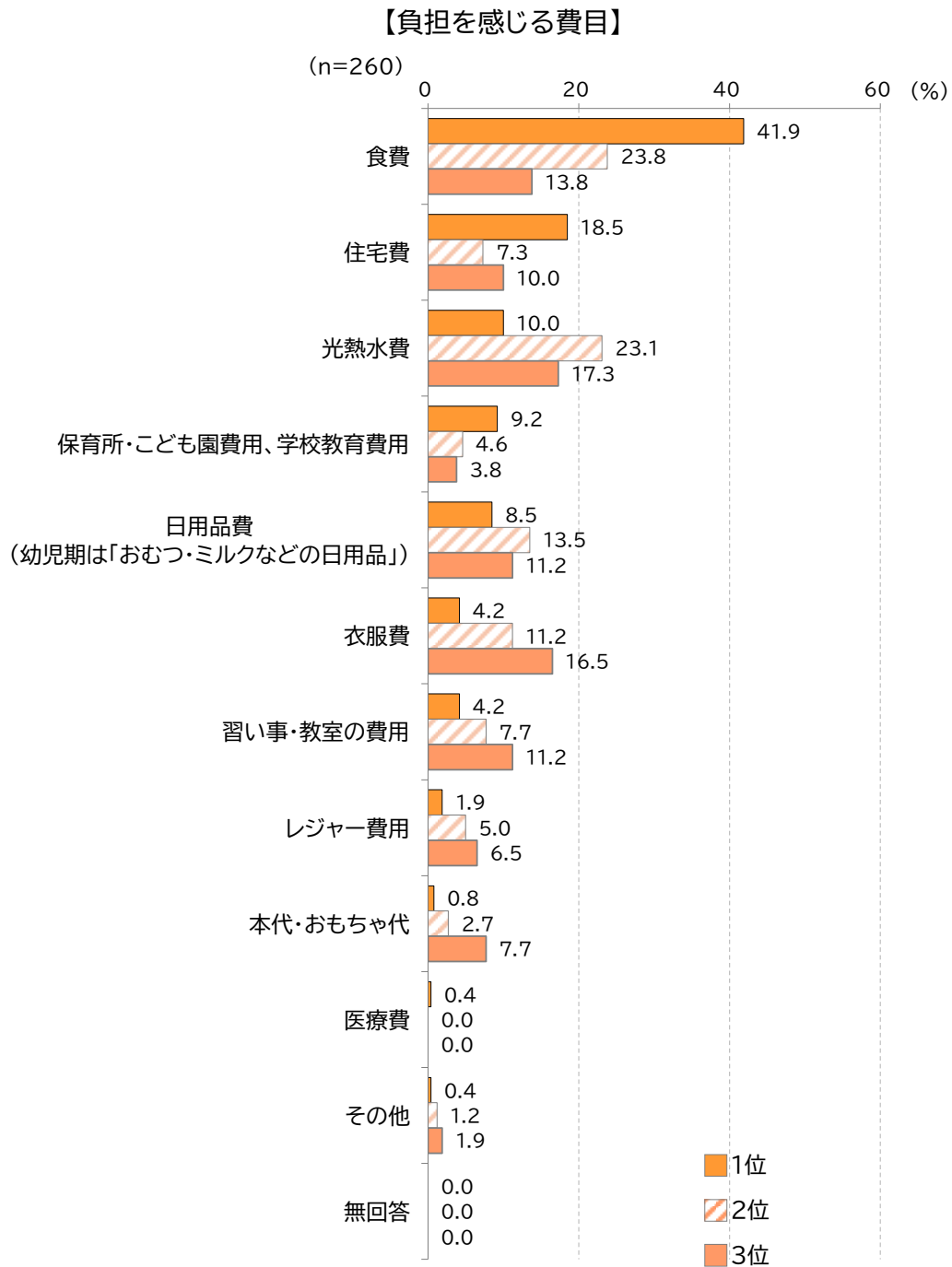
就学状況別にみると、「300～500万円未満」との回答は幼児期保護者(25.5%)が学童期保護者(13.2%)を 12.3 ポイント上回っています。また、「500～700万円未満」との回答は学童期保護者(47.1%)が幼児期保護者(35.4%)を 11.7 ポイント上回っています。

【世帯全体の年収(子育てにおける経済的負担の実感別)】



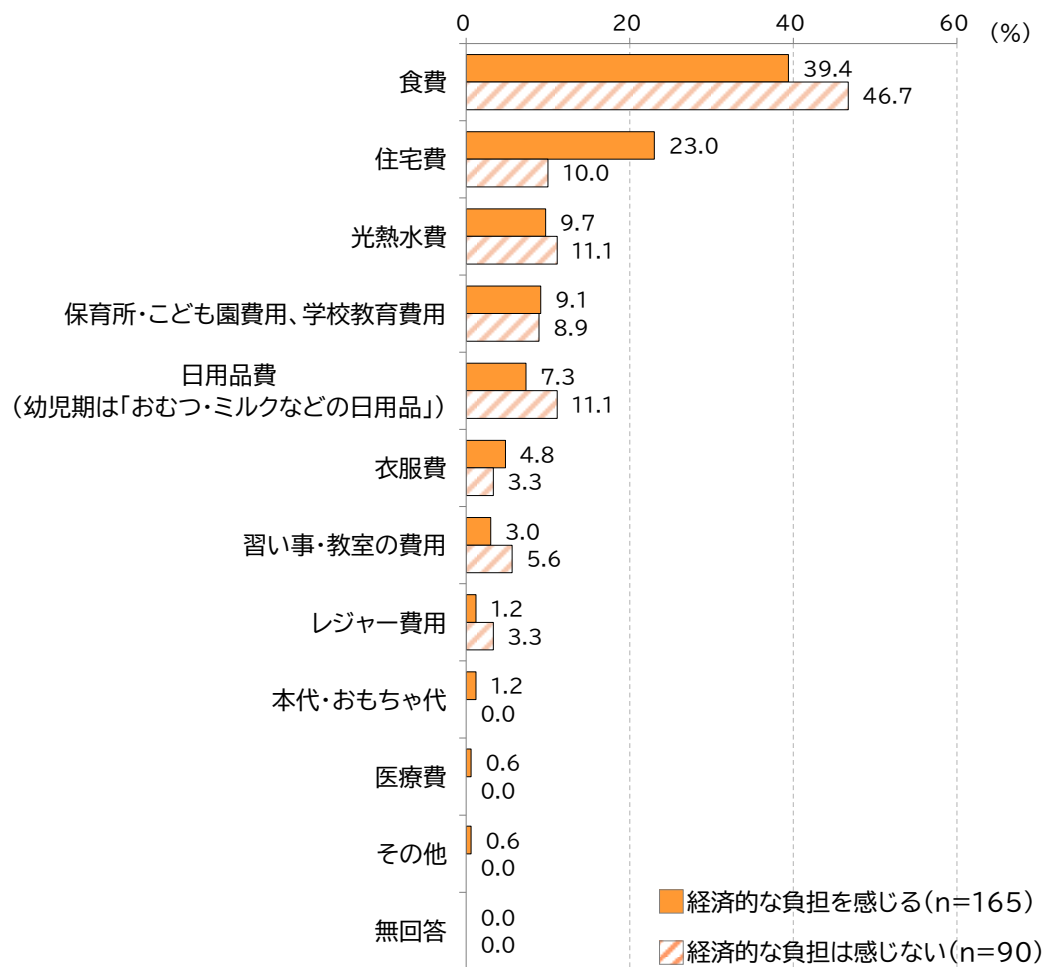
子育てにおける経済的負担の実感別にみると、経済的な負担を感じる層では「500～700万円未満」との回答が 43.0%、経済的な負担を感じない層では「700万円以上」との回答が 54.5%と高くなっています。

問:子育てにおいて、負担に感じている費目をお答えください。



負担を感じる費目について、1位では「食費」(41.9%)、2位では「食費」(23.8%)、「光熱水費」(23.1%)が高くなっています。

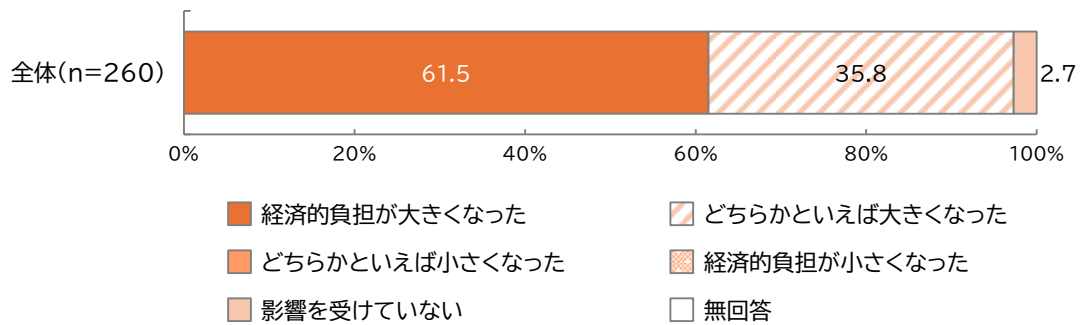
【負担を感じる費目:第1位(子育てにおける経済的負担の実感別)】



子育てにおける経済的負担の実感別にみると、「食費」との回答は経済的な負担を感じていない層(46.7%)が感じている層(39.4%)を 7.3 ポイント上回っています。一方、「住宅費」との回答は経済的な負担を感じている層(23.0%)が感じていない層(10.0%)を 13.0 ポイント上回っています。

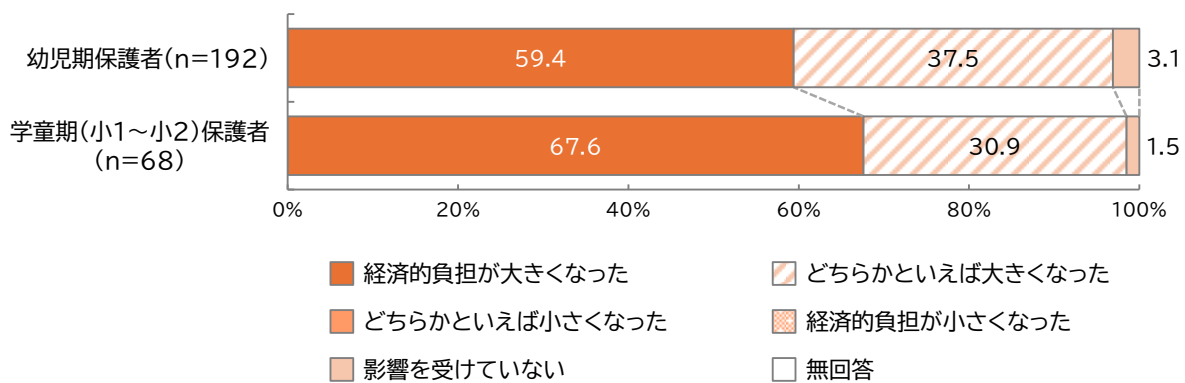
問:物価高騰による子育てへの経済的な影響はありますか。(回答は1つ)

【物価高騰による経済的な影響】



物価高騰による経済的な影響について、『経済的負担が大きくなった』(「経済的負担が大きくなった」と「どちらかといえば大きくなった」を合わせた割合)との回答が 97.3%となっています。

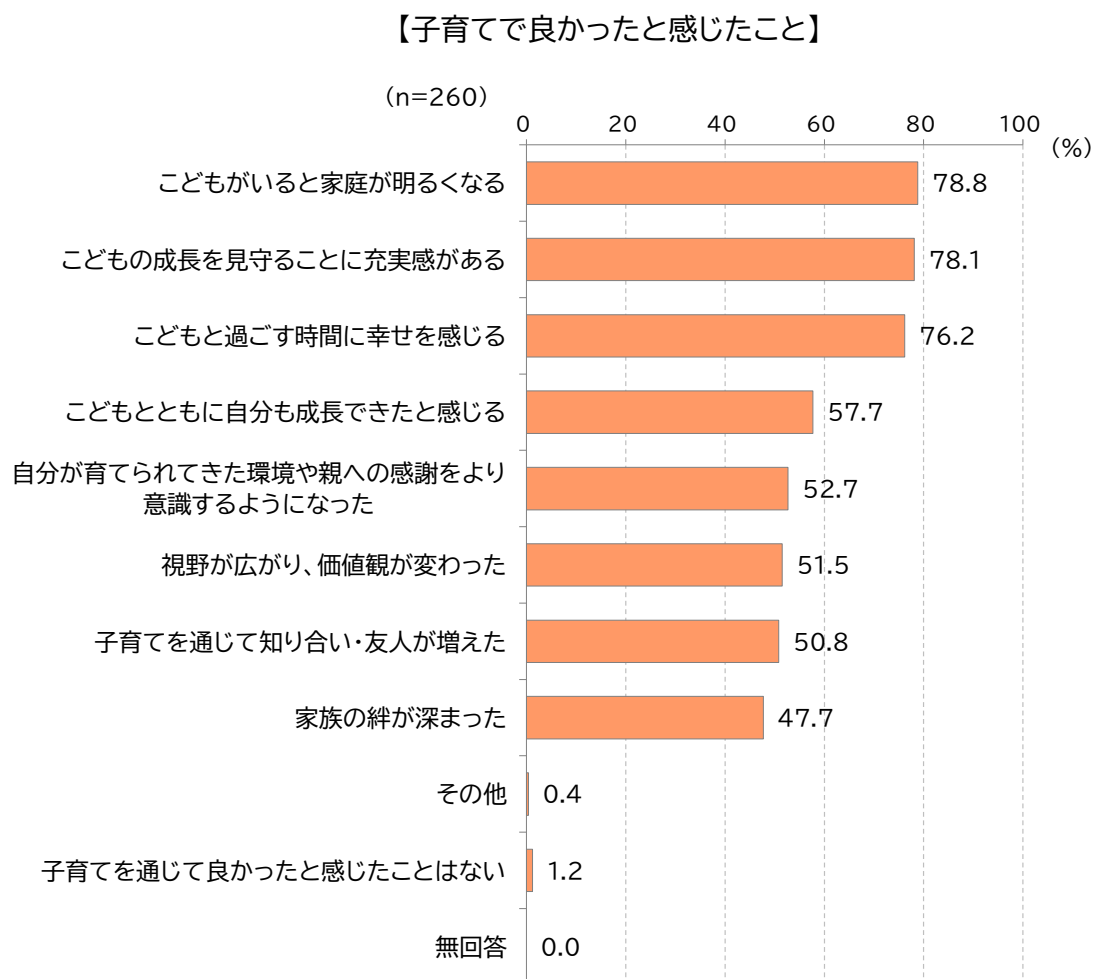
【物価高騰による経済的な影響(就学状況別)】



就学状況別にみると、「経済的負担が大きくなったとの回答は学童期保護者(67.6%)が幼児期保護者(59.4%)を 8.2 ポイント上回っています。

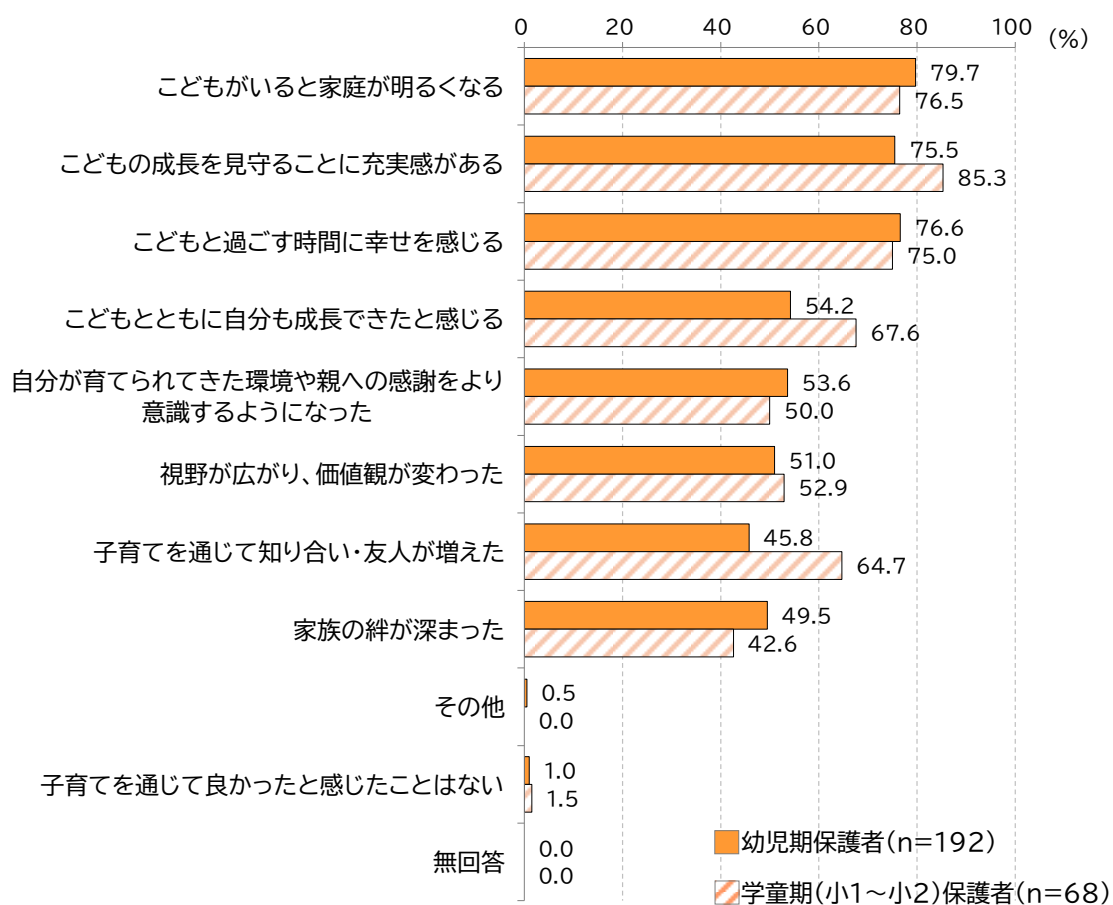
(5)子育てで良かったと感じたこと

問:子育てにおいて、良かったと感じたことについてお答えください。
(回答はあてはまるものすべて)



子育てで良かったと感じたことについて、「こどもがいると家庭が明るくなる」との回答が 78.8% と最も高く、次いで「こどもの成長を見守ることに充実感がある」(78.1%)、「こどもと過ごす時間に幸せを感じる」(76.2%)などの順となっています。

【子育てで良かったと感じたこと(就学状況別)】



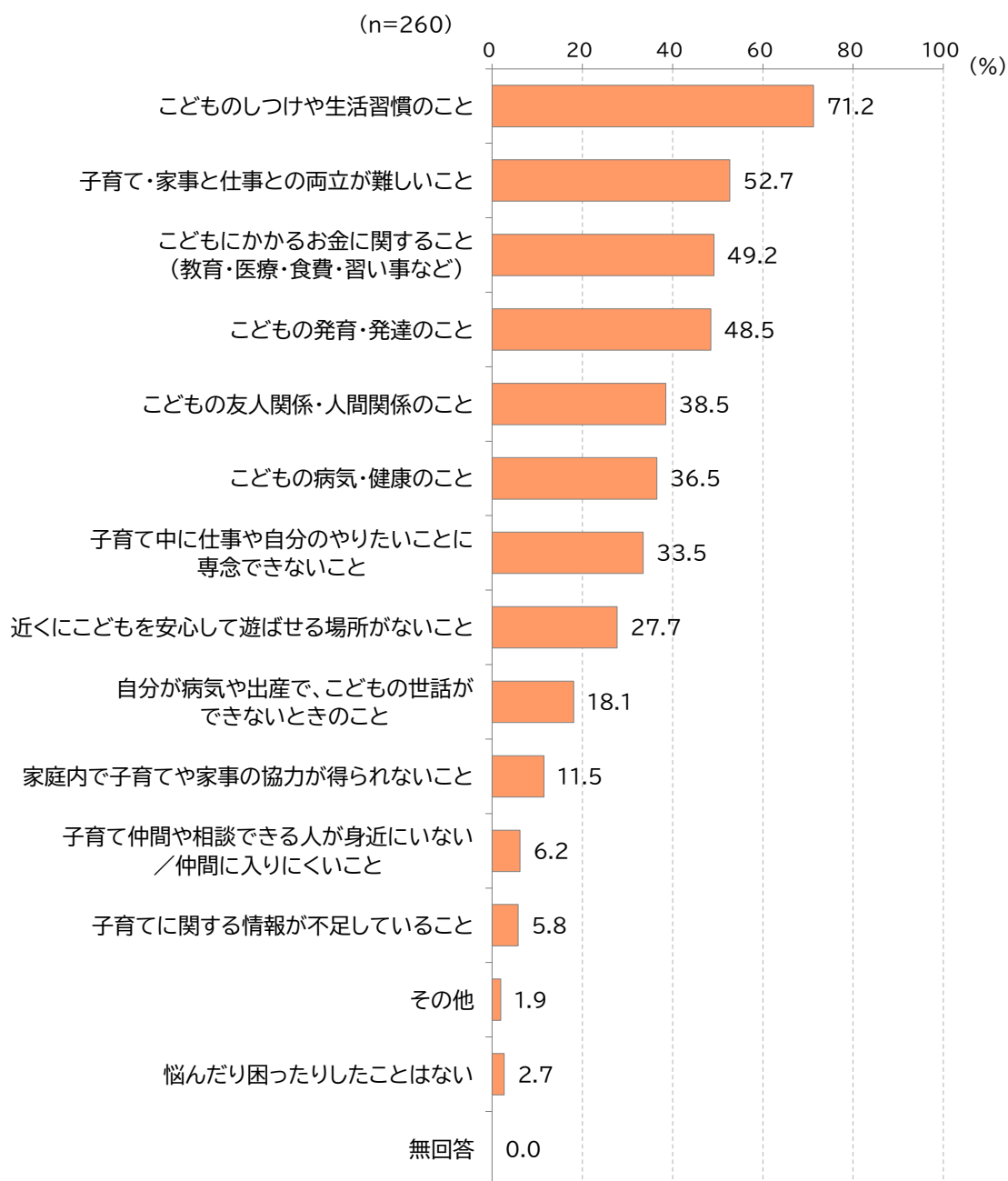
就学状況別にみると、「こどもとともに自分も成長できたと感じる」、「子育てを通じて知り合い・友人が増えた」との回答は学童期保護者が幼児期保護者を 10.0 ポイント以上上回っています。一方、「家族の絆が深まった」との回答は幼児期保護者(49.5%)が学童期保護者(42.6%)を 6.9 ポイント上回っています。

(6)子育てにおける悩みや不安

問:子育てをにおいて、悩んだり、不安に感じたり、困ったことについてお答えください。

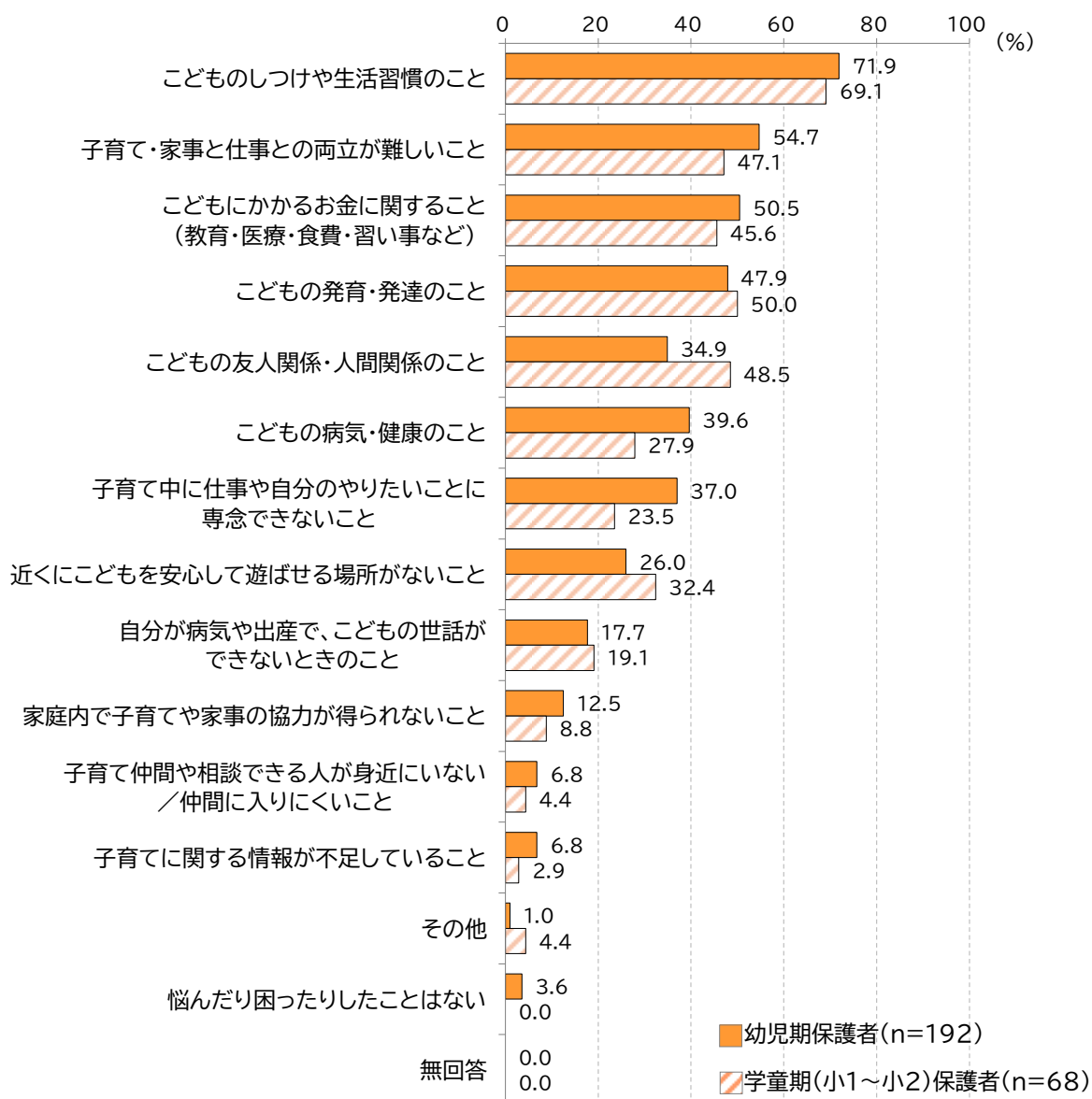
(回答はあてはまるものすべて)

【子育てにおける悩みや不安】



子育てにおける悩みや不安について、「こどものしつけや生活習慣のこと」との回答が 71.2%と最も高く、次いで「子育て・家事と仕事との両立が難しいこと」(52.7%)、「こどもにかかるお金に関すること(教育・医療・食費・習い事など)」(49.2%)、「こどもの発育・発達のこと」(48.5%)などの順となっています。

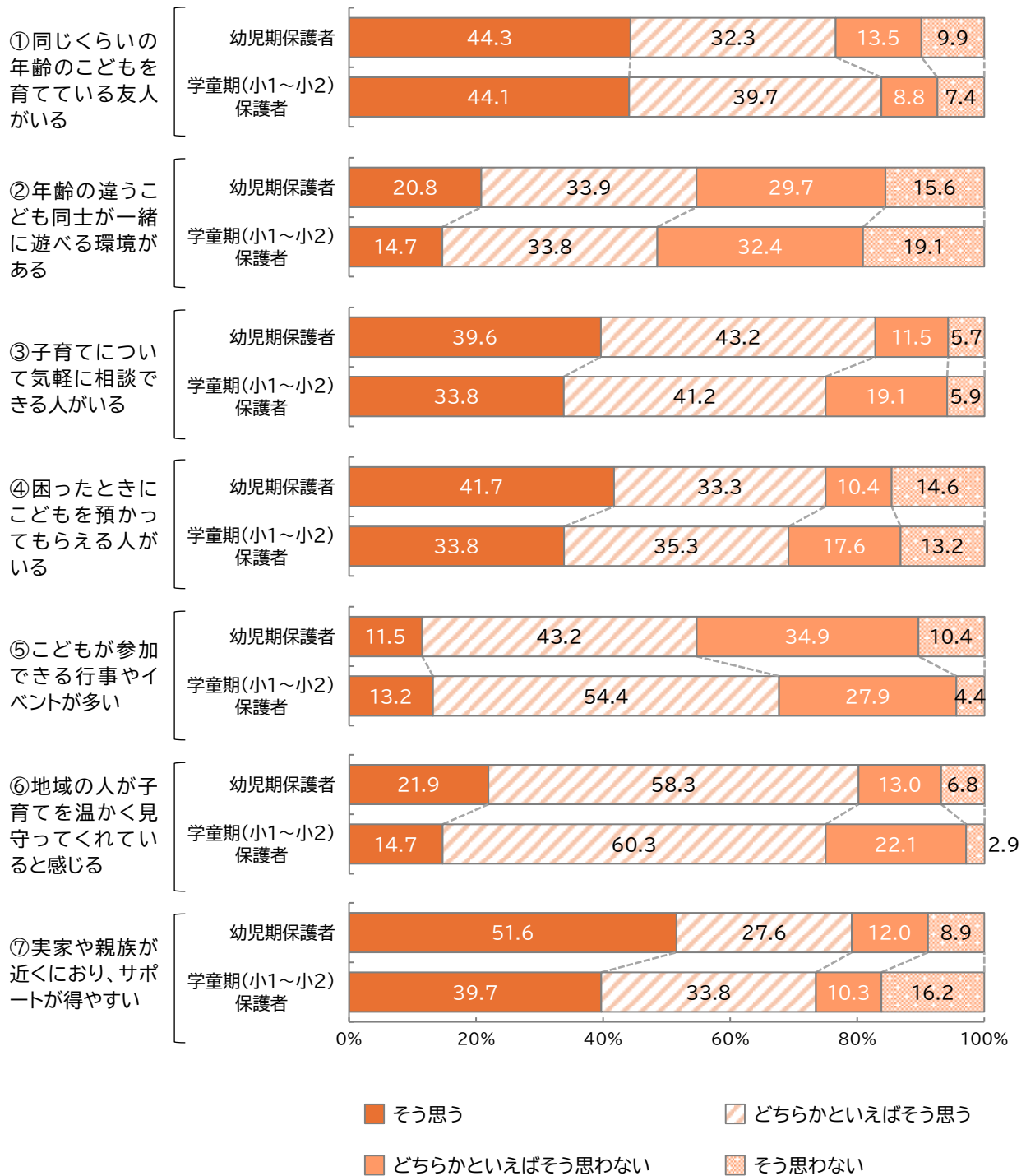
【子育てにおける悩みや不安(就学状況別)】



就学状況別にみると、「こどもの病気・健康のこと」、「子育て中に仕事や自分のやりたいことに専念できないこと」との回答は幼児期保護者が学童期保護者を 10.0 ポイント以上上回っています。一方、「こどもの友人関係・人間関係のこと」との回答は学童期保護者(48.5%)が幼児期保護者(34.9%)を 13.6 ポイント上回っています。

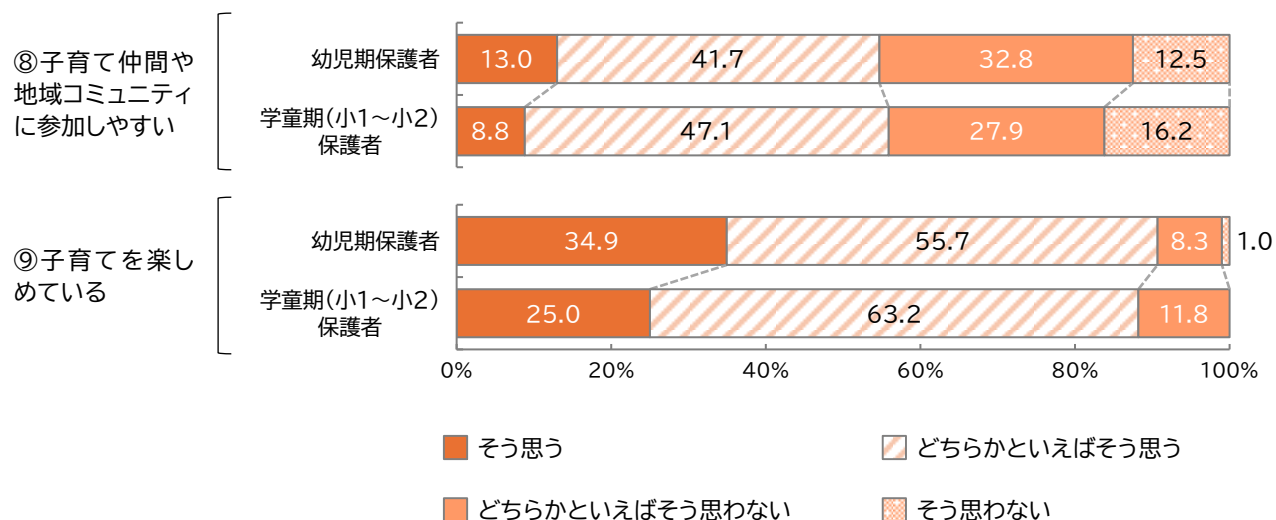
【地域の子育て環境(就学状況別)】

幼児期保護者(n=192)・学童期(小1～小2)保護者(n=68)



【地域の子育て環境(就学状況別)】

幼児期保護者(n=192)・学童期(小1～小2)保護者(n=68)



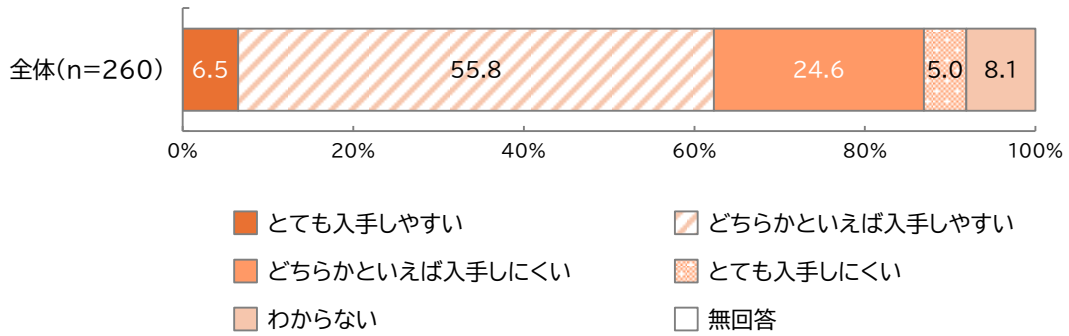
就学状況別にみると、『そう思う』との回答は「同じくらいの年齢の子どもを育てている友人がいる」で学童期保護者(83.8%)が幼児期保護者(76.6%)を 7.2 ポイント、「子どもが参加できる行事やイベントが多い」で学童期保護者(67.6%)が幼児期保護者(54.7%)を 12.9 ポイント上回っています。一方、「子育てについて気軽に相談できる人がいる」では幼児期保護者(82.8%)が学童期保護者(75.0%)を 7.8 ポイント上回っています。

4 子育てに関する情報について

(1) 子育てに関する情報入手のしやすさ

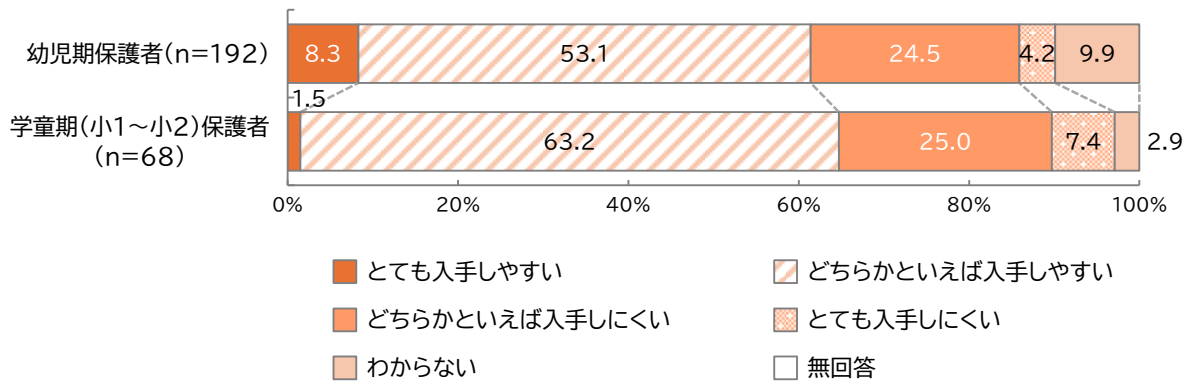
問: 子育てに関する情報は、入手しやすいと感じていますか。(回答は1つ)

【子育てに関する情報入手のしやすさ】



子育てに関する情報入手のしやすさについて、『入手しやすい』(「とても入手しやすい」と「どちらかといえば入手しやすい」を合わせた割合)との回答が 62.3%、『入手しにくい』(「とても入手しにくい」と「どちらかといえば入手しにくい」を合わせた割合)との回答が 29.6%となっています。

【子育てに関する情報入手のしやすさ(就学状況別)】

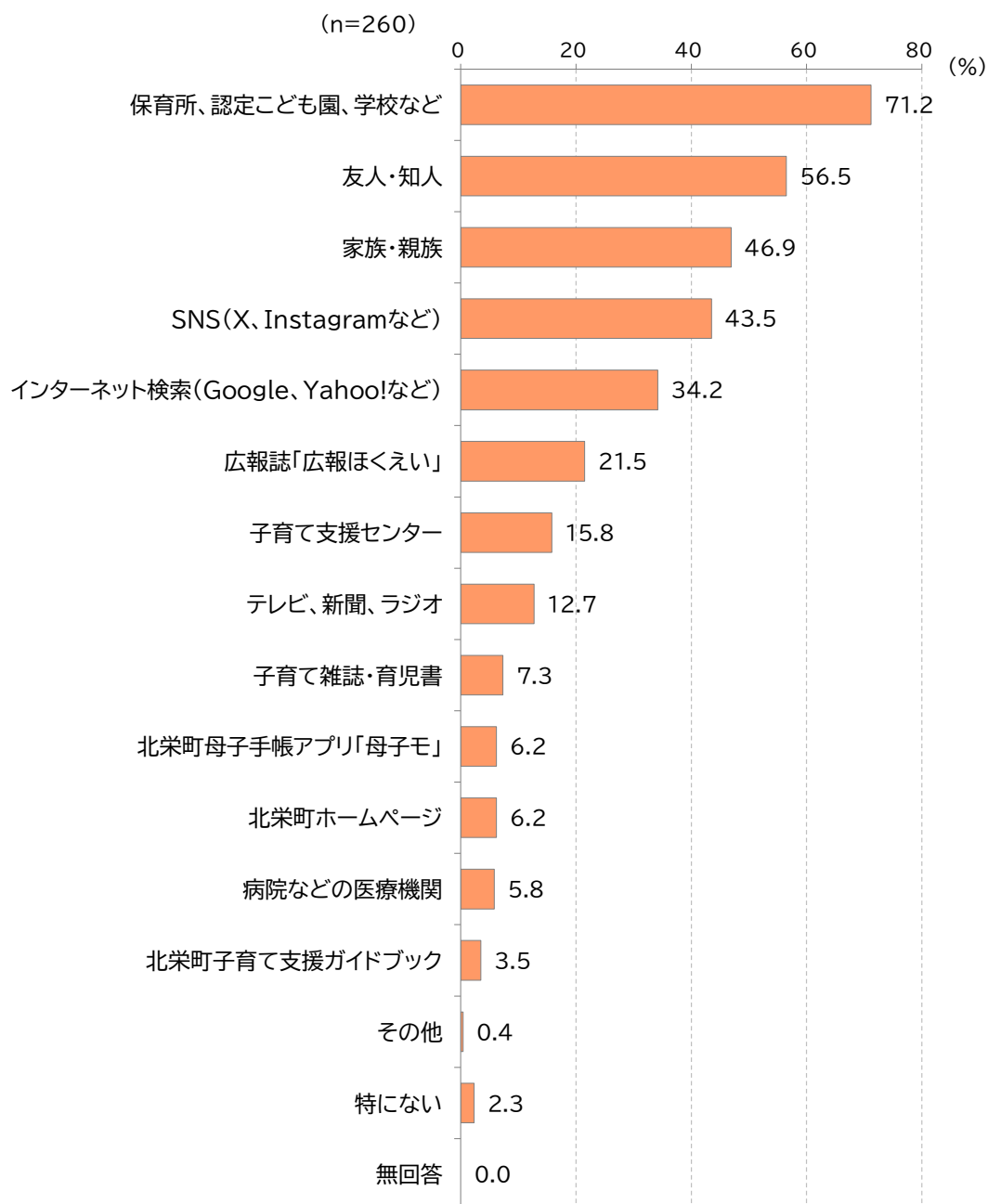


就学状況別にみると、子育てに関する情報入手のしやすさについて大きな差はみられません。

(2)子育てに関する情報の入手方法

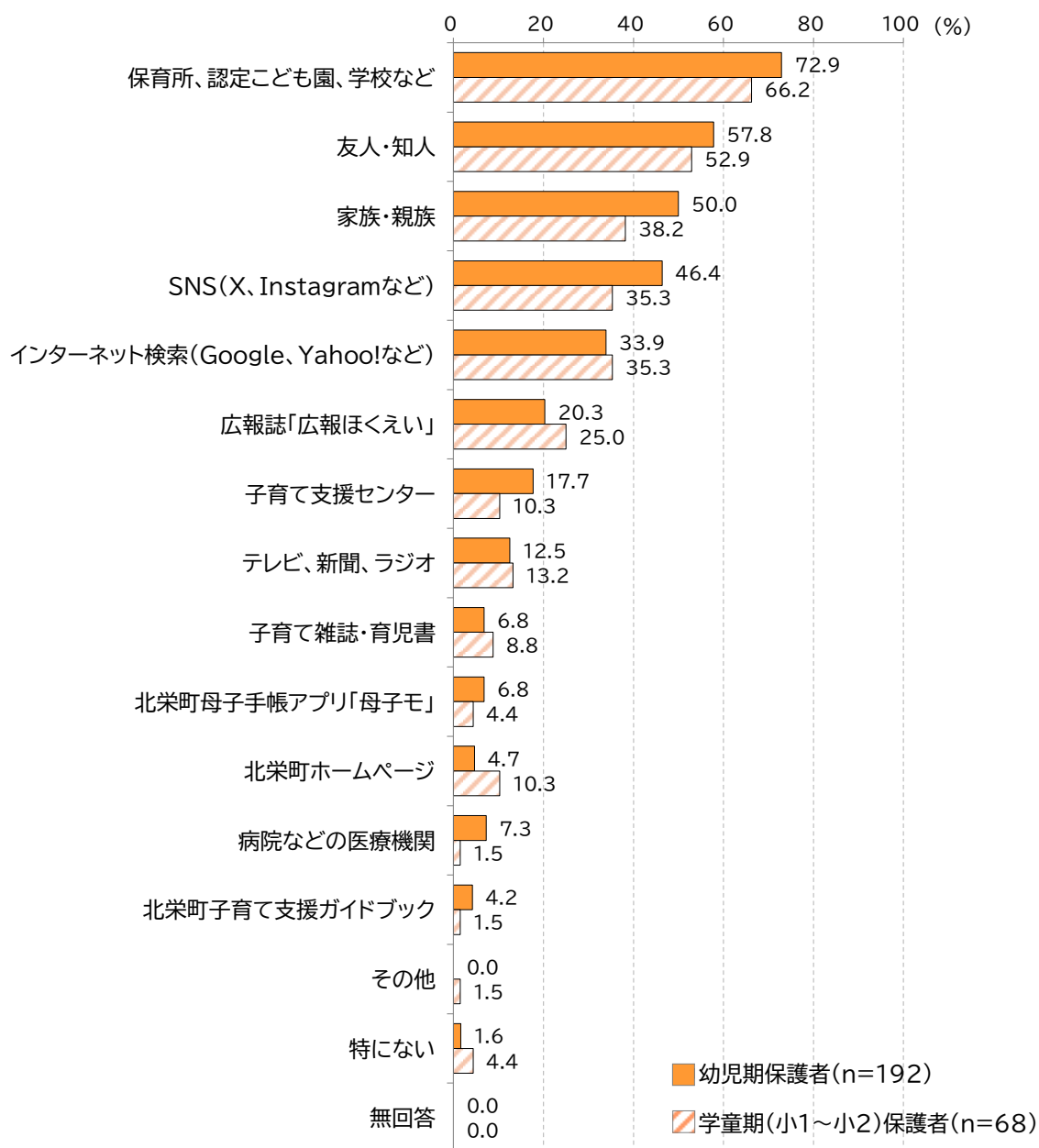
問:ふだん、子育てに関する情報をどのような媒体・経路から得ていますか。
(回答はあてはまるものをすべて)

【子育てに関する情報の入手方法】



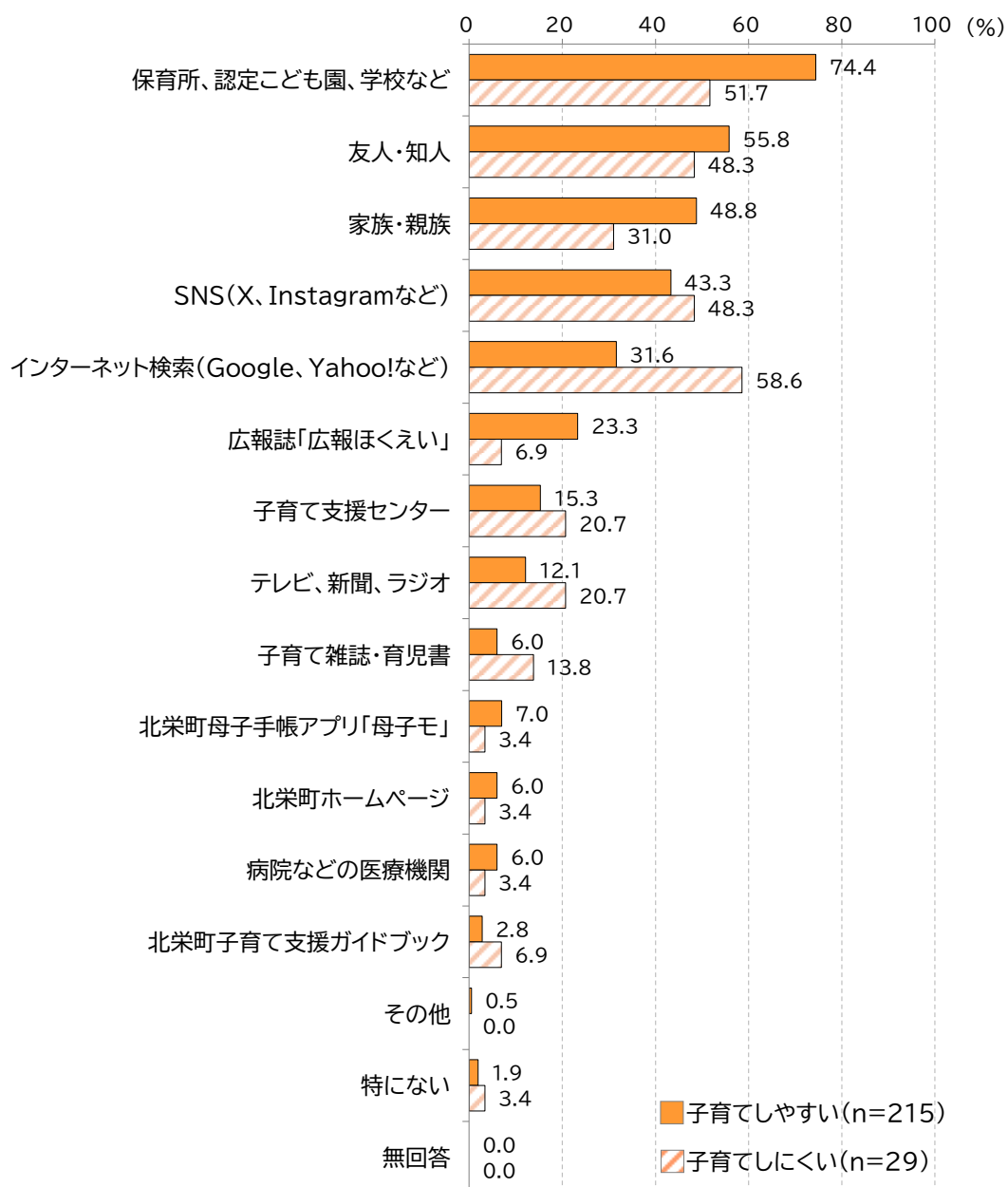
子育てに関する情報の入手方法について、「保育所、認定こども園、学校など」との回答が 71.2%と最も高く、次いで「友人・知人」(56.5%)、「家族・親族」(46.9%)、「SNS (X、Instagram など)」(43.5%)などの順となっています。

【子育てに関する情報の入手方法(就学状況別)】



就学状況別にみると、「家族・親族」、「SNS (X、Instagram など)」との回答は幼児期保護者が学童期保護者を 10.0 ポイント以上上回っています。一方、「北栄町ホームページ」との回答は学童期保護者(10.3%)が幼児期保護者(4.7%)を 5.6 ポイント上回っています。

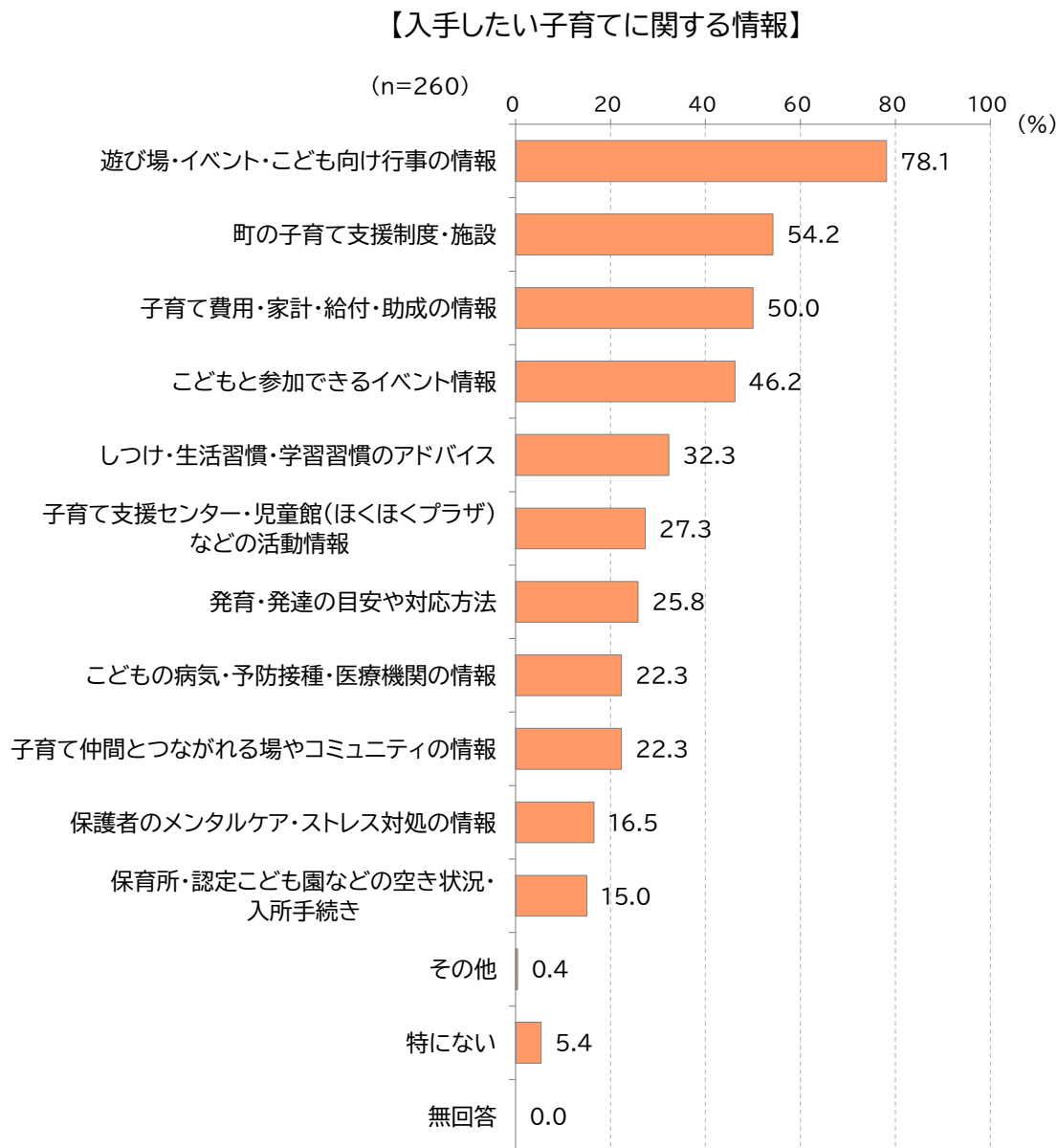
【子育てに関する情報の入手方法(子育て環境の満足度別)】



子育て環境の満足度別にみると、子育てをしやすいと感じている層では「保育所、認定こども園、学校など」との回答が74.4%と最も高く、子育てをしにくいと感じている層(51.7%)を22.7ポイント上回っています。一方、子育てをしにくいと感じている層では「インターネット検索(Google、Yahoo!など)」との回答が58.6%と最も高く、子育てをしやすいと感じている層(31.6%)を27.0ポイント上回っています。

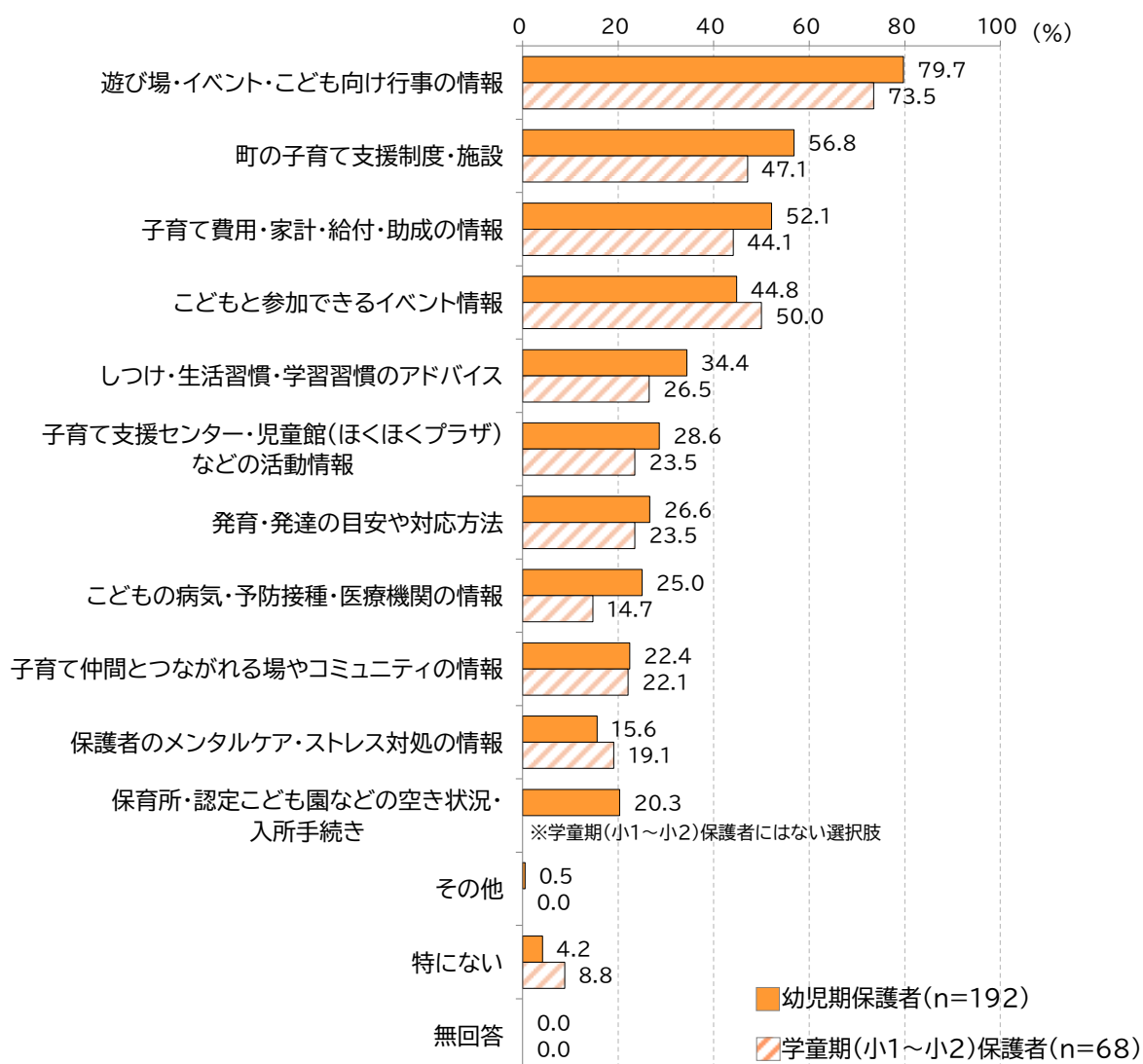
(3)入手したい子育てに関する情報

問:今後、子育てに関するどのような情報を得たいと思いますか。
(回答はあてはまるものをすべて)



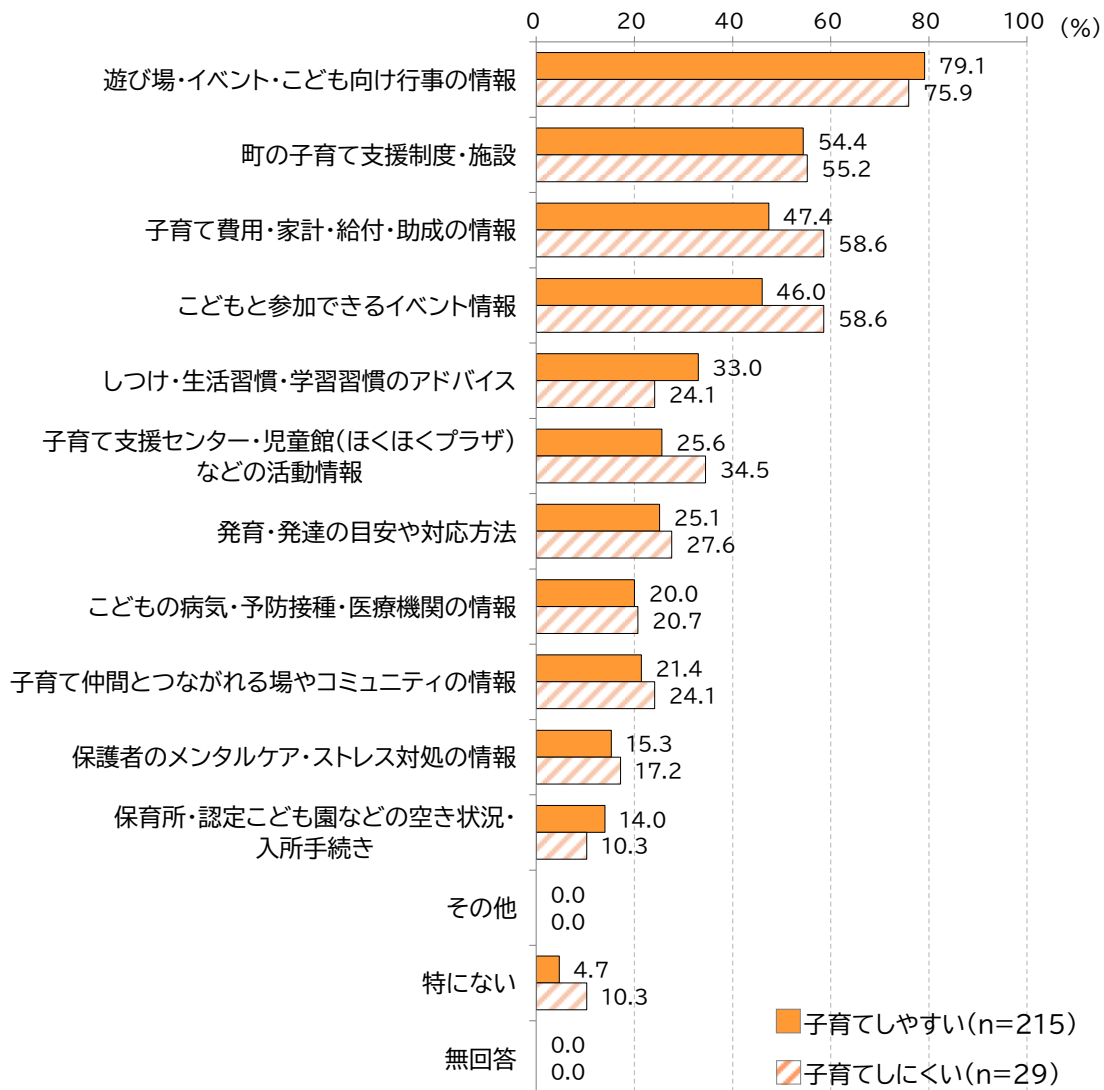
入手したい子育てに関する情報について、「遊び場・イベント・子ども向け行事の情報」との回答が78.1%と最も高く、次いで「町の子育て支援制度・施設」(54.2%)、「子育て費用・家計・給付・助成の情報」(50.0%)などの順となっています。

【入手したい子育てに関する情報(就学状況別)】



就学状況別にみると、「遊び場・イベント・子ども向け行事の情報」、「町の子育て支援制度・施設」、「子育て費用・家計・給付・助成の情報」との回答は幼児期保護者が学童期保護者を 5.0 ポイント以上上回っています。一方、「子どもと参加できるイベント情報」との回答は学童期保護者(50.0%)が幼児期保護者(44.8%)を 5.2 ポイント上回っています。

【入手したい子育てに関する情報(子育て環境の満足度別)】



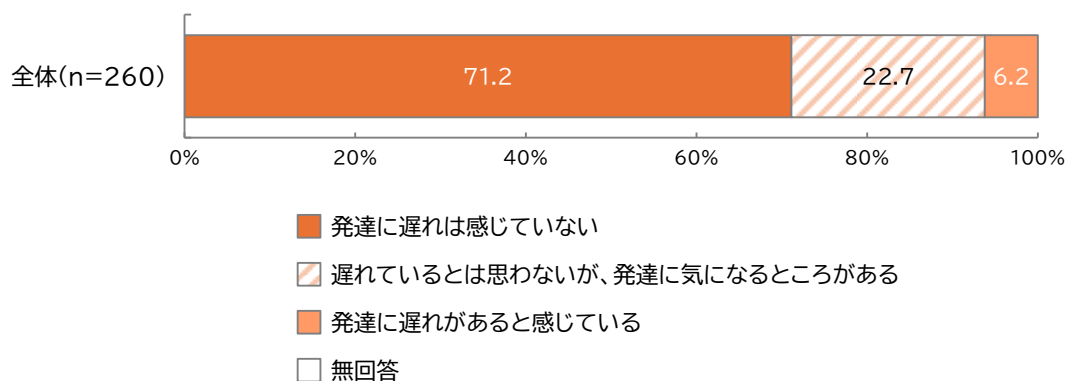
子育て環境の満足度別にみると、「子育て費用・家計・給付・助成の情報」、「こどもと参加できるイベント情報」との回答は子育てをしにくいと感じている層がしやすいと感じている層を 10.0 ポイント以上上回っています。

5 対象のお子さまについて

(1) 発達の遅れの実感

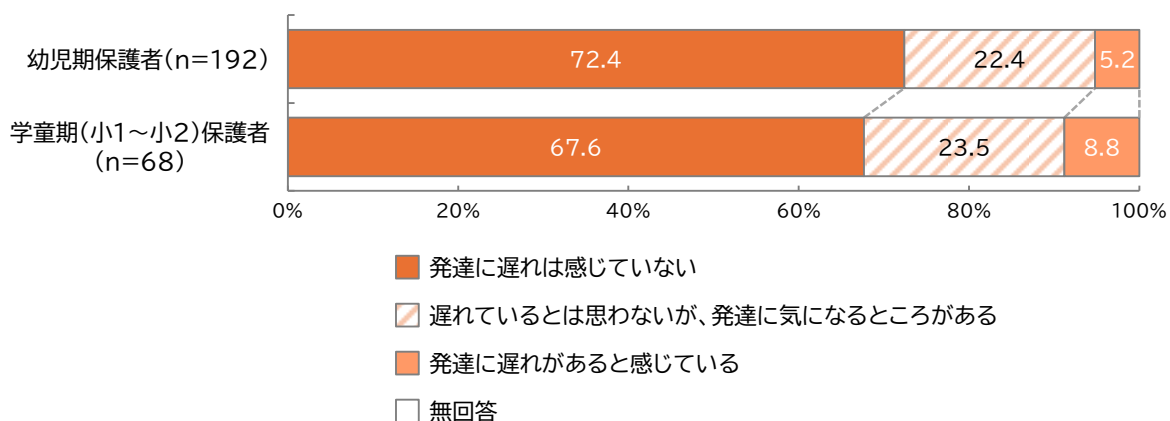
問:対象のお子さまが「同じ年齢のお子さまに比べて発達が遅れている」と感じたことがありますか。(回答は1つ)

【発達が遅れているとの実感】



発達が遅れているとの実感について、「発達に遅れは感じていない」との回答が 71.2%、「遅れているとは思わないが、発達に気になるところがある」との回答が 22.7%、「発達に遅れがあると感じている」との回答が 6.2%となっています。

【発達が遅れているとの実感(就学状況別)】

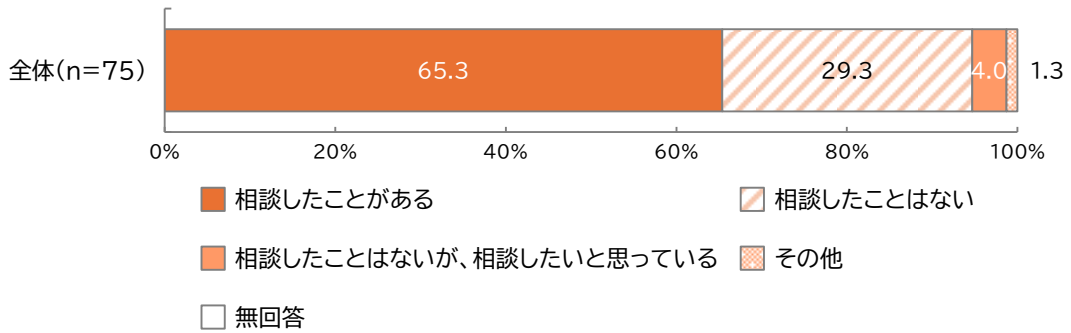


就学状況別にみると、発達が遅れているとの実感について大きな差はみられません。

◆前の問で、「遅れているとは思わないが、発達に気になるところがある」、「発達に遅れがあると感じている」と回答した方のみ

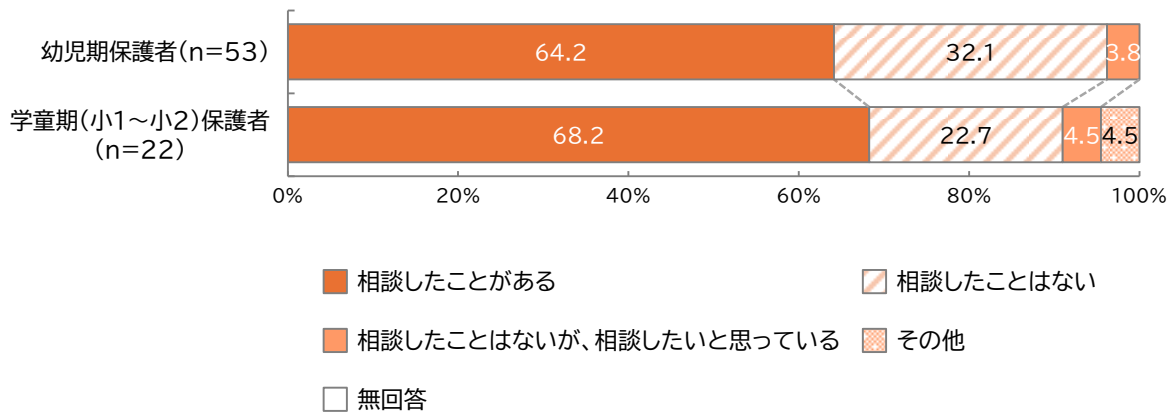
問: 専門機関などに、お子さまの発達の遅れなどについて相談したことはありますか。(回答は1つ)

【発達の遅れに関する相談】



発達の遅れに関する相談について、「相談したことがある」との回答が 65.3%、「相談したことはない」との回答が 29.3%、「相談したことはないが、相談したいと思っている」との回答が 4.0%となっています。

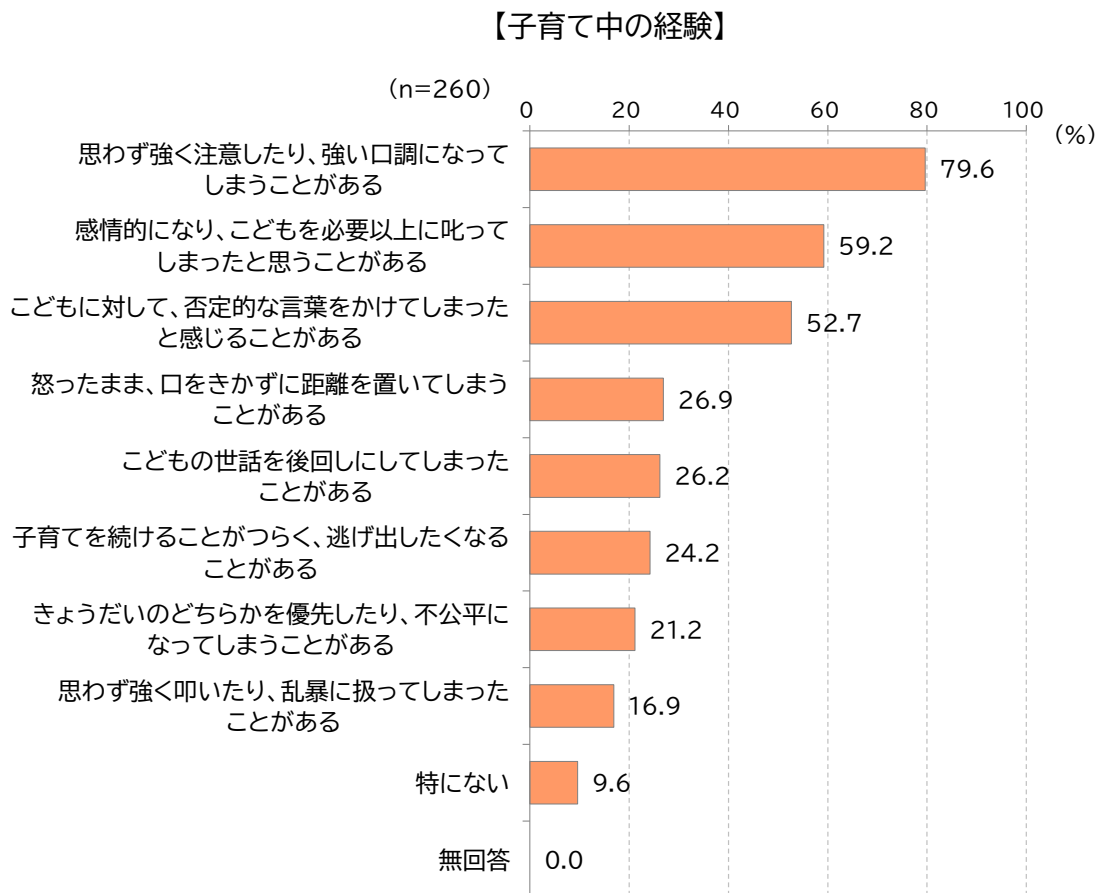
【発達の遅れについての相談(就学状況別)】



就学状況別にみると、「相談したことはない」との回答は幼児期保護者(32.1%)が学童期保護者(22.7%)を 9.4 ポイント上回っています。

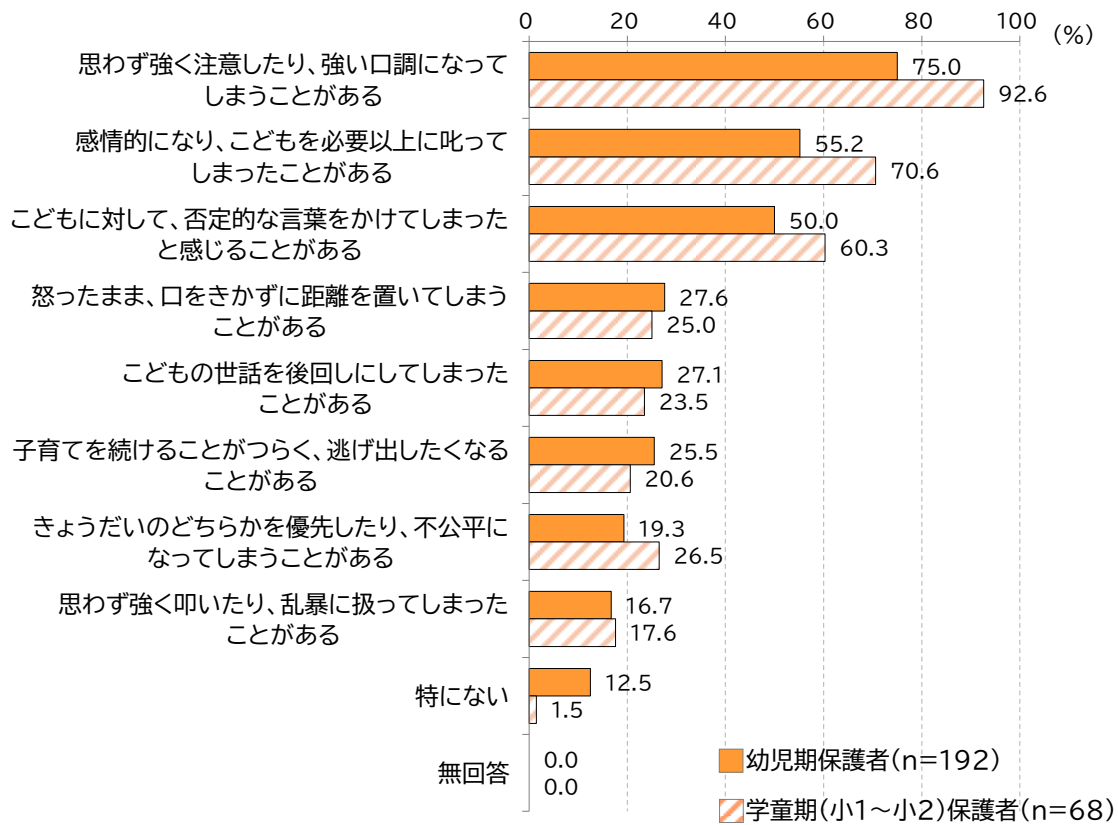
(2)子育て中の経験

問:子育ての中で、次のような状況を経験したことがありますか。(回答はあてはまるものをすべて)



子育て中の経験について、「思わず強く注意したり、強い口調になってしまうことがある」との回答が79.6%と最も高く、次いで「感情的になり、子どもを必要以上に叱ってしまったと思うことがある」(59.2%)、「子どもに対して、否定的な言葉をかけてしまったと感じることがある」(52.7%)などの順となっています。

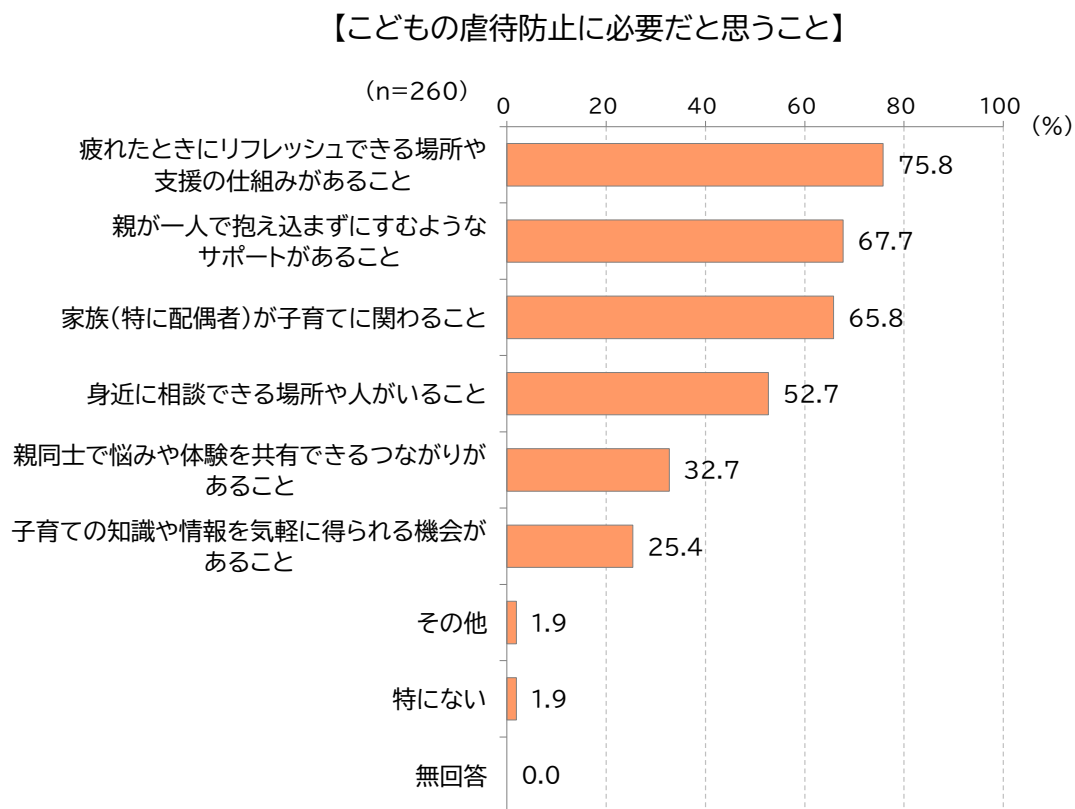
【子育て中の経験(就学状況別)】



就学状況別にみると、「思わず強く注意したり、強い口調になってしまうことがある」、「感情的になり、こどもを必要以上に叱ってしまったと思うことがある」、「こどもに対して、否定的な言葉をかけてしまったと感じることがある」との回答は学童期保護者が幼児期保護者を 10.3 ポイント以上上回っています。

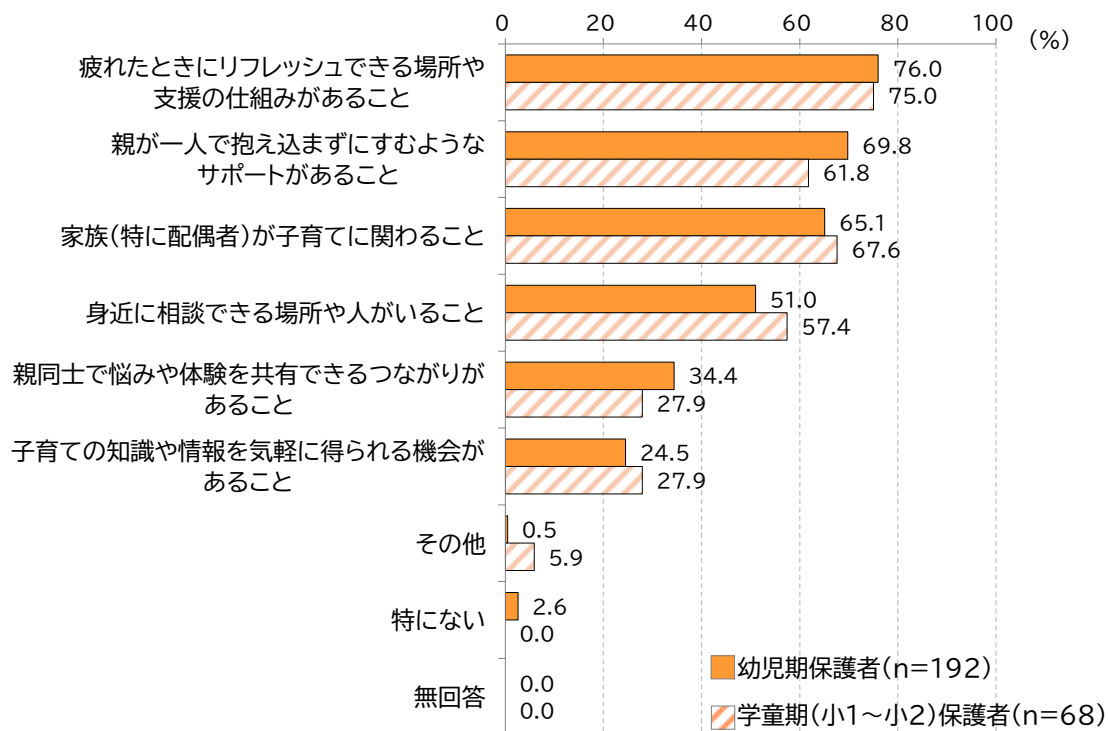
(3)こどもの虐待防止に必要なだと思うこと

問:こどもの虐待を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。
(回答はあてはまるものをすべて)



こどもの虐待防止に必要なと思うことについて、「疲れたときにリフレッシュできる場所や支援の仕組みがあること」との回答が 75.8%と最も高く、次いで「親が一人で抱え込まずにすむようなサポートがあること」(67.7%)、「家族(特に配偶者)が子育てに関わること」(65.8%)などの順となっています。

【こどもの虐待防止に必要なだと思うこと(就学状況別)】



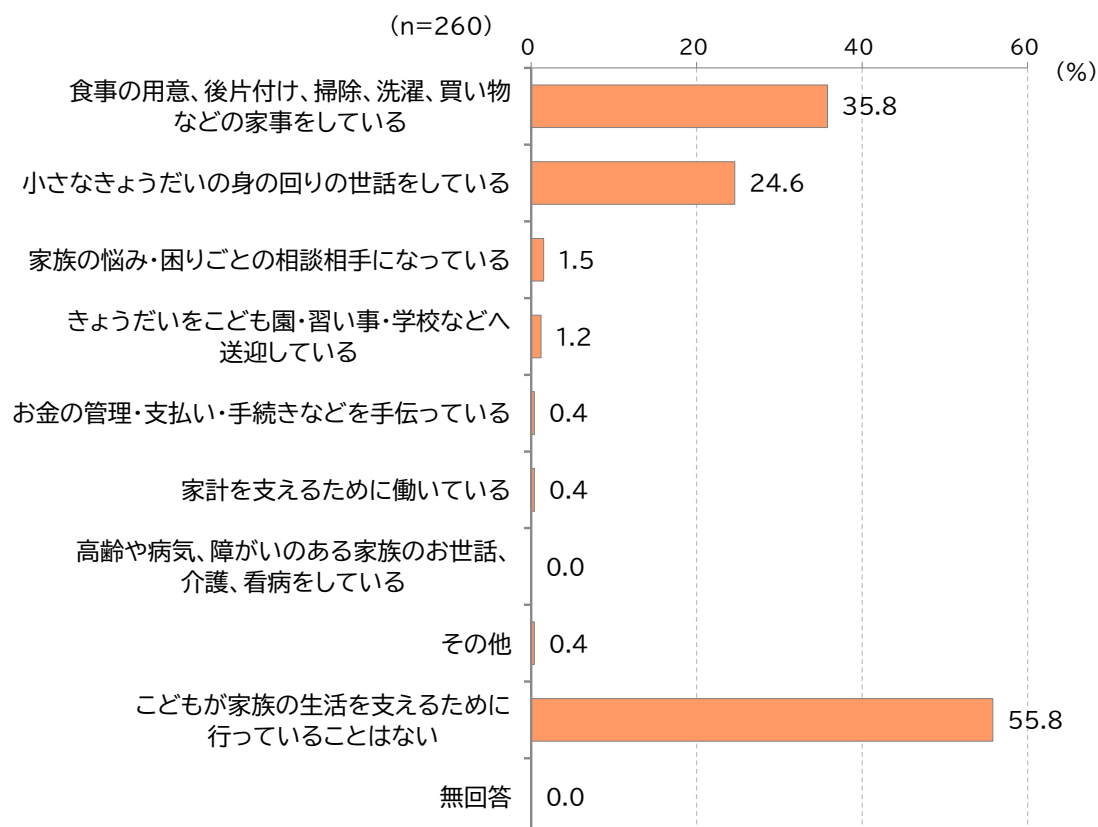
就学状況別にみると、「親が一人で抱え込まずにすむようなサポートがあること」との回答は幼児期保護者(69.8%)が学童期保護者(61.8%)を 8.0 ポイント、「親同士で悩みや体験を共有できるつながりがあること」との回答は幼児期保護者(34.4%)が学童期保護者(27.9%)を 6.5 ポイント上回っています。一方、「身近に相談できる場所や人がいること」との回答は学童期保護者(57.4%)が幼児期保護者(51.0%)を 6.4 ポイント上回っています。

6 ヤングケアラーについて

(1)こどもが家族の生活を支えるために行っていること

問:対象のお子さま、またはそのきょうだいが、家族の生活を支えるために行っていることについてお答えください。(回答はあてはまるものすべて)

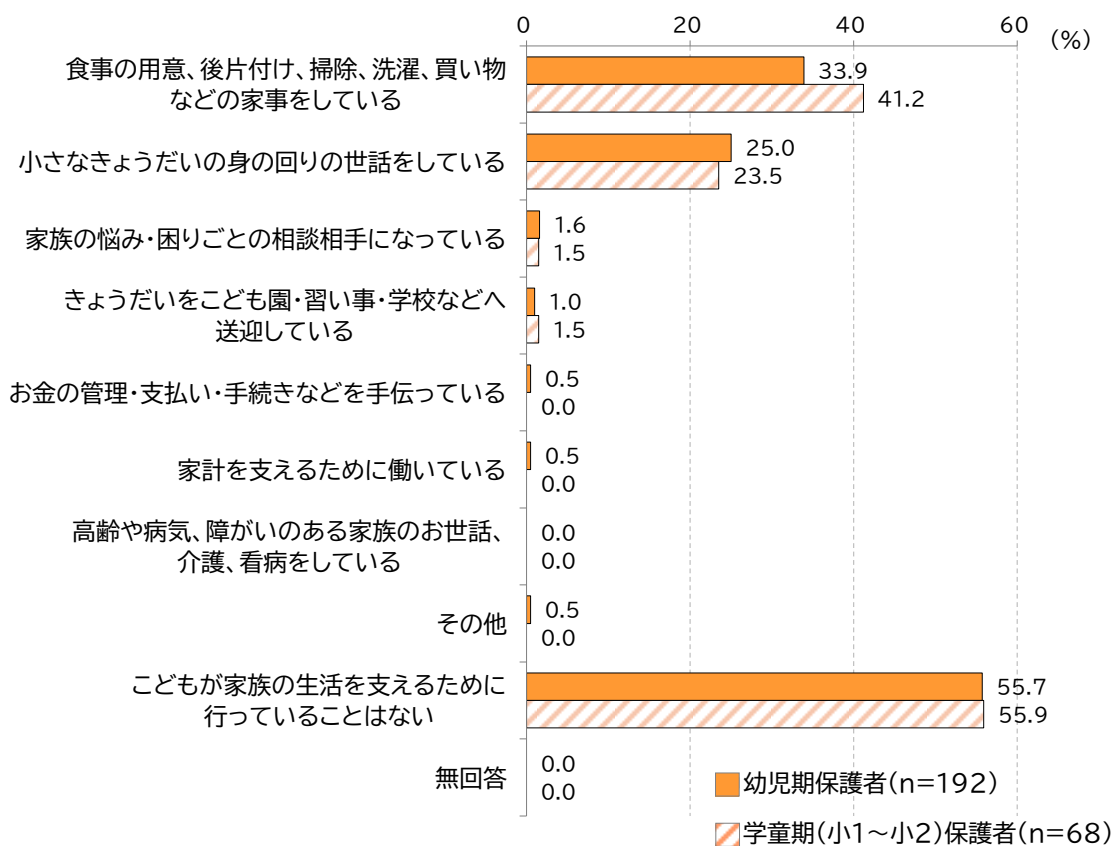
【こどもが家族の生活を支えるために行っていること】



こどもが家族の生活を支えるために行っていることについて、「こどもが家族の生活を支えるために行っていることはない」との回答が 55.8%と最も高くなっています。

こどもが家族の生活を支えるために行っていることがある人では「食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物などの家事をしている」との回答が 35.8%と最も高く、次いで「小さなきょうだいの身の回りの世話をしている」(24.6%)などの順となっています。

【こどもが家族の生活を支えるために行っていること(就学状況別)】



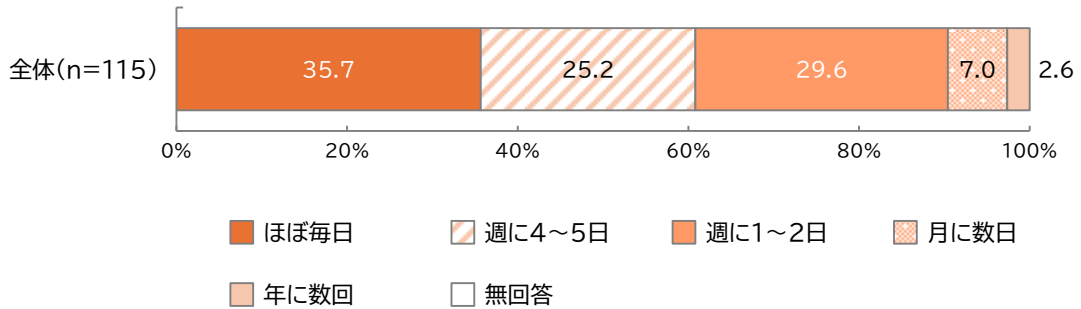
就学状況別にみると、「食事前の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物などの家事をしている」との回答は学童期保護者(41.2%)が幼児期保護者(33.9%)を 7.3 ポイント上回っています。

◆前の問で、「こどもが家族の生活を支えるために行っていることはない」以外を回答した方のみ

問:お子さま、またはそのきょうだいは、どのくらいの頻度で世話や家事をしていますか。

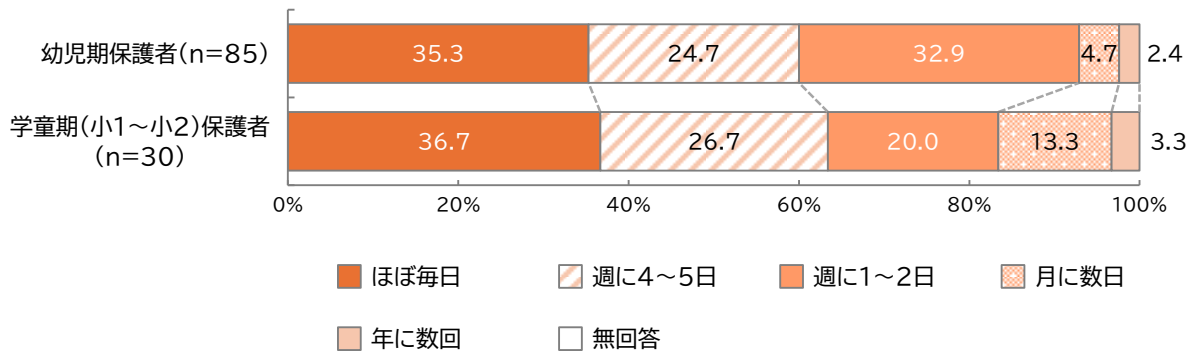
(回答は1つ)

【世話や家事の頻度】



世話や家事の頻度について、「ほぼ毎日」との回答が35.7%、「週に4~5日」との回答が25.2%、「週に1~2日」との回答が29.6%、「月に数日」との回答が7.0%、「年に数回」との回答が2.6%となっています。

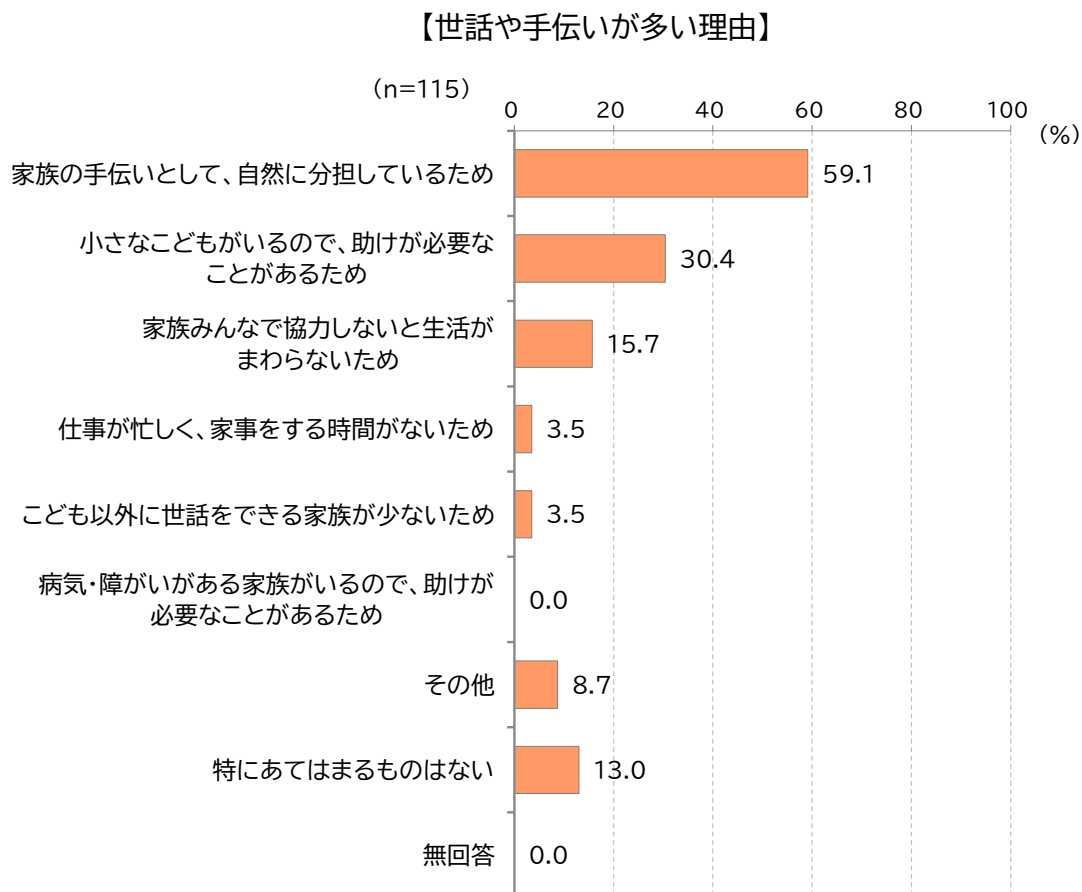
【世話や家事の頻度(就学状況別)】



就学状況別にみると、「週に1~2日」との回答は幼児期保護者(32.9%)が学童期保護者(20.0%)を12.9ポイント上回っています。

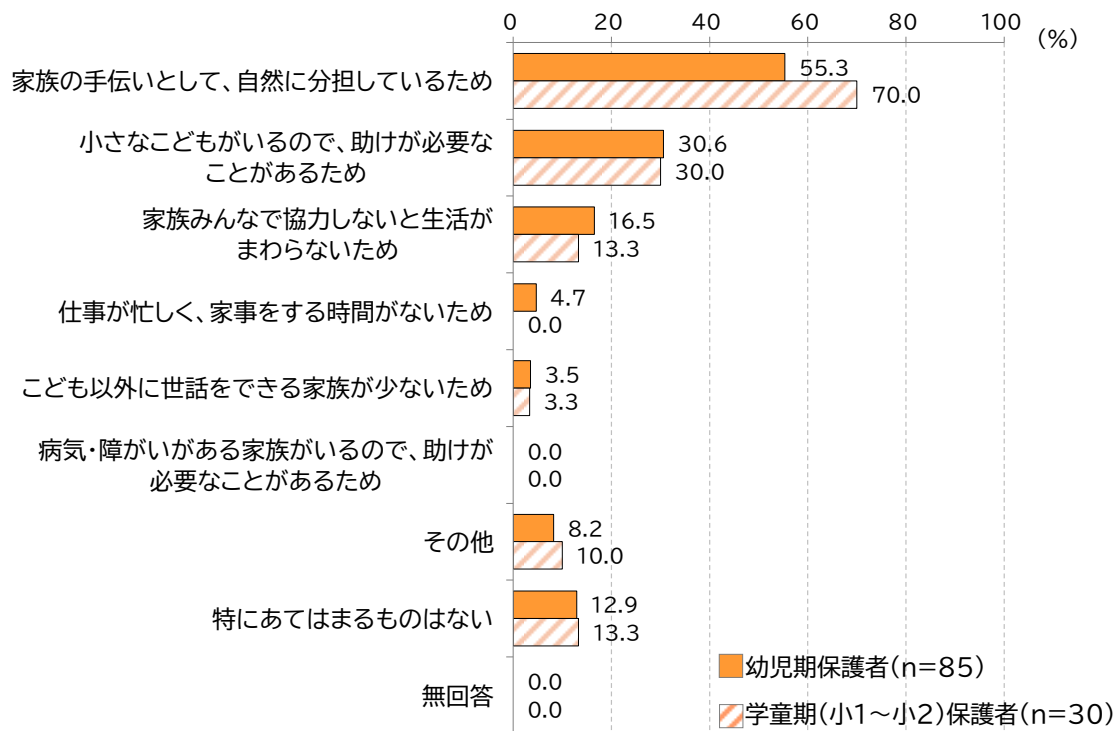
◆前の問で、「子どもが家族の生活を支えるために行っていることはない」以外を回答した方のみ

問:お子さま、またはそのきょうだいが、家族の世話や手伝いをする事が多い理由をお答えください。(回答はあてはまるものすべて)



世話や手伝いが多い理由について、「家族の手伝いとして、自然に分担しているため」との回答が59.1%と最も高く、次いで「小さな子どもがいるので、助けが必要なことがあるため」(30.4%)、「家族みんなで協力しないと生活がまわらないため」(15.7%)などの順となっています。

【世話や手伝いが多い理由(就学状況別)】

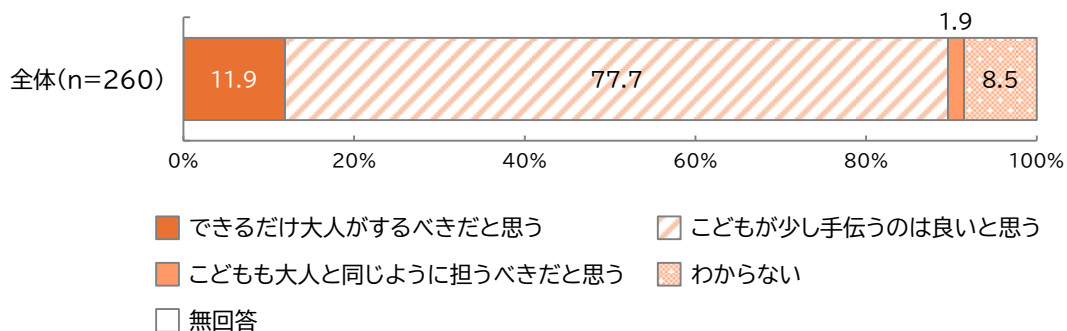


就学状況別にみると、「家族の手伝いとして、自然に分担しているため」との回答は学童期保護者(70.0%)が幼児期保護者(55.3%)を 14.7 ポイント上回っています。

(2)子どもが家事や家族の世話をすることに対する考え方

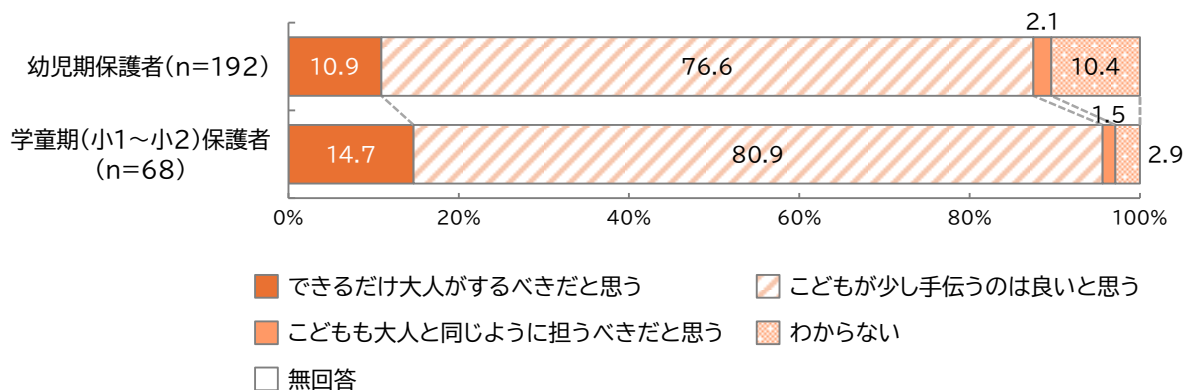
問:お子さま、またはそのきょうだい家事や家族の世話をすることについて、どのように思いますか。(回答は1つ)

【子どもが家事や家族の世話をすることに対する考え方】



子どもが家事や家族の世話をすることに対する考え方について、「子どもが少し手伝うのは良いと思う」との回答が 77.7%と最も高く、次いで「出来るだけ大人がすべきだと思う」(11.9%)などの順となっています。

【子どもが家族の世話をすることに対する考え方(就学状況別)】



就学状況別にみると、子どもが家事や家族の世話をすることに対する考え方について大きな差はみられません。

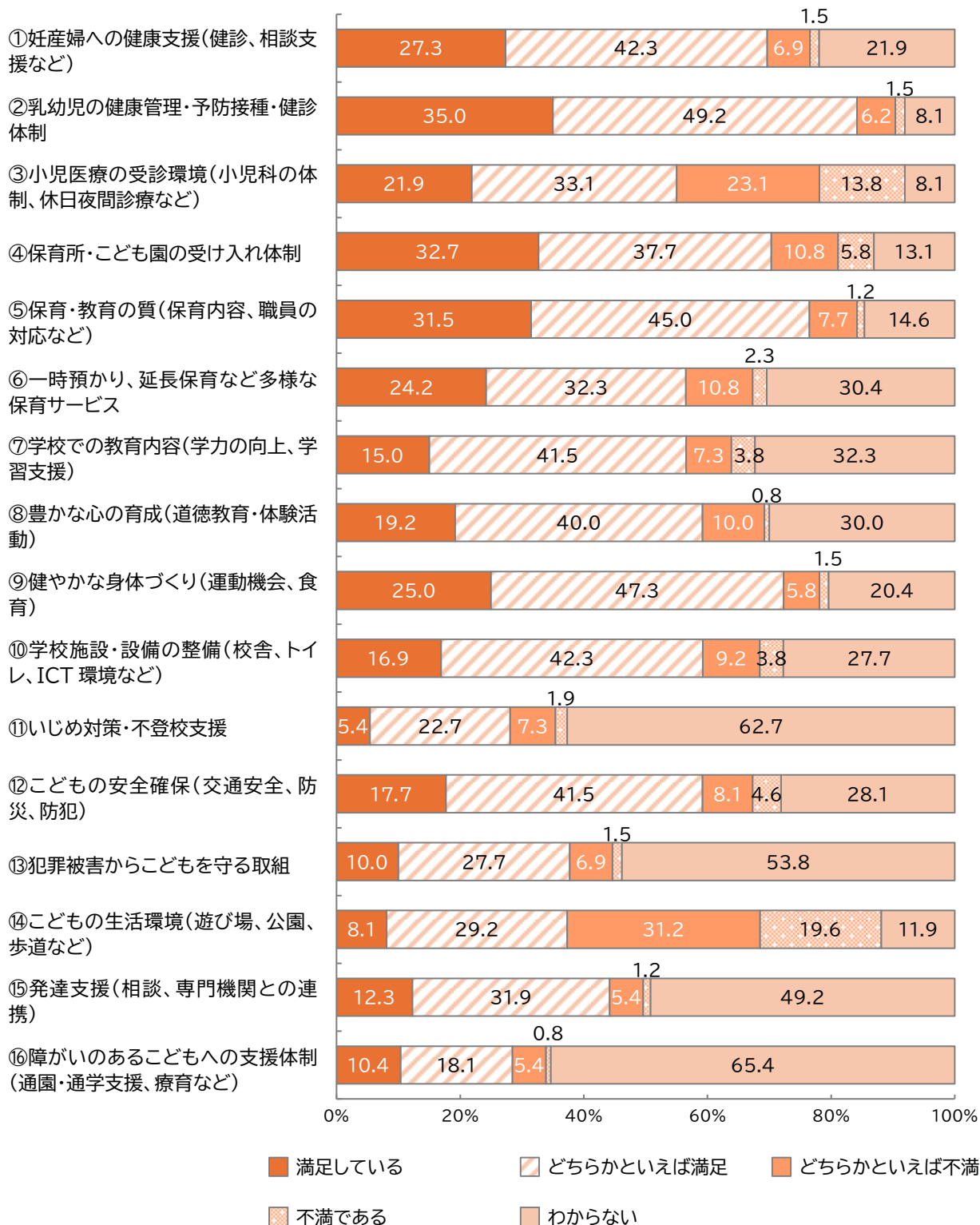
7 子育て環境に対する評価について

(1) 子育て環境に対する評価

問: 本町の子育て環境についてどのように感じていますか。(回答はそれぞれ1つ)

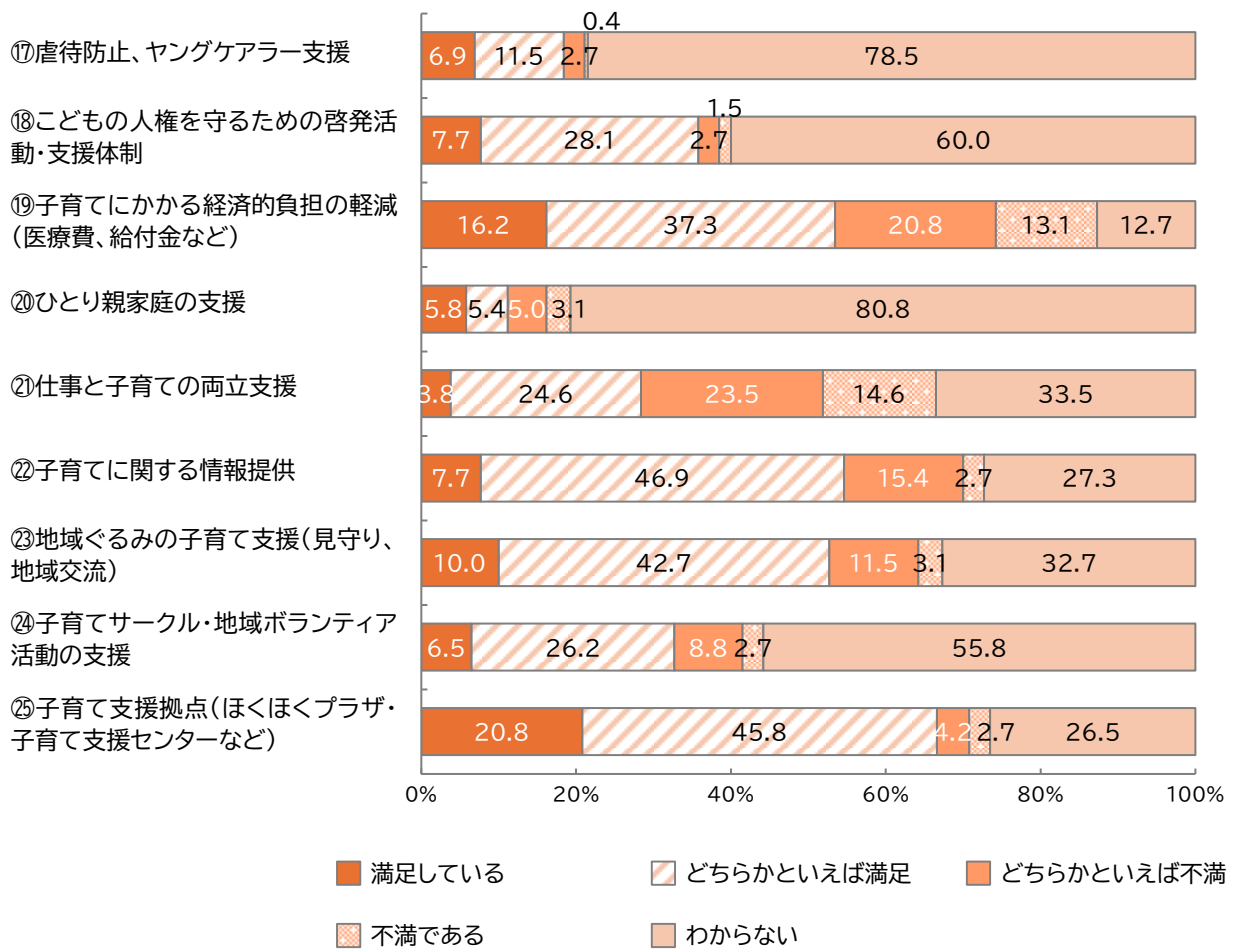
【子育て環境に対する評価】

(n=260)



【子育て環境に対する評価】

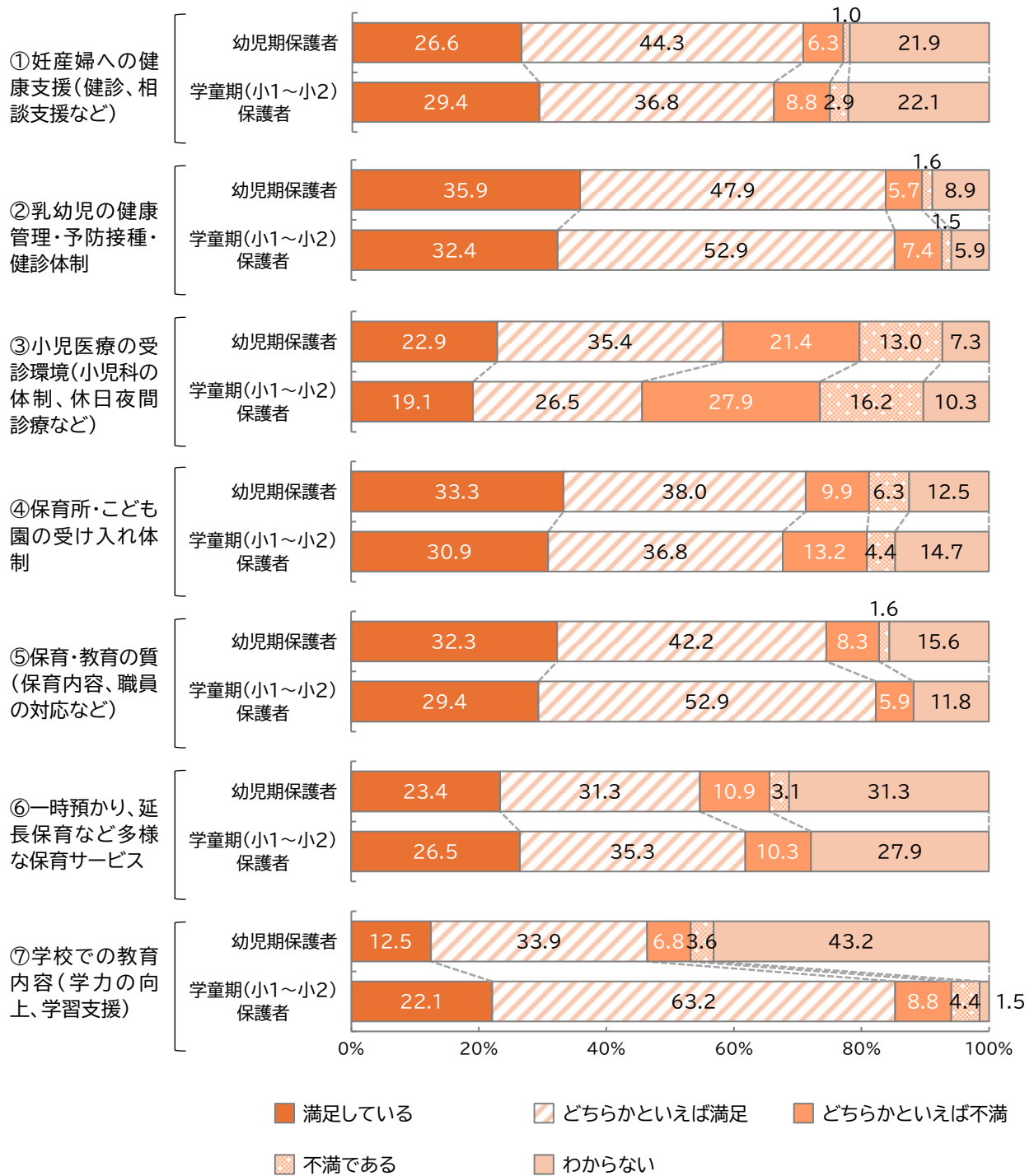
(n=260)



子育て環境に対する評価について、『満足している』(「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合)との回答は「乳幼児の健康管理・予防接種・健診体制」で8割台半ば、「保育・教育の質(保育内容、職員の対応など)」、「健やかな身体づくり(運動機会、食育)」で7割台と高くなっています。また、「虐待防止、ヤングケアラー支援」、「ひとり親家庭の支援」では「わからない」との回答が8割前後と高くなっています。

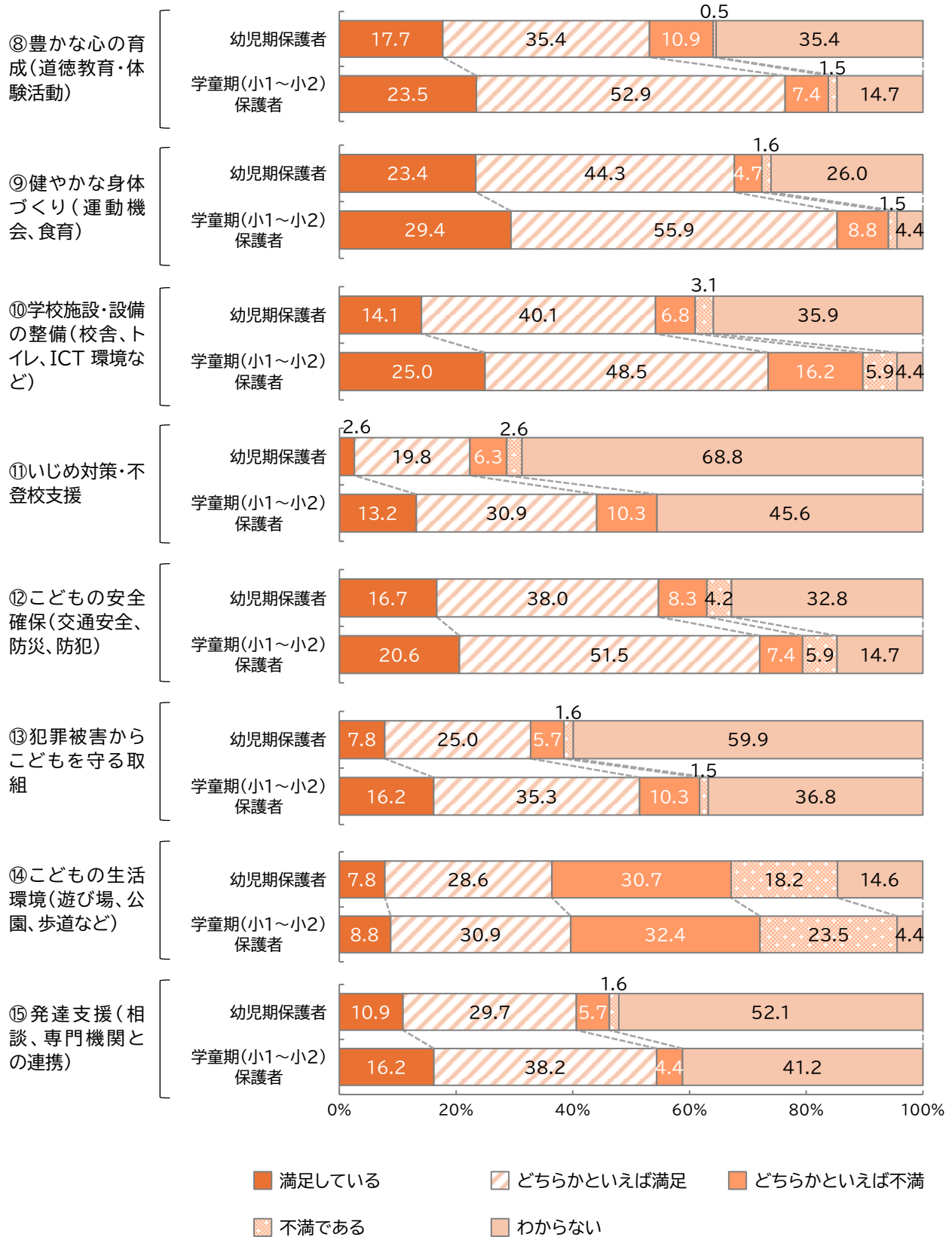
【子育て環境に対する評価(就学状況別)】

幼児期保護者(n=192)・学童期(小1～小2)保護者(n=68)



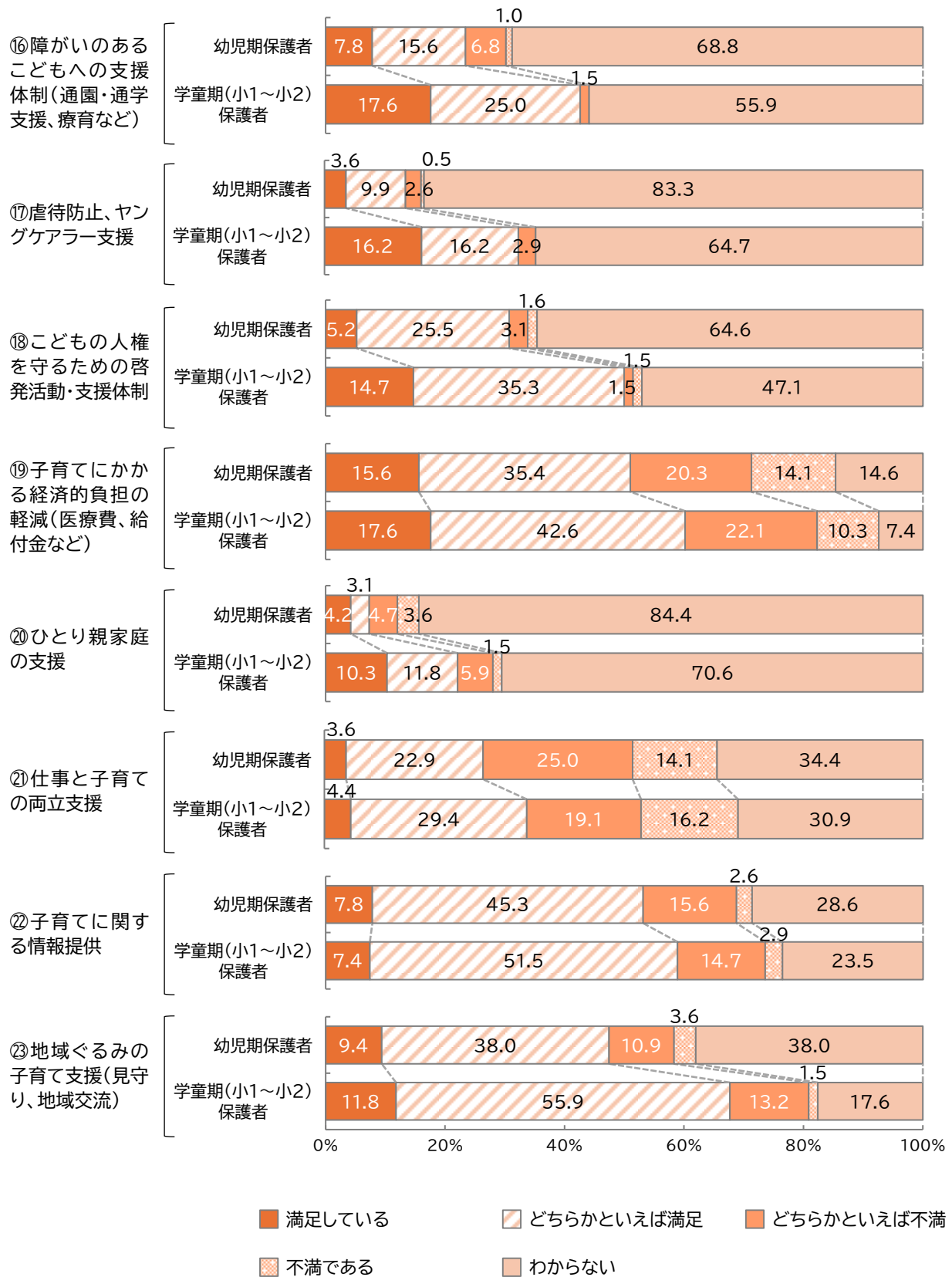
【子育て環境に対する評価(就学状況別)】

幼児期保護者(n=192)・学童期(小1～小2)保護者(n=68)



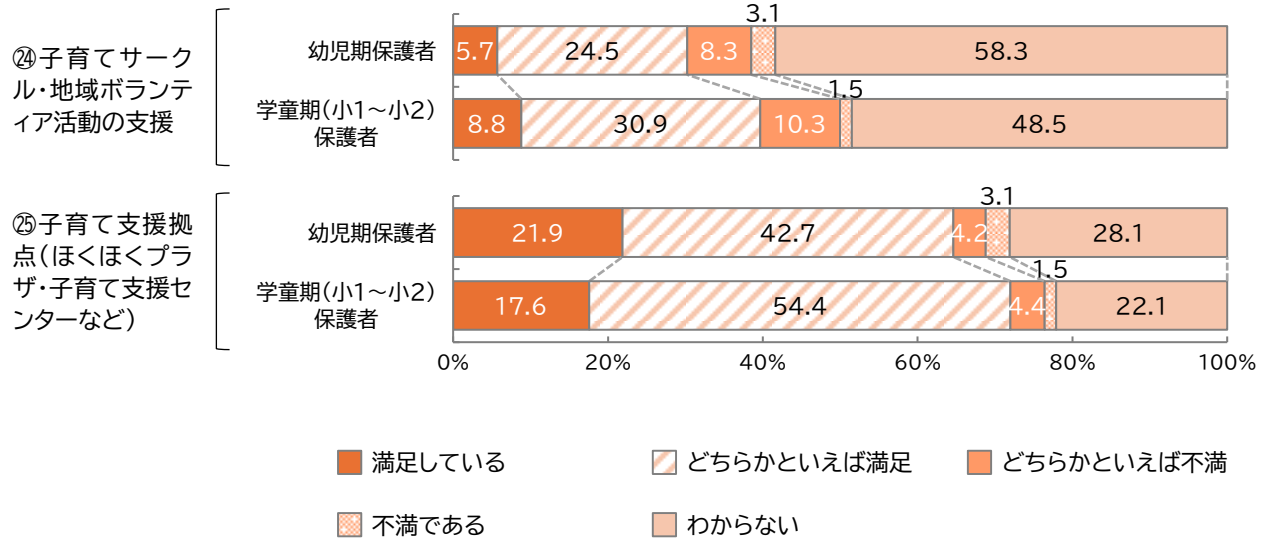
【子育て環境に対する評価(就学状況別)】

幼児期保護者(n=192)・学童期(小1～小2)保護者(n=68)



【子育て環境に対する評価(就学状況別)】

幼児期保護者(n=192)・学童期(小1～小2)保護者(n=68)

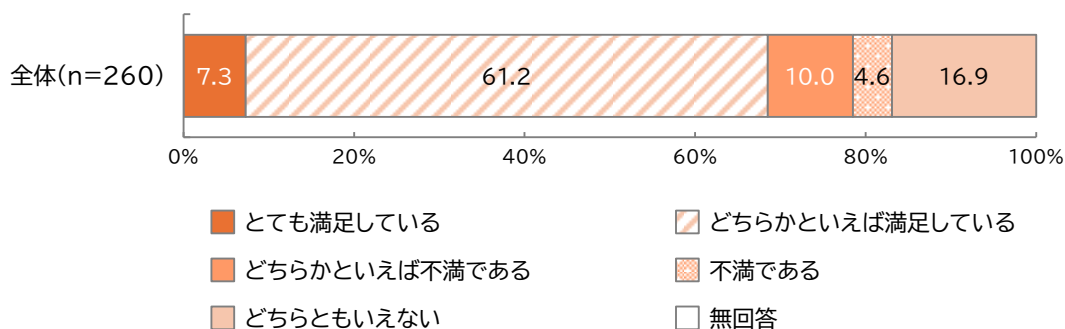


就学状況別にみると、『満足している』との回答は「小児医療の受診環境(小児科の体制、休日夜間診療など)」で幼児期保護者が学童期保護者を 12.7 ポイント上回っています。一方、「学校での教育内容(学力の向上、学習支援)」、「豊かな心の育成(道徳教育・体験活動)」、「いじめ対策・不登校支援」、「地域ぐるみの子育て支援(見守り、地域交流)」では学童期保護者が幼児期保護者を 20.0 ポイント以上上回っています。

(2)北栄町の子育て環境に対する総合的評価

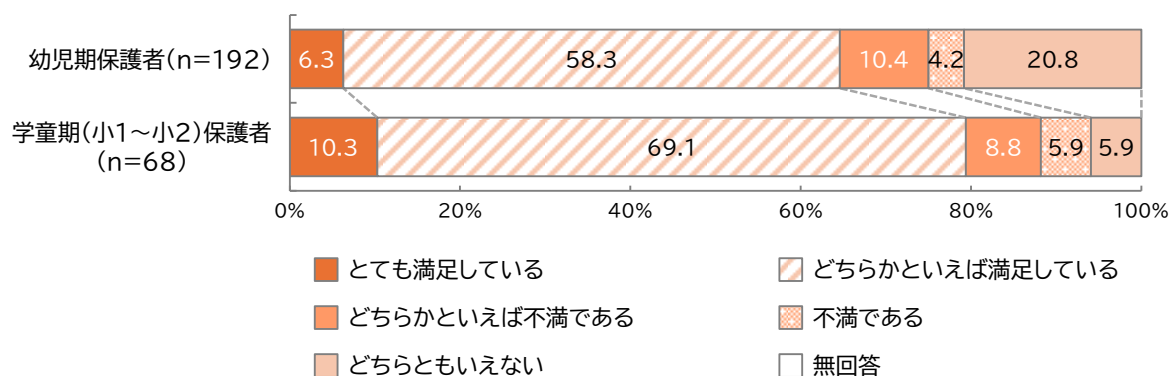
問:本町の子育て環境や子ども・子育て支援の取り組みについて、総合的にみるとあなたはどのような評価をしていますか。(回答は1つ)

【北栄町の子育て環境に対する総合的評価】



北栄町の子育て環境に対する総合的評価について、『満足している』(「とても満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合)との回答が 68.5%、『不満である』(「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた割合)との回答が 14.6%となっています。

【北栄町の子育て環境に対する総合的評価(就学状況別)】



就学状況別にみると、『満足している』との回答は学童期保護者(79.4%)が幼児期保護者(64.6%)を 14.8 ポイント上回っています。

8 自由意見

問:本町の子ども・子育て支援のあり方や必要だと思われる支援策、望むことなどについてのご意見を、ご自由にお書きください。

※意見をカテゴリー分けし、抜粋して掲載

●行政に関すること

意見	就学状況	居住地区
年度途中のこども園の入所が厳しい状況を改善してほしい。	幼児期保護者	大栄地区
国で開始された計画を、田舎なのに早く計画を立て実行してくれている。	学童期(小1~小2)保護者	北条地区

●保育・学校に関すること

意見	就学状況	居住地区
公立の学校でもしっかり学力がつくようにしてほしい。	幼児期保護者	大栄地区
教育の地域格差などという言葉が平気で使われない北栄町にしたい。	学童期(小1~小2)保護者	大栄地区

●生活環境に関すること

意見	就学状況	居住地区
南部町の図書館のように土日に屋内で遊べるような場所があると嬉しい。	幼児期保護者	北条地区
子どもが楽しく安全に遊べる公園がほしい。土日祝日関係なく、小学生が室内でも体を動かして遊べる場所がほしい。	学童期(小1~小2)保護者	大栄地区

●医療に関すること

意見	就学状況	居住地区
町内に内科や小児科の誘致をしてほしい。	幼児期保護者	大栄地区
町内に小児科や出産可能な産婦人科があると、より安心して生活できる。	学童期(小1~小2)保護者	大栄地区

●相談機関に関すること

意見	就学状況	居住地区
子育て支援センターを土日祝日も開放してほしい。	幼児期保護者	大栄地区
子育てやこどもの発達に関する相談窓口の周知が不足しているように思う。	幼児期保護者	北条地区

第2章 こども・青年期アンケート調査結果

I 調査の概要

(1)調査目的

本調査は、北栄町こども計画の策定にあたり、本町のこども・若者の状況等を把握し、本町がこれから取り組んでいく事業の計画の策定に向けた基礎資料とすることを目的として実施した。

(2)調査方法

- 1) 調査対象： 小学3～6年生の児童 500 人、中学生 425 人、高校生 404 人、18～22 歳 443 人
- 2) 調査期間： 令和7年12月26日～令和8年1月 28 日まで
- 3) 調査方法： 小学校、中学校を通じて配布・インターネットによる回答
高校生、18～22 歳は郵送配布・インターネットによる回答

(3)回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
小学3～6年生	500 票	471 票	94.2%
中学生	425 票	313 票	73.6%
高校生	404 票	121 票	30.0%
18～22 歳	443 票	95 票	21.4%

(4)報告書の見方

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100.0%とならない場合がある。
- ・図表中の「n」は number of cases の略で、回答数総数または分類別の回答者数を示す。各比率はnを 100.0%として算出している。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- ・自由記述の回答は、趣旨を変えない範囲で要約し記述している。

Ⅱ 調査結果の概要

◆普段の生活について

健康状態や家庭生活に対する満足度は全体的に高く、多くの子ども・青年が友人や家族との時間をポジティブに捉えていた。(p.58～60)しかし、成長段階が上がるにつれて生活リズムが乱れやすくなり、とくに高校生では朝食を毎日食べない割合が増加し、家庭学習時間が減少する傾向がみられた。(p.67、71)また、授業理解については「教科によってわからないことがある」と感じる子どもが4割近くを占め、学習面のつまずきが一定数存在することが確認された。(p.73)

◆スマートフォン等の利用状況について

スマートフォン等の利用状況では、動画視聴やゲーム、音楽などを中心に利用が広がっており、1～2時間程度の利用層が多いものの、5時間以上利用する長時間利用層も一定数存在した。(p.79)こうしたデジタル機器との関わりが生活習慣や学習時間に及ぼす影響については、今後の継続的なモニタリングが必要である。

◆悩みや困りごとについて

小中学生では「悩みはない」との回答が多い一方で、高校生や青年期では将来や進学、就職、経済面に関する不安が増加しており、年齢が上がるにつれて心理的負担が高まっていることが示唆された。(p.83)相談相手としては母親や友人を挙げる子どもが多い一方で、「誰にも相談できない」「相談したくない」とする層も一定数存在する。こうした層は、悩みや不安を周囲に伝えられないまま抱え込んでしまう可能性があり、早期に気づき、適切な支援につなげられるかが今後の重要な課題である。(p.84)

◆ヤングケアラーについて

およそ1割弱の子どもが家事やきょうだいの世話を日常的に担っており、その一部には睡眠不足や自由時間の減少、学校生活への影響がみられた。(p.101)高校生や青年期ではヤングケアラーの認知度が高まっている一方、小中学生では認知度は低く、相談や支援につながらない可能性もあるため、早期介入の必要性が明らかとなった。(p.104)

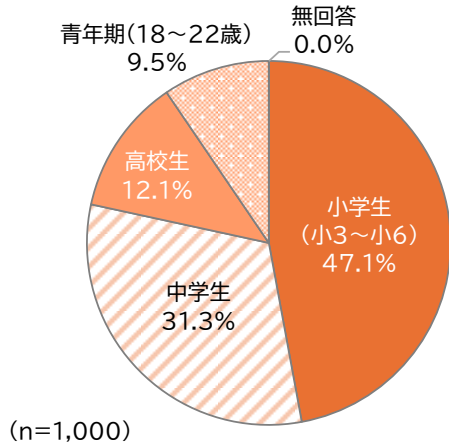
◆将来について

将来の定住意向について、北栄町に「住み続けたい」とする意向は約3割にとどまり、町外志向の理由として「都会で暮らしたい」「楽しめる場所が少ない」「希望する仕事・進学先がない」などが挙げられた。(p.112、114)若者が将来を描きやすい環境整備や進学・就職支援、地域資源の魅力向上など、若者の視点に立った施策の必要性が示されている。

Ⅲ 調査結果

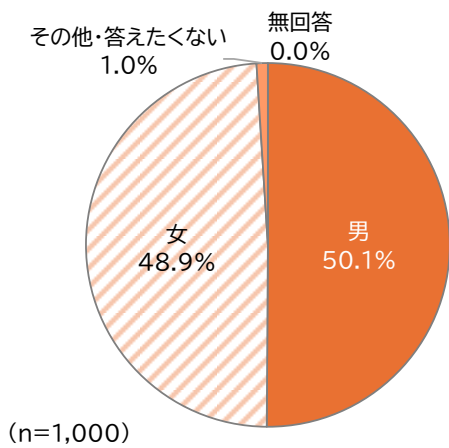
1 属性

(1)年代区分



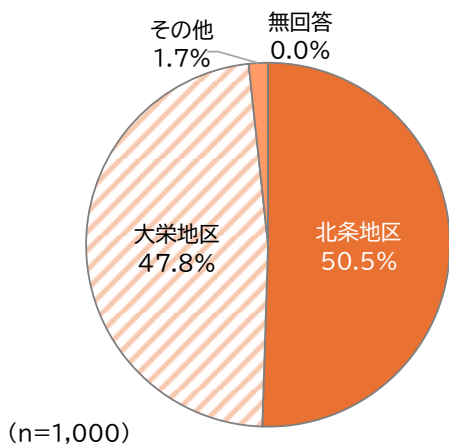
	回答数	(%)
小学生(小3~小6)	471	47.1
中学生	313	31.3
高校生	121	12.1
青年期(18~22歳)	95	9.5
無回答	-	-
合計	1,000	100.0

(2)性別



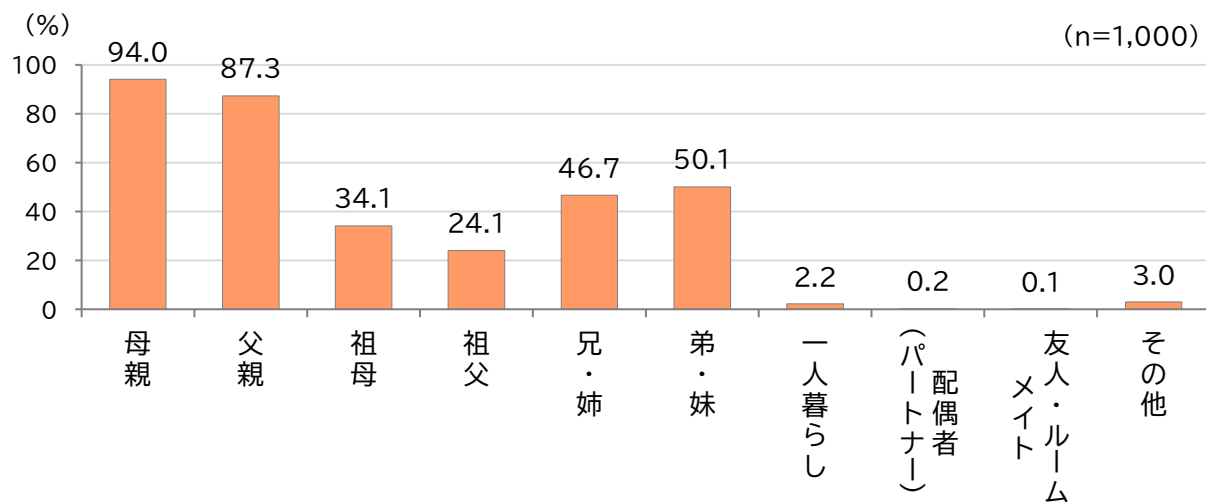
	回答数	(%)
男	501	50.1
女	489	48.9
その他・答えたくない	10	1.0
無回答	-	-
合計	1,000	100.0

(3)居住地区



	回答数	(%)
北条地区	505	50.5
大栄地区	478	47.8
無回答	17	1.7
合計	1,000	100.0

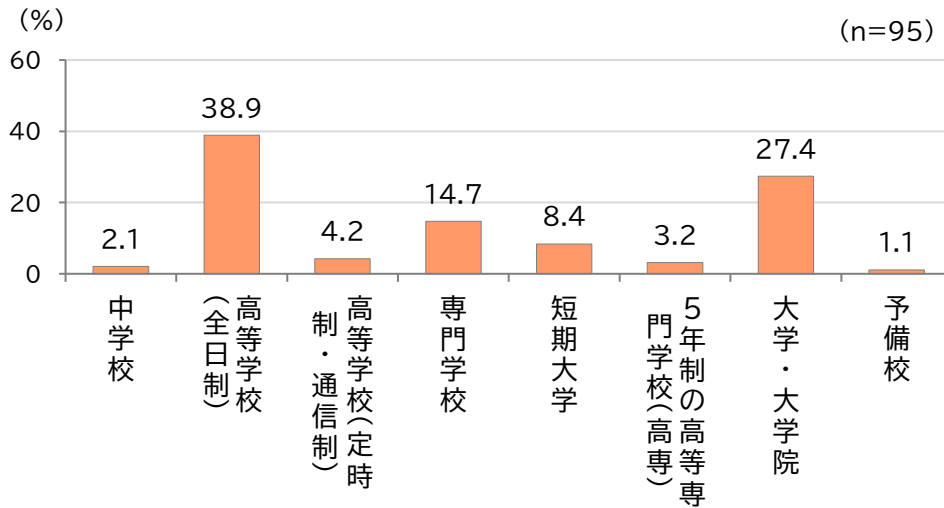
(4)同居の家族



	母親	父親	祖母	祖父	兄・姉	弟・妹	一人暮らし	(パートナー) 配偶者	友人・ルームメイト	その他
回答数	940	873	341	241	467	501	22	2	1	30
(%)	94.0	87.3	34.1	24.1	46.7	50.1	2.2	0.2	0.1	3.0

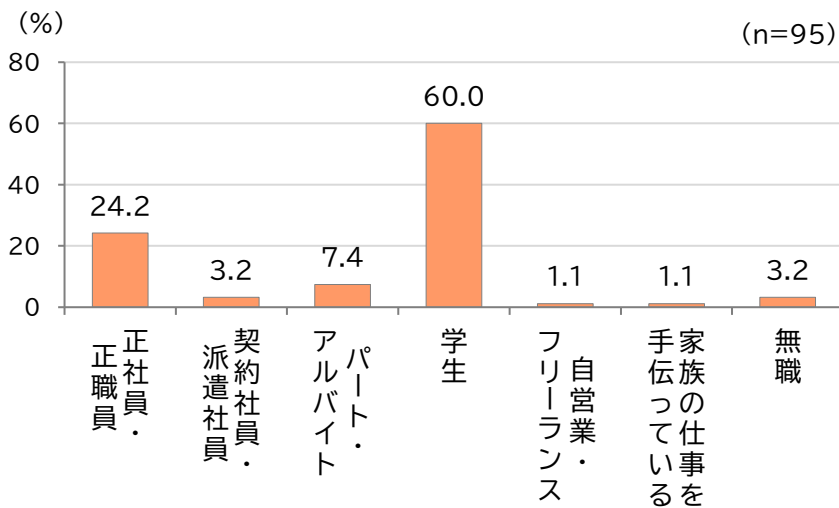
(5)最終学歴

※(5)(6)は青年期のみ



	中学校	高等学校(全日制)	高等学校(定時制・通信制)	専門学校	短期大学	5年制の高等専門学校(高専)	大学・大学院	予備校
回答数	2	37	4	14	8	3	26	1
(%)	2.1	38.9	4.2	14.7	8.4	3.2	27.4	1.1

(6)就労状況

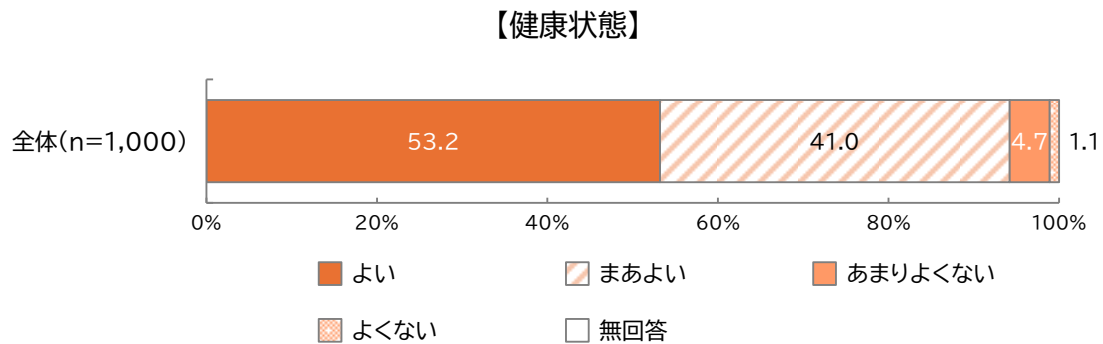


	正社員・正職員	社員 契約社員・派遣	パート・アルバイト	学生	ラン 自営業・フリー	伝 家族の仕事を手	無職
回答数	23	3	7	57	1	1	3
(%)	24.2	3.2	7.4	60.0	1.1	1.1	3.2

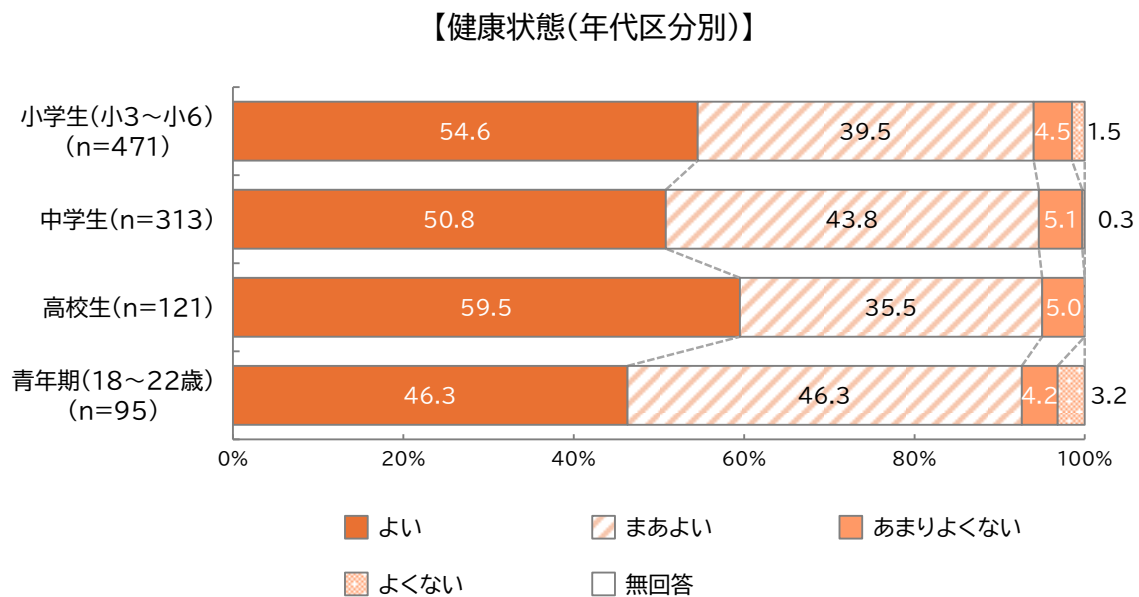
2 普段の生活について

(1)健康状態

問:あなたの最近の健康状態はいかがですか。(回答は1つ)



健康状態について、『よい』(「よい」と「まあよい」を合わせた割合)との回答が 94.2%、『よくない』(「よくない」と「あまりよくない」を合わせた割合)との回答が 5.8%となっています。

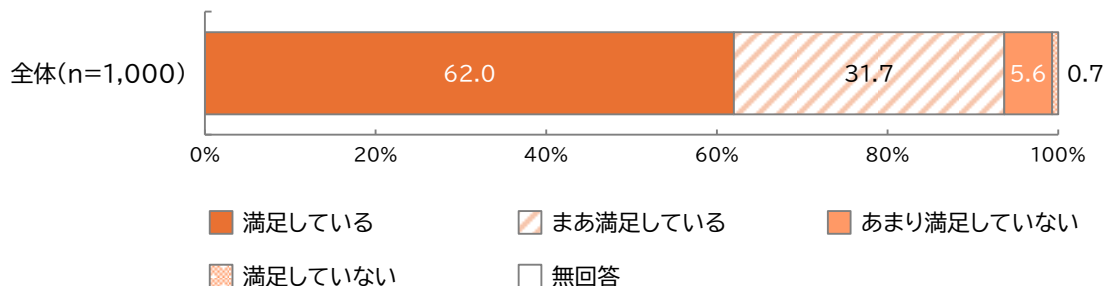


年代区分別にみると、『よい』との回答はすべての区分で9割を超え高くなっています。

(2) 家庭生活の満足度

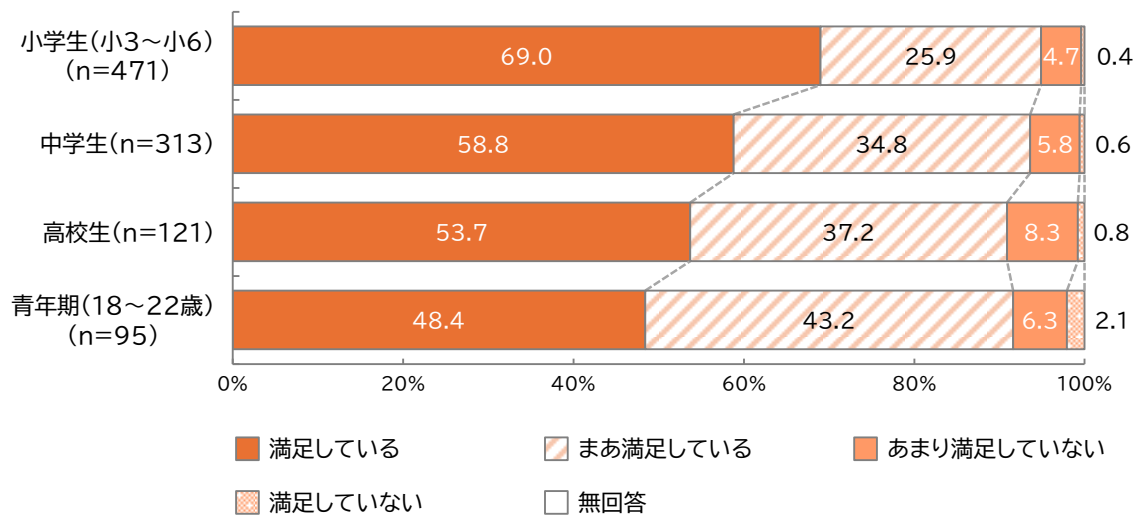
問: あなたは最近の家庭生活に満足していますか。(回答は1つ)

【家庭生活の満足度】



家庭生活の満足度について、『満足している』(「満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合)との回答が 93.7%、『満足していない』(「満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた割合)との回答が 6.3%となっています。

【家庭生活の満足度(年代区分別)】

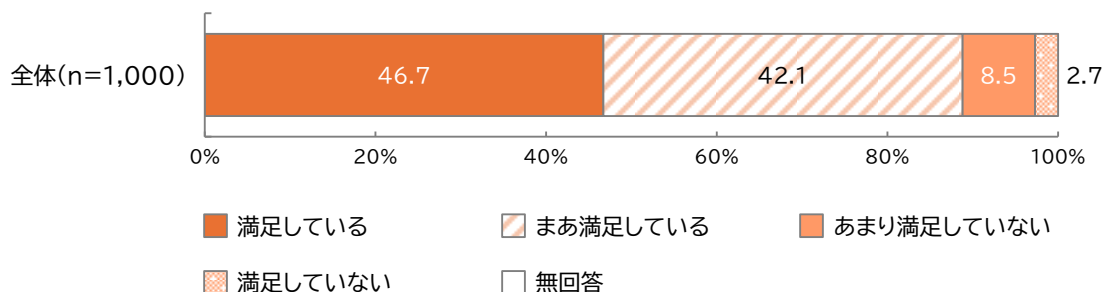


年代区分別にみると、『満足している』との回答はすべての区分で9割を超え高くなっています。

(3) 職場や学校生活の満足度

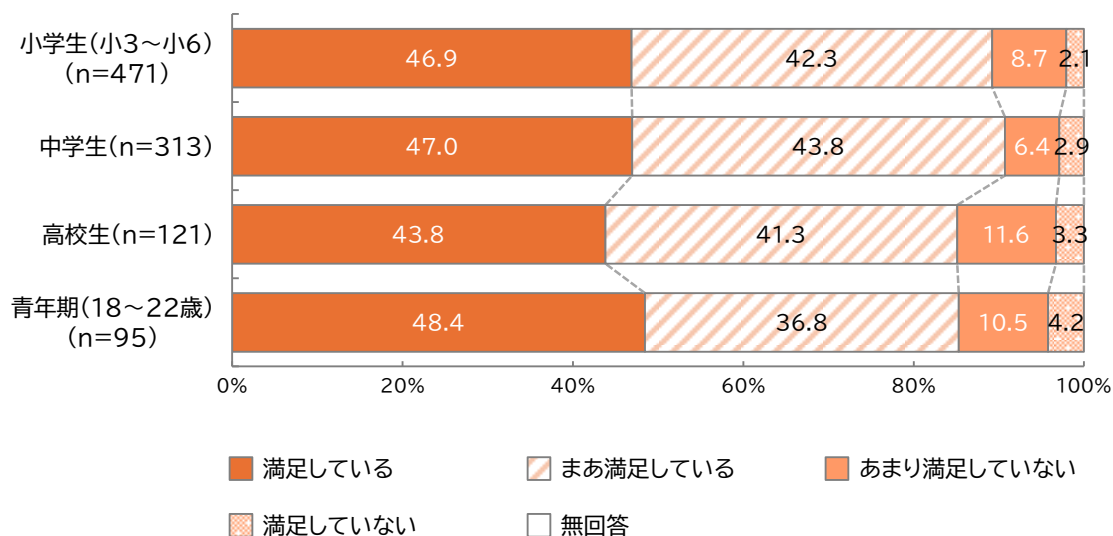
問:あなたは最近の学校や職場での生活に満足していますか。(回答は1つ)

【職場や学校生活の満足度】



学校生活の満足度について、『満足している』との回答が 88.8%、『満足していない』との回答が 11.2%となっています。

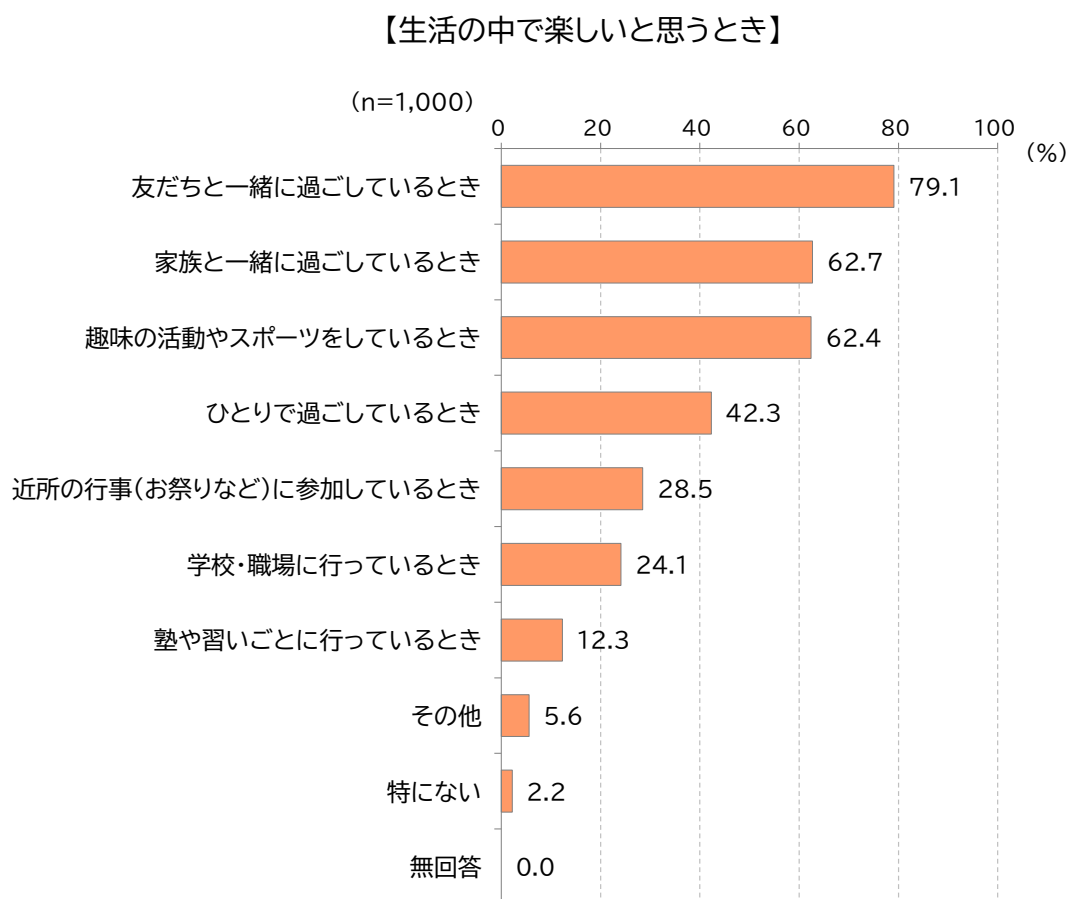
【職場や学校生活の満足度(年代区分別)】



年代区分別にみると、『満足している』との回答は小学生、中学生で約9割、高校生、青年期で8割台半ばとなっています。

(4)生活の中で楽しいと思うとき

問:あなたは毎日の生活の中でどのようなときに楽しいと思いますか。
(回答はあてはまるものすべて)



生活の中で楽しいと思うときについて、「友だちと一緒に過ごしているとき」との回答が 79.1%と最も高く、次いで「家族と一緒に過ごしているとき」(62.7%)、「趣味の活動やスポーツをしているとき」(62.4%)などの順となっています。

【生活の中で楽しいと思うとき(年代区分別)】

		て友だちと一緒に過ごしているとき	家族と一緒に過ごしているとき	趣味の活動やスポーツをしているとき	ひとりで過ごしているとき	近所の行事(お祭りなど)に参加しているとき	学校・職場に行っているとき	塾や習いごとに行っているとき	その他
全体 n= 1,000		79.1	62.7	62.4	42.3	28.5	24.1	12.3	5.6
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 471	81.5	73.9	55.2	34.2	38.6	25.3	19.5	9.1
	中学生 n= 313	83.7	55.0	73.2	51.8	23.3	22.0	8.3	3.2
	高校生 n= 121	71.9	51.2	67.8	50.4	20.7	29.8	4.1	1.7
	青年期(18~22歳) n= 95	61.1	47.4	55.8	41.1	5.3	17.9	-	1.1
		特 に な い	無 回 答						
全体 n= 1,000		2.2	-						
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 471	1.7	-						
	中学生 n= 313	1.6	-						
	高校生 n= 121	3.3	-						
	青年期(18~22歳) n= 95	5.3	-						

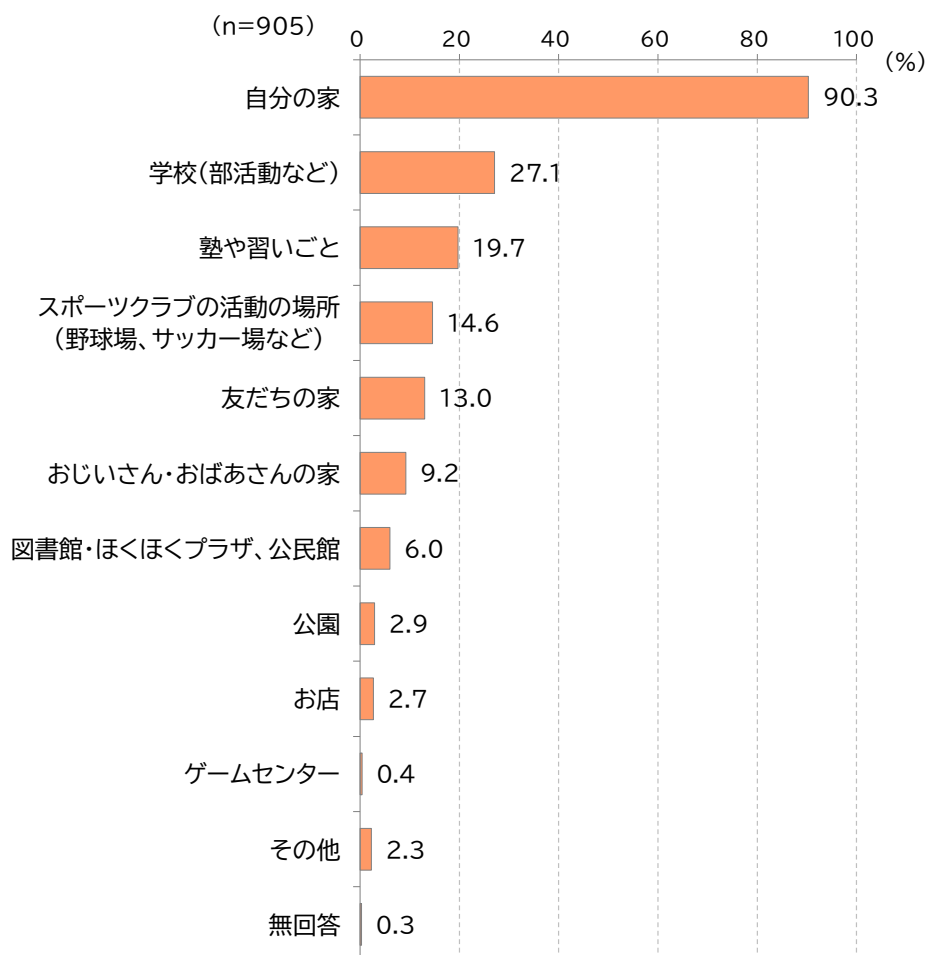
年代区分別にみると、「友だちと一緒に過ごしているとき」との回答は小学生、中学生で8割台前半、「家族と一緒に過ごしているとき」との回答は小学生で7割台前半、「趣味の活動やスポーツをしているとき」との回答は中学生で7割台前半、「ひとりで過ごしているとき」との回答は中学生、高校生で5割台前半、「近所の行事(お祭りなど)に参加しているとき」との回答は小学生で3割台後半と高くなっています。

(5)平日の放課後を過ごす場所

問:あなたは平日(学校がある日)の授業が終わった後(放課後)、主にどこで過ごしていますか。
(回答はあてはまるもの3つまで)

※小学生～高校生のみ

【平日の放課後を過ごす場所】



平日の放課後を過ごす場所について、「自分の家」との回答が 90.3%と最も高く、次いで「学校(部活動など)」(27.1%)、「塾や習いごと」(19.7%)などの順となっています。

【平日の放課後を過ごす場所(年代区分別)】

		自分の家	学校 (部活動など)	塾や習いごと	スポーツクラブの活動 の場所(野球場、サツ カ―場など)	友だちの家	おじいさん・おばあさ んの家	図書館・ほくほくプラ ザ、公民館	公園
全体 n= 905		90.3	27.1	19.7	14.6	13.0	9.2	6.0	2.9
年代 区 分 別	小学生(小3~小6) n= 471	90.0	15.9	15.9	18.3	17.8	15.3	4.7	3.6
	中学生 n= 313	95.2	32.6	28.8	12.1	10.9	3.2	8.0	1.9
	高校生 n= 121	78.5	56.2	10.7	6.6	-	0.8	5.8	2.5
		お 店	ゲ ー ム セ ン タ ー	そ の 他	無 回 答				
全体 n= 905		2.7	0.4	2.3	0.3				
年代 区 分 別	小学生(小3~小6) n= 471	2.1	0.4	2.1	0.6				
	中学生 n= 313	1.3	0.6	1.6	-				
	高校生 n= 121	8.3	-	5.0	-				

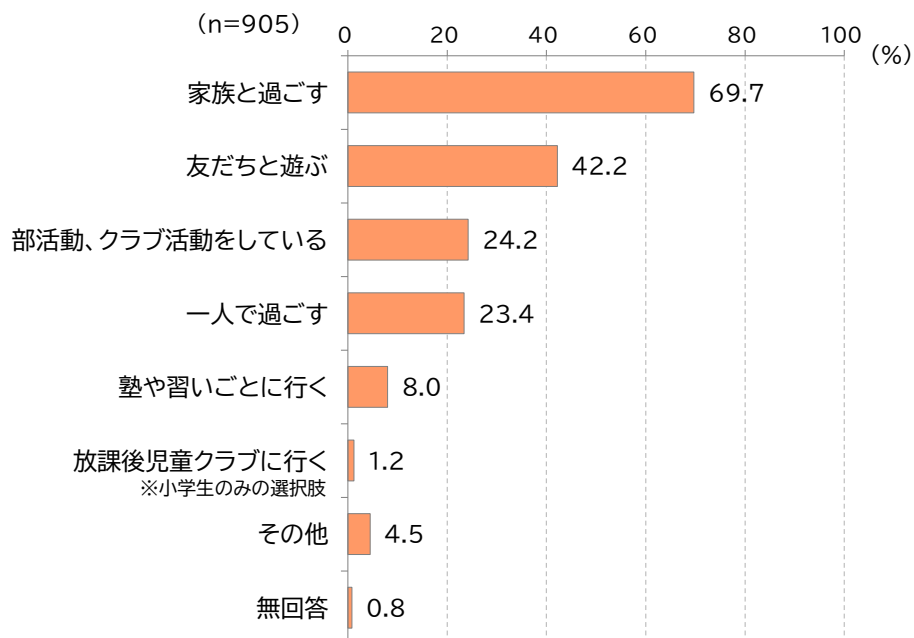
年代区分別にみると、「自分の家」との回答は小学生、中学生で9割台、「学校(部活動など)」との回答は高校生で5割台後半、「塾や習いごと」との回答は中学生で2割台後半と高くなっています。

(6) 休日の過ごし方

問: 学校が休みの時は、主にどのように過ごしていますか。(回答はあてはまるもの2つまで)

※小学生～高校生のみ

【休日の過ごし方】



休日の過ごし方について、「家族と過ごす」との回答が 69.7%と最も高く、次いで「友だちと遊ぶ」(42.2%)、「部活動、クラブ活動をしている」(24.2%)、「一人で過ごす」(23.4%)などの順となっています。

【休日の過ごし方(年代区分別)】

		家族と過ごす	友だちと遊ぶ	部活動、クラブ活動をしている	一人で過ごす	塾や習いごとに行く	放課後児童クラブに行く	その他	無回答
全体 n= 905		69.7	42.2	24.2	23.4	8.0	1.2	4.5	0.8
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 471	81.5	45.4	14.4	13.6	8.5	2.3	4.9	1.5
	中学生 n= 313	56.2	42.8	36.4	32.6	8.6	-	2.9	-
	高校生 n= 121	58.7	28.1	30.6	38.0	4.1	-	7.4	-

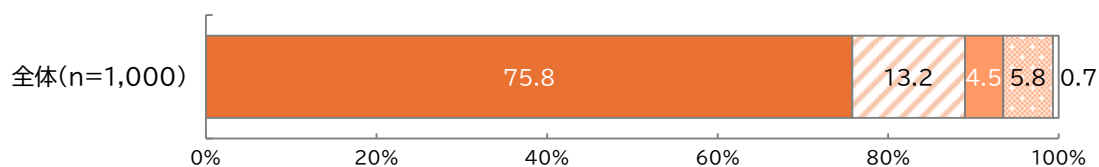
年代区分別にみると、「家族と過ごす」との回答は小学生で8割台前半、「友だちと遊ぶ」との回答は小学生、中学生で4割台、「部活動、クラブ活動をしている」との回答は中学生で3割台後半、「一人で過ごす」との回答は高校生で3割台後半と高くなっています。

(7) 普段の食事の頻度

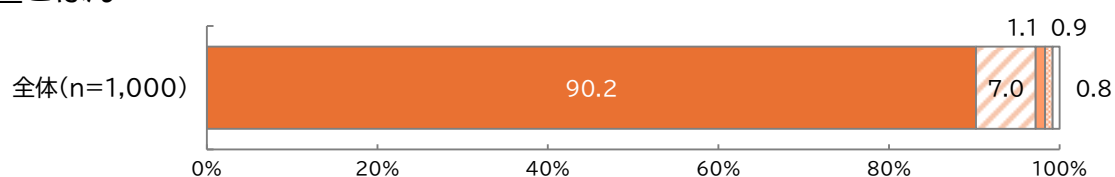
問：普段、あなたは週にどのくらい食事をしていますか。(a～c それぞれ回答は1つ)

【食事の頻度】

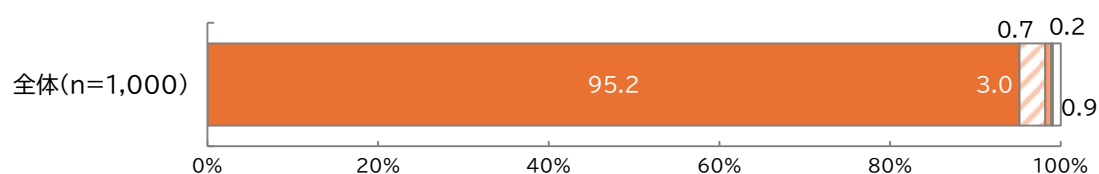
a. 朝ごはん



b. 昼ごはん



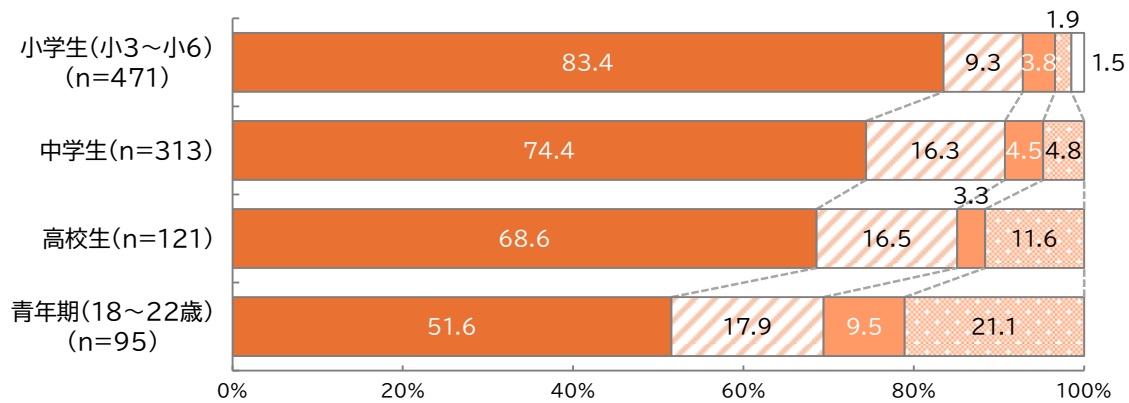
c. 夜ごはん



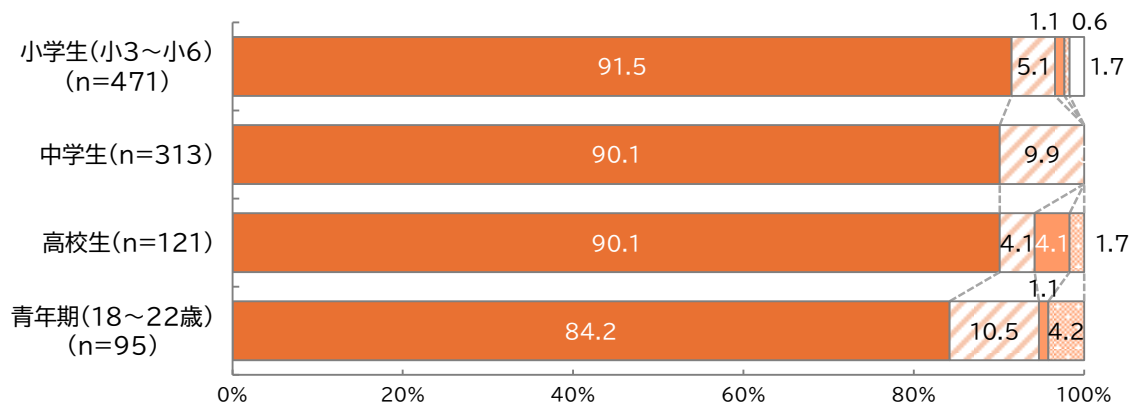
食事の頻度について、「毎日食べる(週7日)」との回答は朝ごはんでは7割台半ば、昼ごはんでは約9割、夜ごはんでは9割台半ばとなっています。また「週5～6日」食べるとの回答は朝ごはんでは1割台前半となっています。

【食事の頻度(年代区分別)】

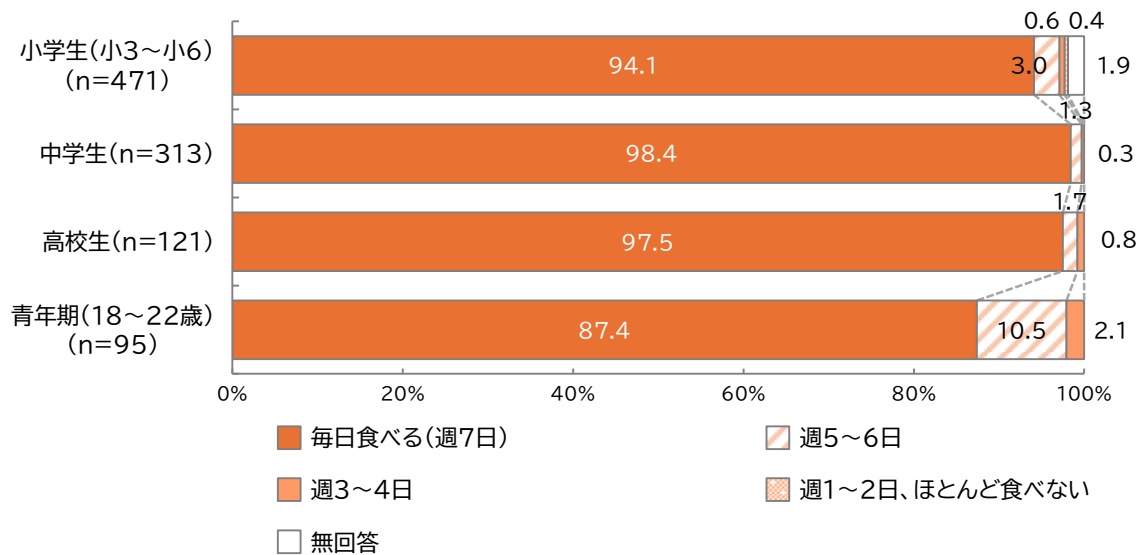
a.朝ごはん



b.昼ごはん



c.夜ごはん



年代区分別にみると、「毎日食べる(週7日)」との回答は朝ごはん小学生が8割前半と高く、年代が上がるにつれて低くなっています。また「毎日食べる(週7日)」との回答は昼ごはん、夜ごはんともに青年期で8割台と低くなっています。

(8)長期休暇時の食事の頻度

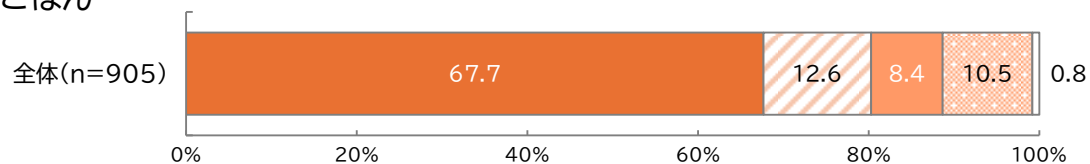
問:夏休みや冬休みなど長期休暇の時、あなたは週にどのくらい食事をしていますか。

(a~c それぞれ回答は1つ)

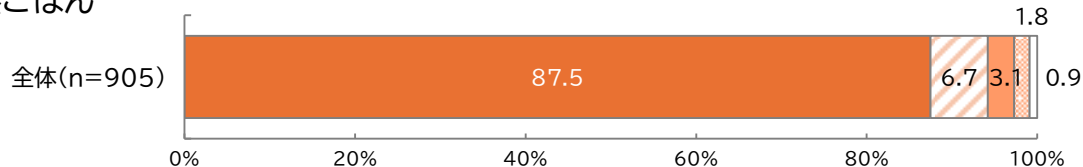
※小学生~高校生のみ

【長期休暇時の食事の頻度】

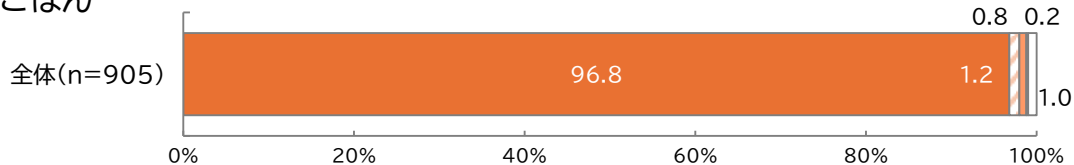
a.朝ごはん



b.昼ごはん



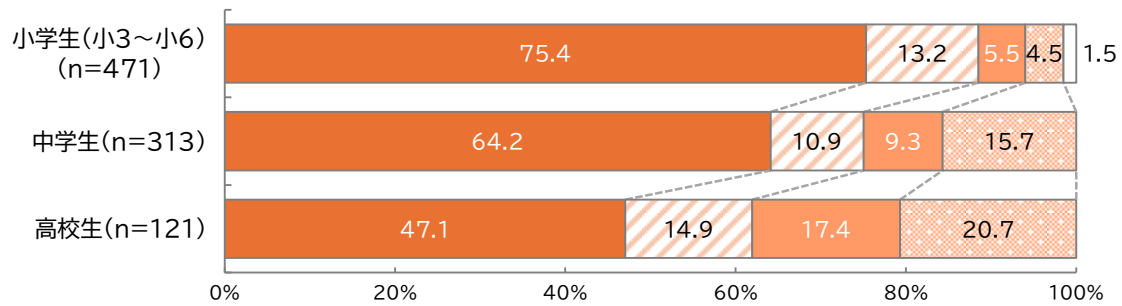
c.夜ごはん



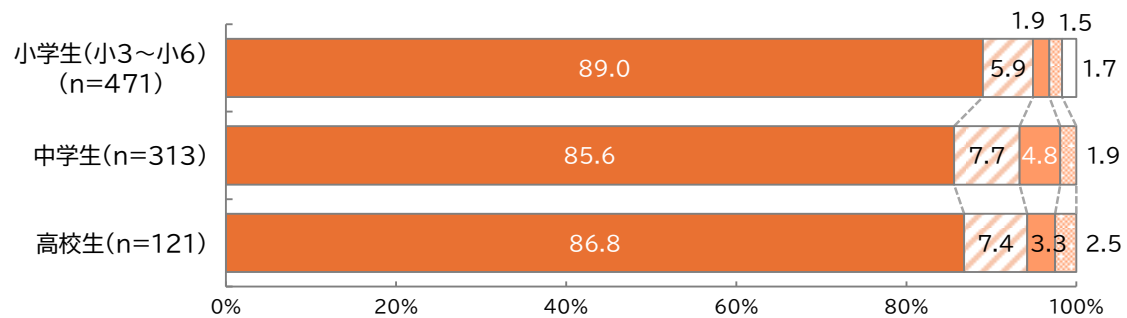
長期休暇時の食事の頻度について、「毎日食べる(週7日)」との回答は朝ごはんでは6割台後半、昼ごはんでは8割台後半、夜ごはんでは9割台後半となっています。また「週5~6日」、「週1~2日、ほとんど食べない」との回答はともに朝ごはんでは1割台となっています。

【長期休暇時の食事の頻度(年代区分別)】

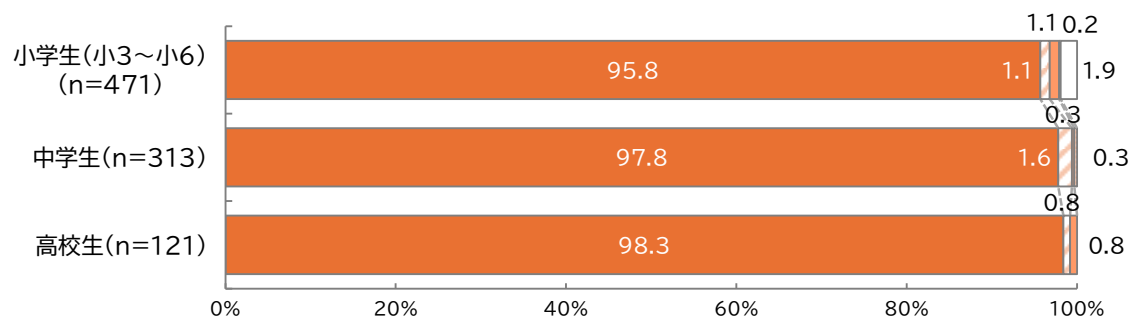
a.朝ごはん



b.昼ごはん



c.夜ごはん



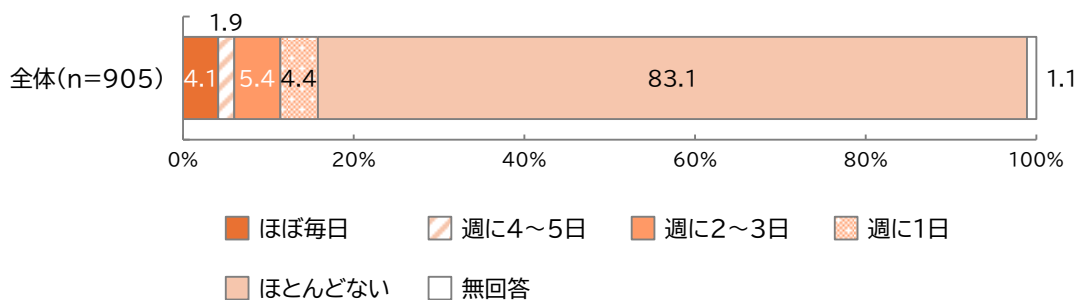
年代区分別にみると、「毎日食べる(週7日)」との回答は朝ごはんでは小学生が7割台半ばと高く、年代が上がるにつれて低くなり、高校生では5割未満となっています。昼ごはん、夜ごはんでは「毎日食べる(週7日)」との回答に大きな差はみられません。

(9)夜ごはんをこどもだけで食べること

問:夜ごはんをひとりだけ(またはきょうだいだけなど大人がいない中、こどもだけ)で食べる
 がありますか。(回答は1つ)

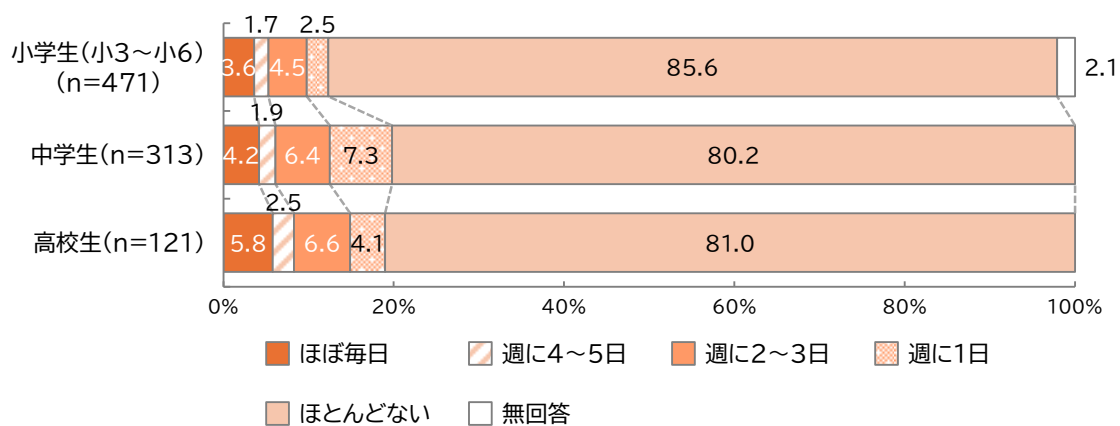
※小学生～高校生のみ

【夜ごはんをこどもだけで食べること】



夜ごはんをこどもだけで食べることについて、「ほぼ毎日」との回答が 4.1%、「週に 4～5 日」との回答が 1.9%、「週に 2～3 日」との回答が 5.4%、「週に1日」との回答が 4.4%、「ほとんどない」との回答は 83.1%となっています。

【夜ごはんをこどもだけで食べること(年代区分別)】



年代区分別にみると、「ほとんどない」との回答はすべての区分で8割を超え高くなっています。

3 勉強について

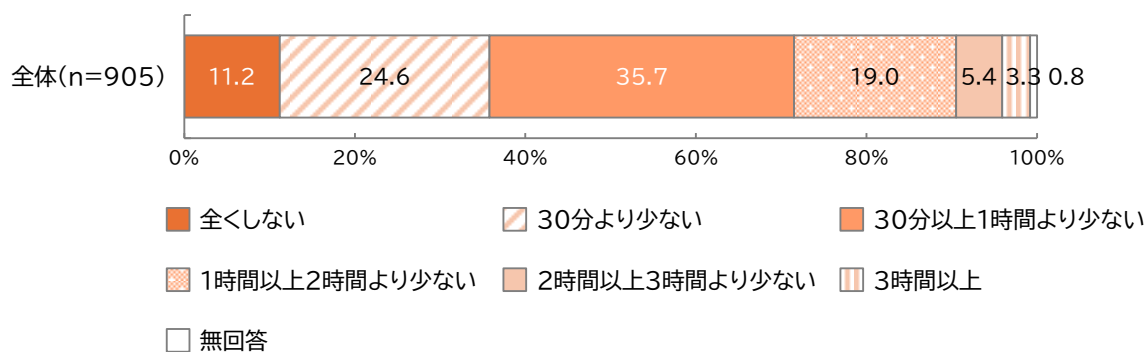
(1)家庭学習の時間

問:あなたは、1日にどのくらい家で勉強(家庭学習)をしていますか。(回答は1つ)

※小学生～高校生のみ

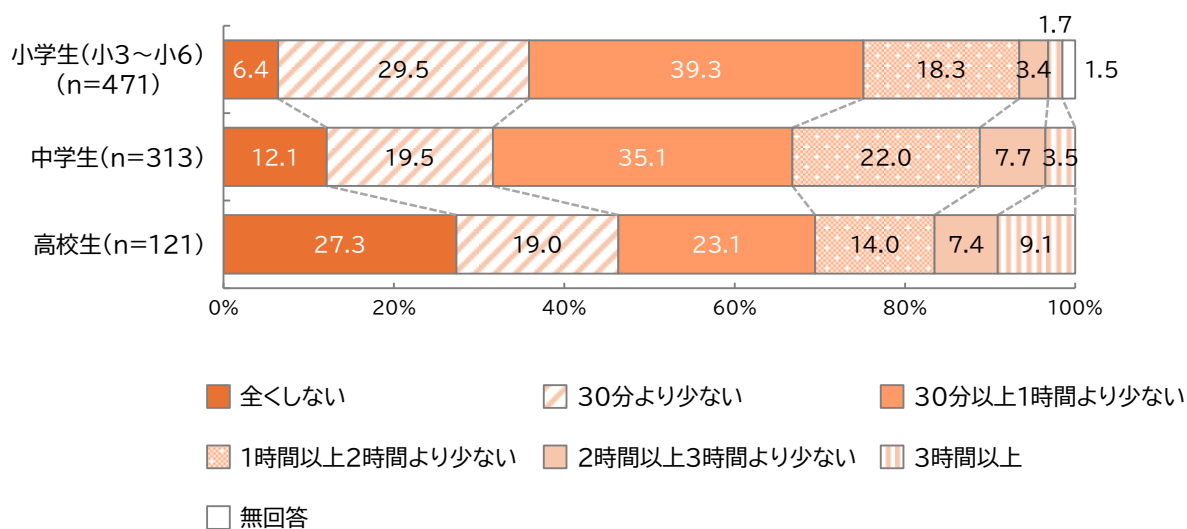
【家庭学習の時間】

《a.学校がある日(月～金曜日)》



家庭学習の時間について、学校がある日(月～金曜日)では「全くしない」との回答が 11.2%、「30分より少ない」との回答が 24.6%、「30分以上1時間より少ない」との回答が 35.7%、「1時間以上2時間より少ない」との回答が 19.0%などとなっています。

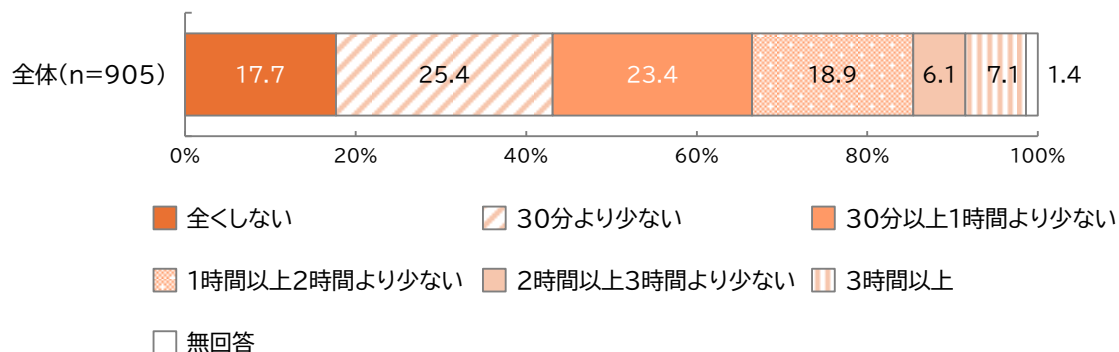
【家庭学習の時間(年代区分別)】



年代区分別にみると、「全くしない」との回答は高校生で2割台後半となっており、年代が上がるにつれて高くなっています。また、「30分より少ない」との回答は小学生で約3割、「30分以上1時間より少ない」との回答は小学生で約4割と高くなっています。

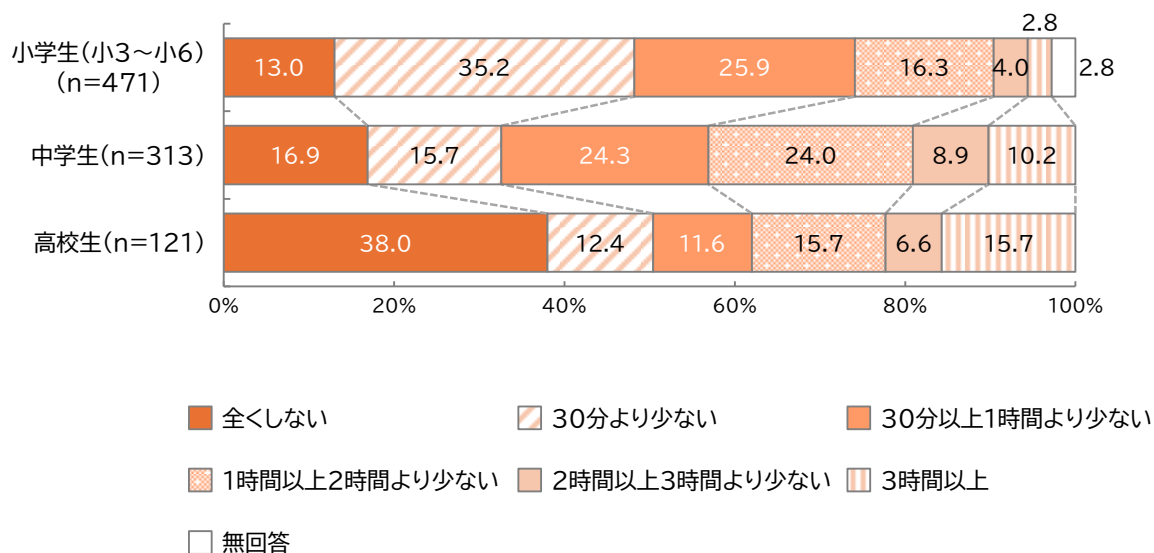
【家庭学習の時間】

《b.学校がない日(土・日曜日・祝日)》



学校がない日(土・日曜日・祝日)では「全くしない」との回答が 17.7%、「30 分より少ない」との回答が 25.4%、「30 分以上1時間より少ない」との回答が 23.4%、「1時間以上2時間より少ない」との回答が 18.9%などとなっています。

【家庭学習の時間(年代区分別)】



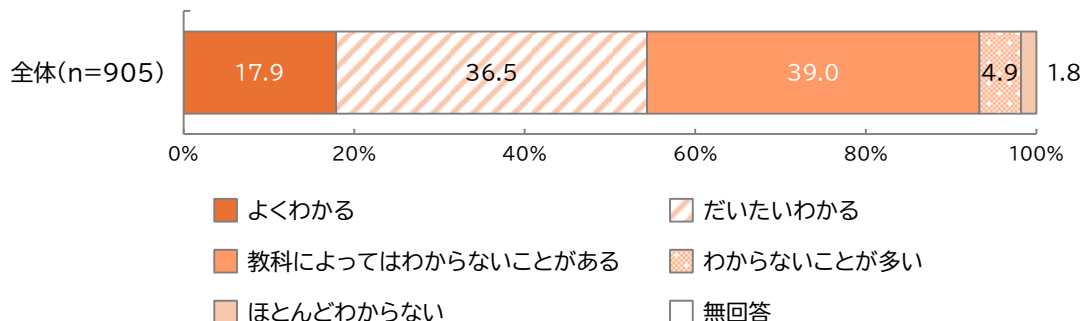
年代区分別にみると、「全くしない」との回答は高校生で 3 割台後半、「30 分より少ない」との回答は小学生で3割台半ば、「1時間以上2時間より少ない」との回答は中学生で2割台半ば、「3時間以上」との回答は高校生で1割台半ばと高くなっています。

(2)学校の授業がわからない経験

問:あなたは、学校の授業の内容がわからないことがありますか。(回答は1つ)

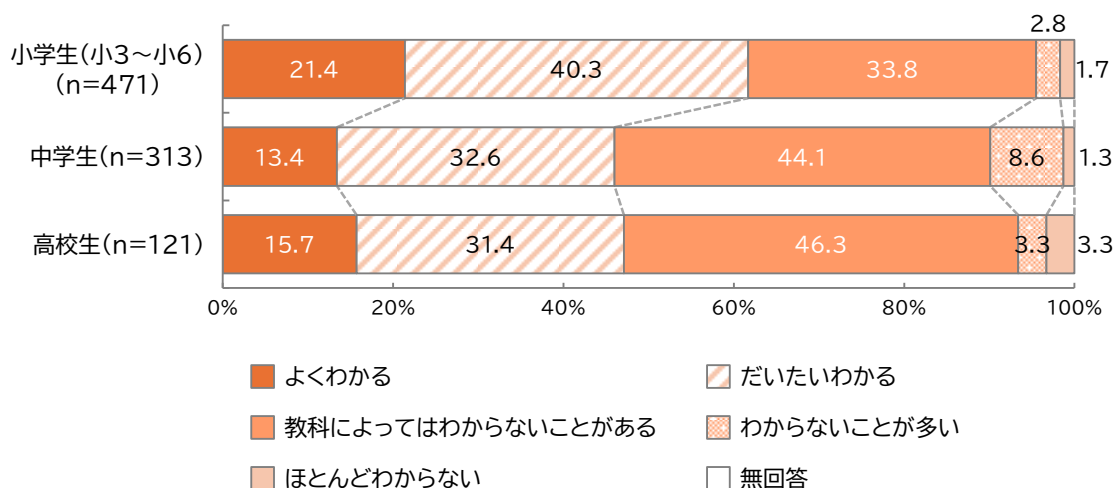
※小学生～高校生のみ

【学校の授業がわからない経験】



学校の授業がわからない経験について、「よくわかる」との回答が 17.9%、「だいたいわかる」との回答が 36.5%、「教科によっては分からないことがある」との回答が 39.0%、「わからないことが多い」との回答が 4.9%などとなっています。

【学校の授業がわからない経験(年代区分別)】



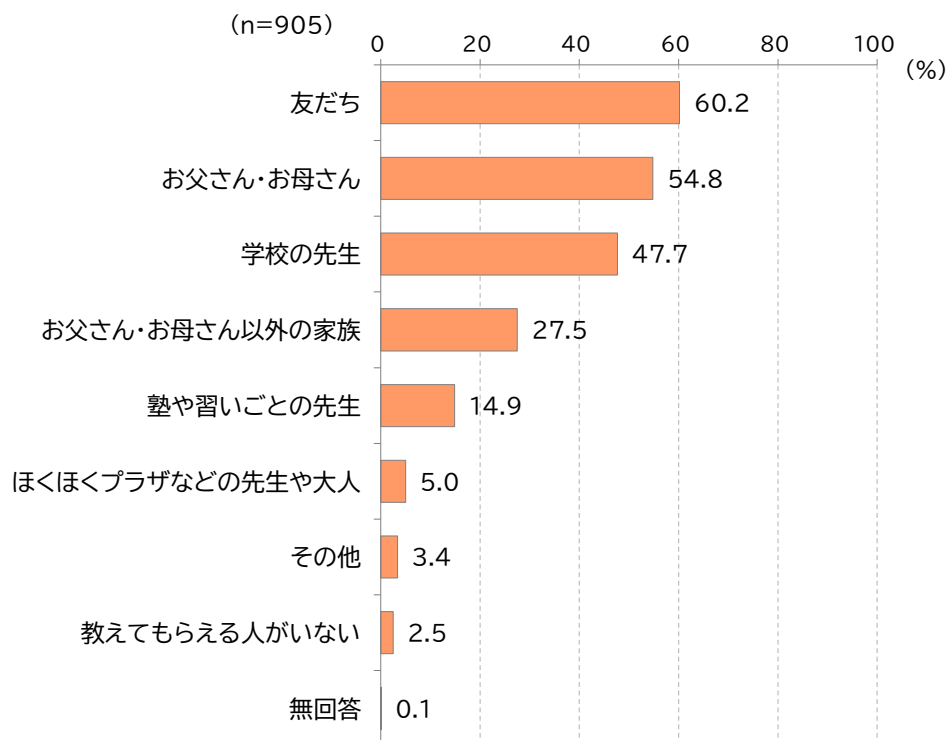
年代区分別にみると、「よくわかる」との回答は小学生で2割台前半、「だいたいわかる」との回答は小学生で約4割、「教科によっては分からないことがある」との回答は中学生、高校生で4割台と高くなっています。

(3)勉強がわからないときに教えてもらう人

問:あなたは、勉強がわからないとき、誰に教えてもらいますか。(回答はあてはまるものすべて)

※小学生～高校生のみ

【勉強がわからないときに教えてもらう人】



勉強がわからないときに教えてもらう人について、「友だち」との回答が 60.2%と最も高く、次いで「お父さん・お母さん」(54.8%)、「学校の先生」(47.7%)などの順となっています。

【勉強がわからないときに教えてもらう人(年代区分別)】

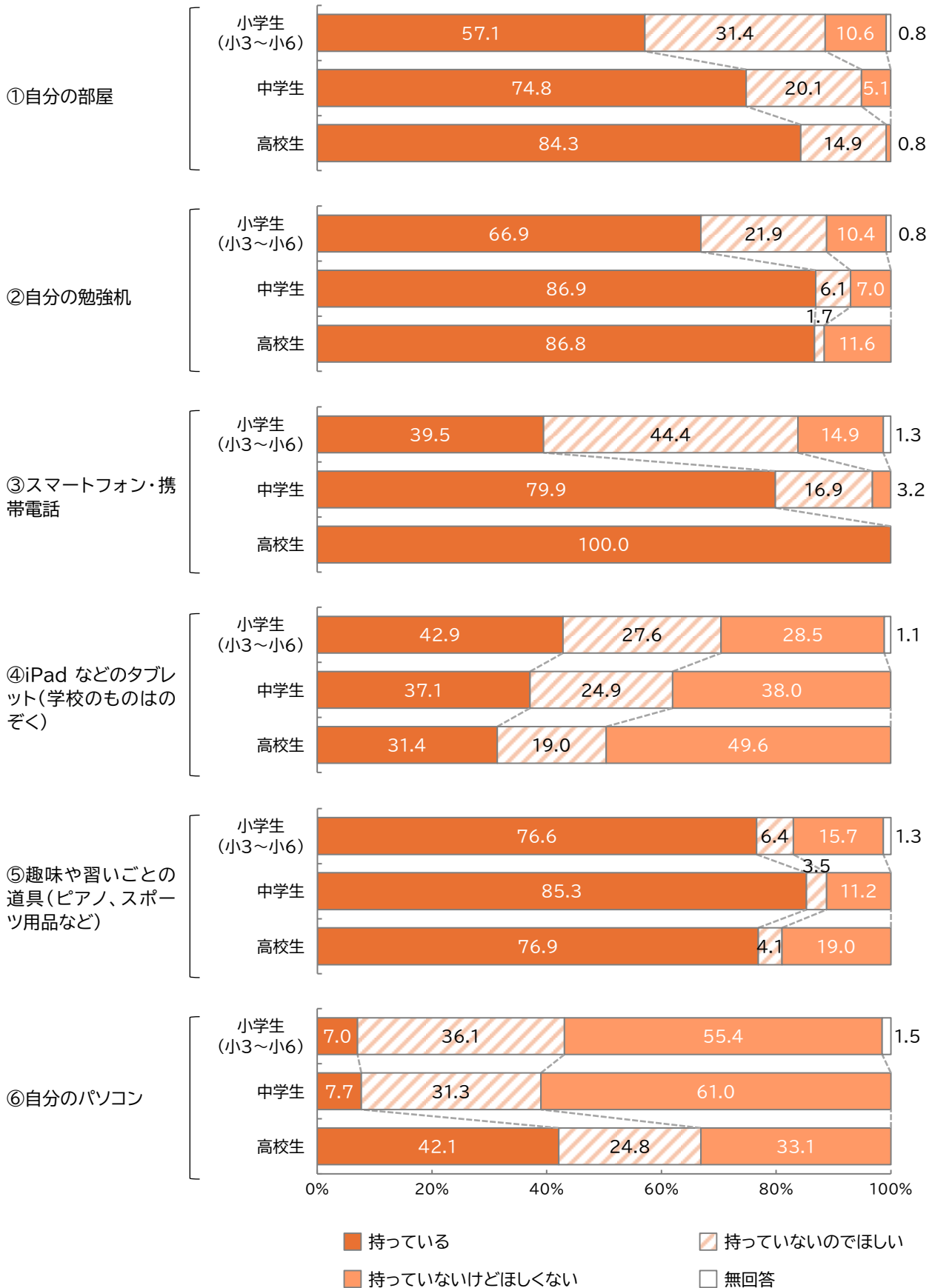
		友だち	お父さん・お母さん	学校の先生	お父さん・お母さん以外の家族	塾や習いごとの先生	先生やほくほくプラザなどの大人	その他
全体 n= 905		60.2	54.8	47.7	27.5	14.9	5.0	3.4
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 471	55.4	74.3	43.7	36.5	7.4	9.6	2.3
	中学生 n= 313	64.5	40.9	48.2	21.4	28.4	-	3.5
	高校生 n= 121	67.8	14.9	62.0	8.3	9.1	-	7.4

		な教えてもらえる人がい	無回答
全体 n= 905		2.5	0.1
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 471	1.7	0.2
	中学生 n= 313	2.6	-
	高校生 n= 121	5.8	-

年代区分別にみると、「友だち」との回答は中学生、高校生で6割台、「お父さん・お母さん」との回答は小学生で7割台半ば、「学校の先生」との回答は高校生で6割台前半、「お父さん・お母さん以外の家族」との回答は小学生で3割台後半と高くなっています。

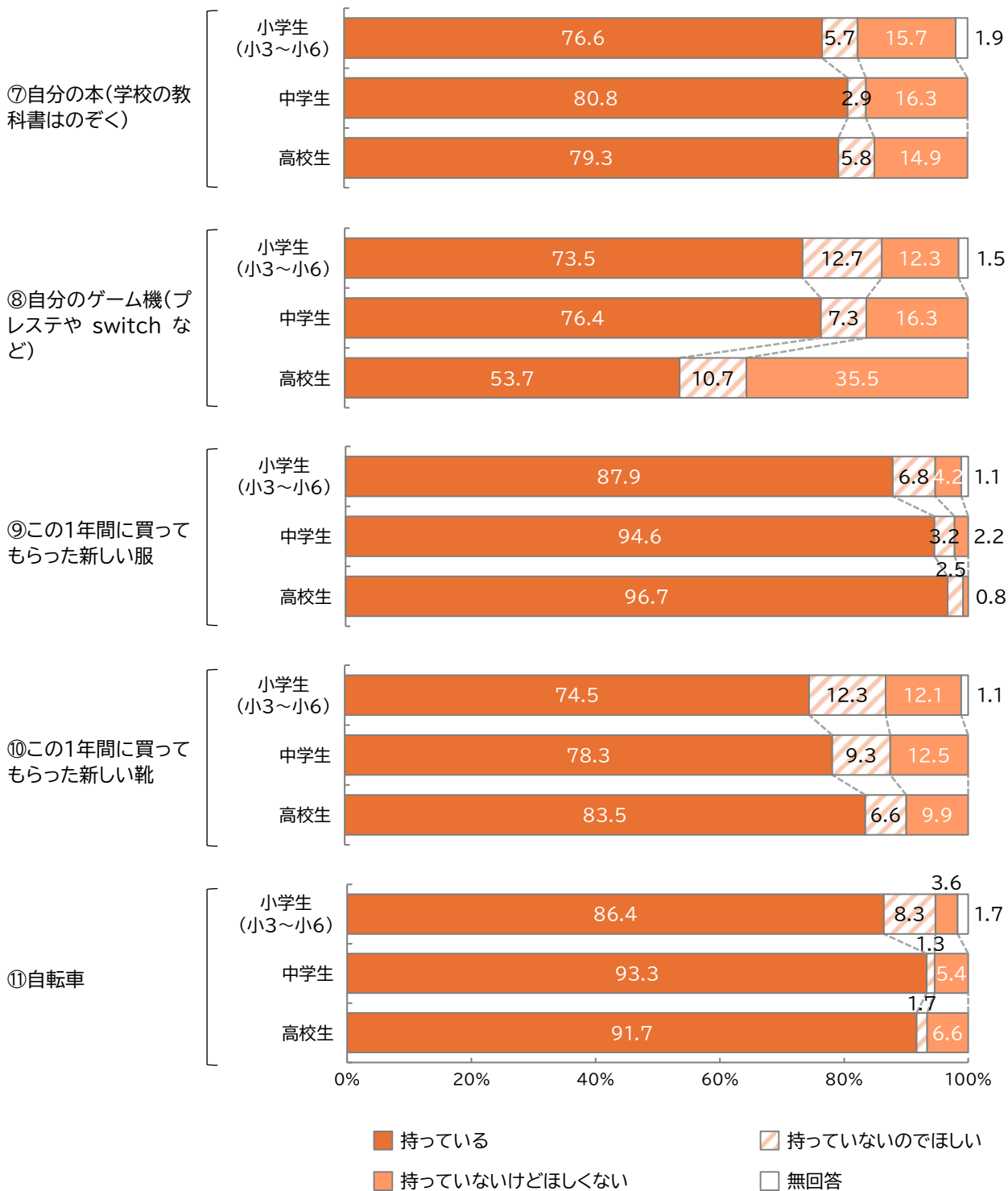
【自分が持っているもの(年代区分別)】

小学生(小3~小6)(n=471)・中学生(n=313)・高校生(n=121)



【自分が持っているもの(年代区分別)】

小学生(小3~小6)(n=471)・中学生(n=313)・高校生(n=121)

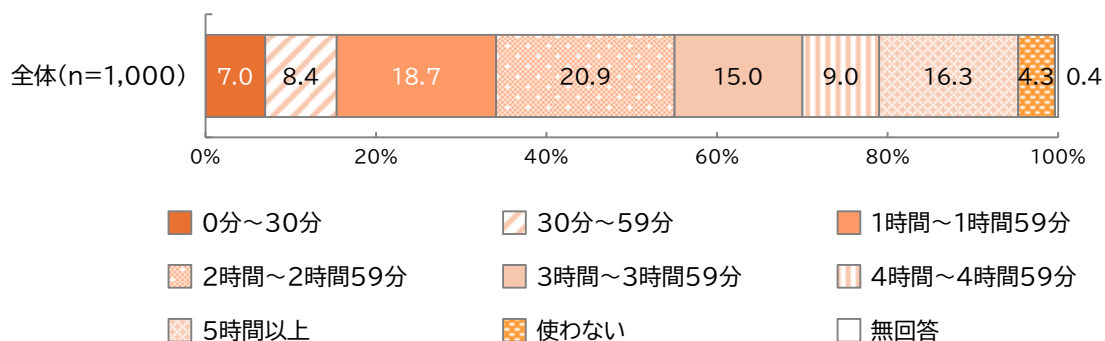


年代区分別にみると、「持っている」との回答は「自分の部屋」、「スマートフォン・携帯電話」、「この1年間に買ってもらった新しい服」、「この1年間に買ってもらった新しい靴」で年代が上がるにつれて高くなっています。また高校生では「スマートフォン・携帯電話」を100%の人が「持っている」と回答しています。

(2)スマートフォン等の利用時間

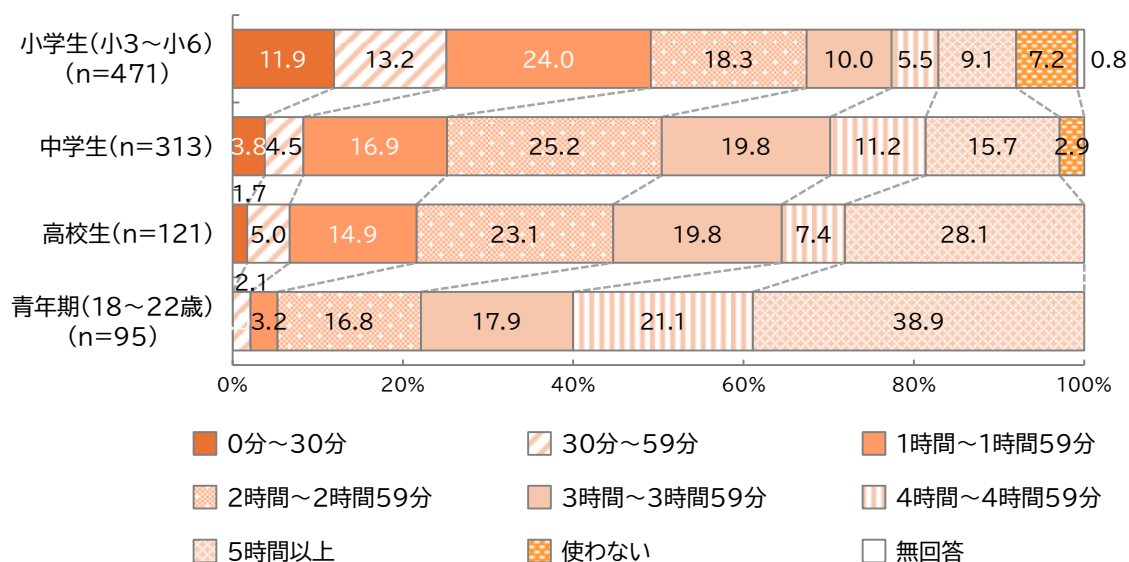
問:学校の授業以外で、タブレット、スマートフォンやパソコンなどを1日にどのくらい使いますか。
(回答は1つ)

【スマートフォン等の利用時間】



スマートフォン等の利用時間について、「1時間から1時間 59 分」との回答が 18.7%、「2 時間から 2時間 59 分」との回答が 20.9%、「3 時間から 3 時間 59 分」との回答が 15.0%、「4時間から4時間 59 分」との回答が 9.0%、「5 時間以上」との回答が 16.3%などとなっています。

【スマートフォン等の利用時間(年代区分別)】

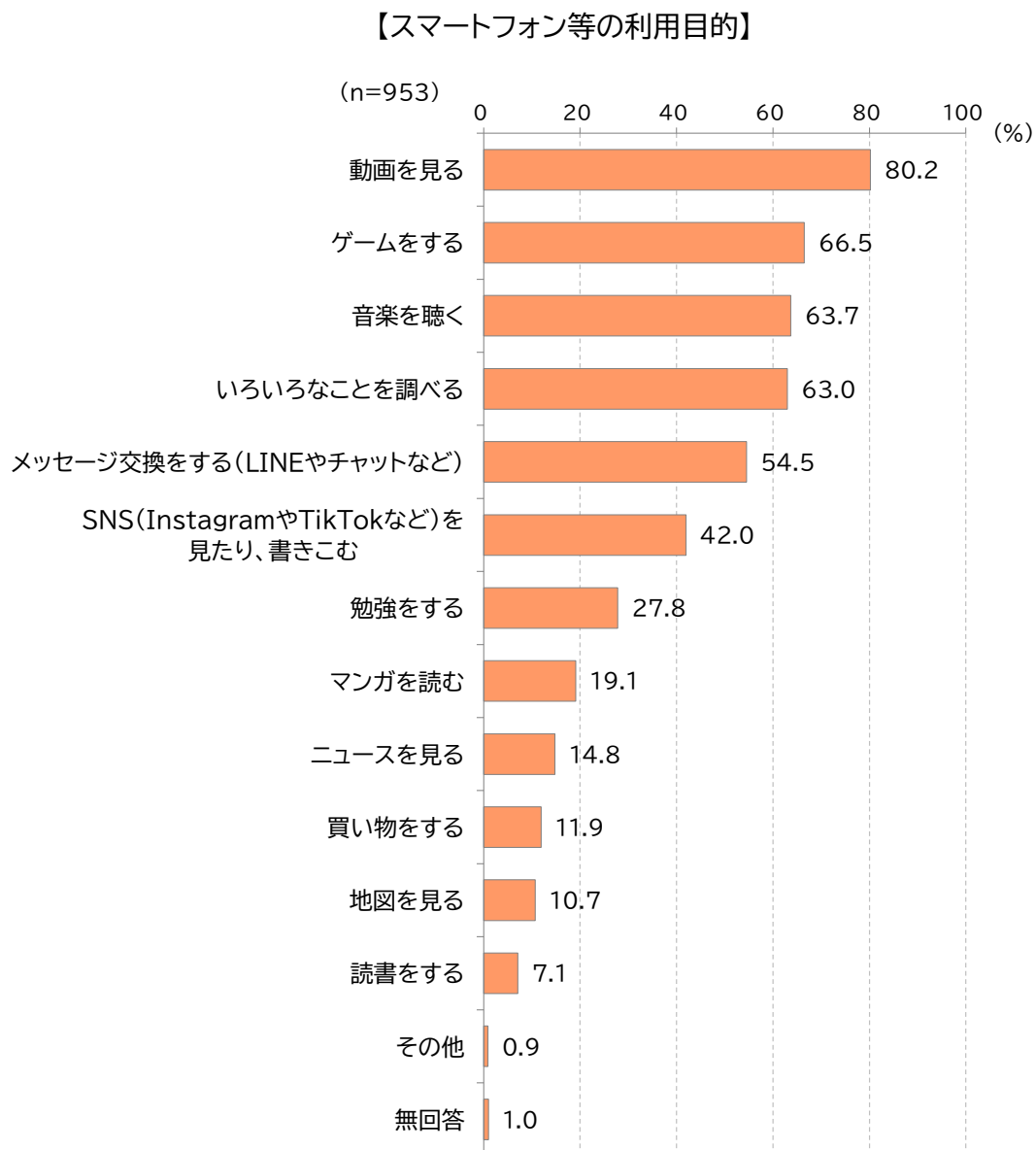


年代区分別にみると、「1時間から1時間 59 分」との回答は小学生で2割台半ば、「5時間以上」との回答は青年期で3割台後半と高くなっています。

(3)スマートフォン等の利用目的

◆前の問で、「使わない」以外を回答した方のみ

問:タブレット、スマートフォンやパソコンなどで何をしますか。(回答はあてはまるものすべて)



スマートフォン等の利用目的について、「動画を見る」との回答が 80.2%と最も高く、次いで「ゲームをする」(66.5%)、「音楽を聴く」(63.7%)、「いろいろなことを調べる」(63.0%)などの順となっています。

【スマートフォン等の利用目的(年代区分別)】

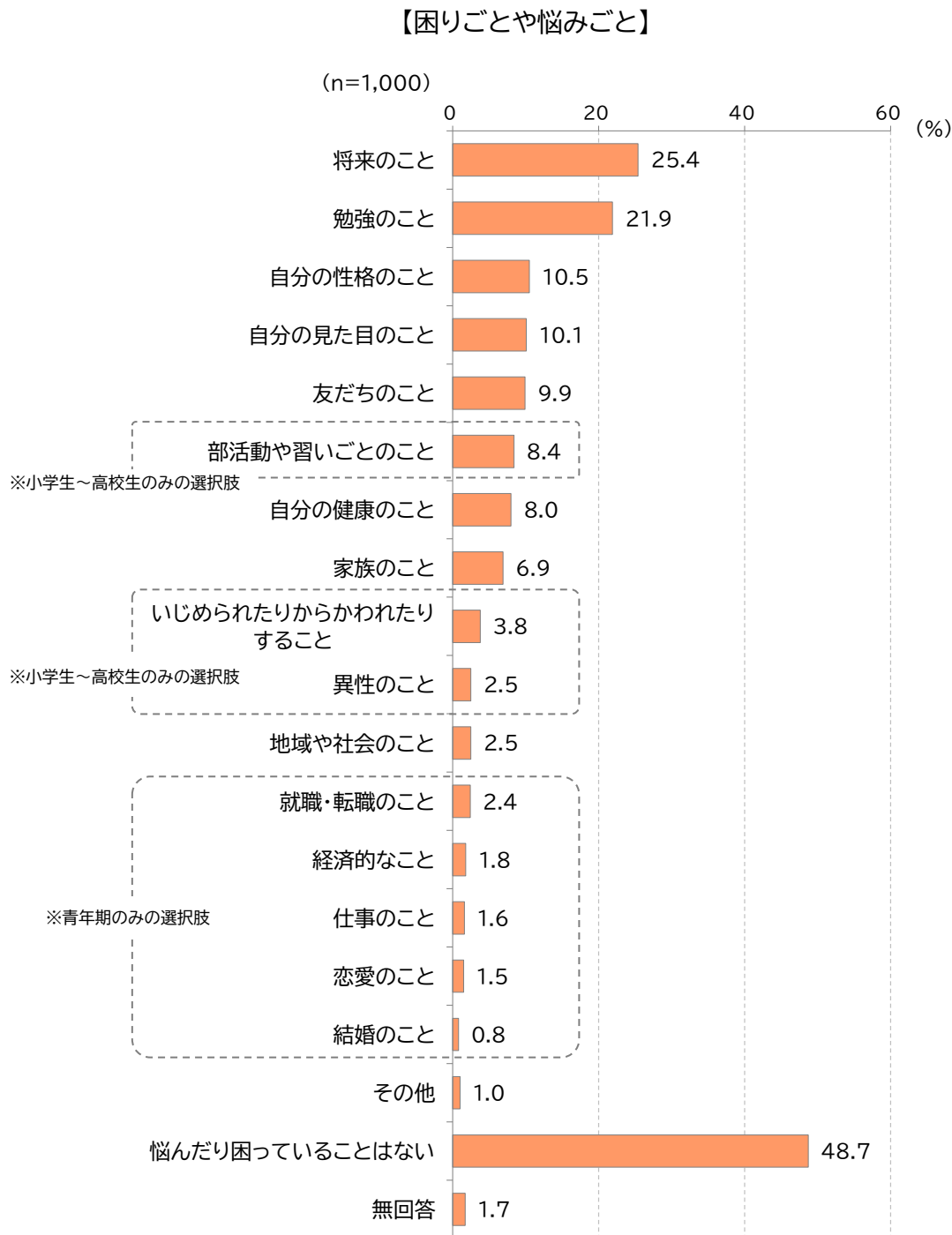
		動画を見る	ゲームをする	音楽を聴く	いろいろなことを調べ	メッセージ交換をする (LINEやチャットなど)	SNS (Instagram やTwitterなど) を見たり、書きこむ	勉強をする	マンガを読む
全体 n= 953		80.2	66.5	63.7	63.0	54.5	42.0	27.8	19.1
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 433	72.5	72.5	48.5	56.4	31.6	23.3	21.7	10.9
	中学生 n= 304	83.2	64.1	74.7	67.4	72.0	57.2	33.6	24.3
	高校生 n= 121	90.1	63.6	81.8	71.9	79.3	60.3	32.2	28.9
	青年期(18~22歳) n= 95	92.6	50.5	74.7	67.4	70.5	54.7	31.6	27.4
		ニュースを見る	買い物をする	地図を見る	読書をする	その他	無回答		
全体 n= 953		14.8	11.9	10.7	7.1	0.9	1.0		
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 433	10.6	4.8	7.9	6.5	1.2	2.3		
	中学生 n= 304	15.5	11.8	8.9	6.6	0.7	-		
	高校生 n= 121	23.1	19.0	16.5	6.6	-	-		
	青年期(18~22歳) n= 95	21.1	34.7	22.1	12.6	2.1	-		

年代区分別にみると、「動画を見る」との回答は高校生、青年期で9割台、「ゲームをする」との回答は小学生で7割台前半、「音楽を聴く」との回答は高校生で8割台前半と高くなっています。

5 自分自身について

(1) 困りごとや悩みごと

問: あなたは今、困っていることや悩んでいることはありますか。(回答はあてはまるものすべて)



困りごとや悩みごとについて、「悩んだり困っていることはない」との回答が 48.7%と最も高くなっています。困りごとや悩みごとがある人では「将来のこと」との回答が 25.4%と最も高く、次いで「勉強のこと」(21.9%)などの順となっています。

【困りごとや悩みごと(年代区分別)】

		将来のこと	勉強のこと	自分の性格のこと	自分の見た目のこと	友だちのこと	と部活動や習いごとのこと	自分の健康のこと	家族のこと	わいじめられたりすることからか	異性のこと
全体 n= 1,000		25.4	21.9	10.5	10.1	9.9	8.4	8.0	6.9	3.8	2.5
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 471	17.6	18.0	12.3	9.8	10.6	8.5	9.1	7.6	5.3	1.7
	中学生 n= 313	26.8	28.8	7.3	9.9	9.3	8.3	4.5	4.8	3.2	3.2
	高校生 n= 121	43.0	24.0	11.6	10.7	10.7	14.9	8.3	7.4	2.5	5.8
	青年期(18~22歳) n= 95	36.8	15.8	10.5	11.6	7.4	-	13.7	9.5	-	-

		地域や社会のこと	就職・転職のこと	経済的なこと	仕事のこと	恋愛のこと	結婚のこと	その他	悩んだり困っていることはない	無回答
全体 n= 1,000		2.5	2.4	1.8	1.6	1.5	0.8	1.0	48.7	1.7
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 471	3.4	-	-	-	-	-	1.1	53.9	3.6
	中学生 n= 313	0.3	-	-	-	-	-	0.6	49.5	-
	高校生 n= 121	1.7	-	-	-	-	-	2.5	39.7	-
	青年期(18~22歳) n= 95	6.3	25.3	18.9	16.8	15.8	8.4	-	31.6	-

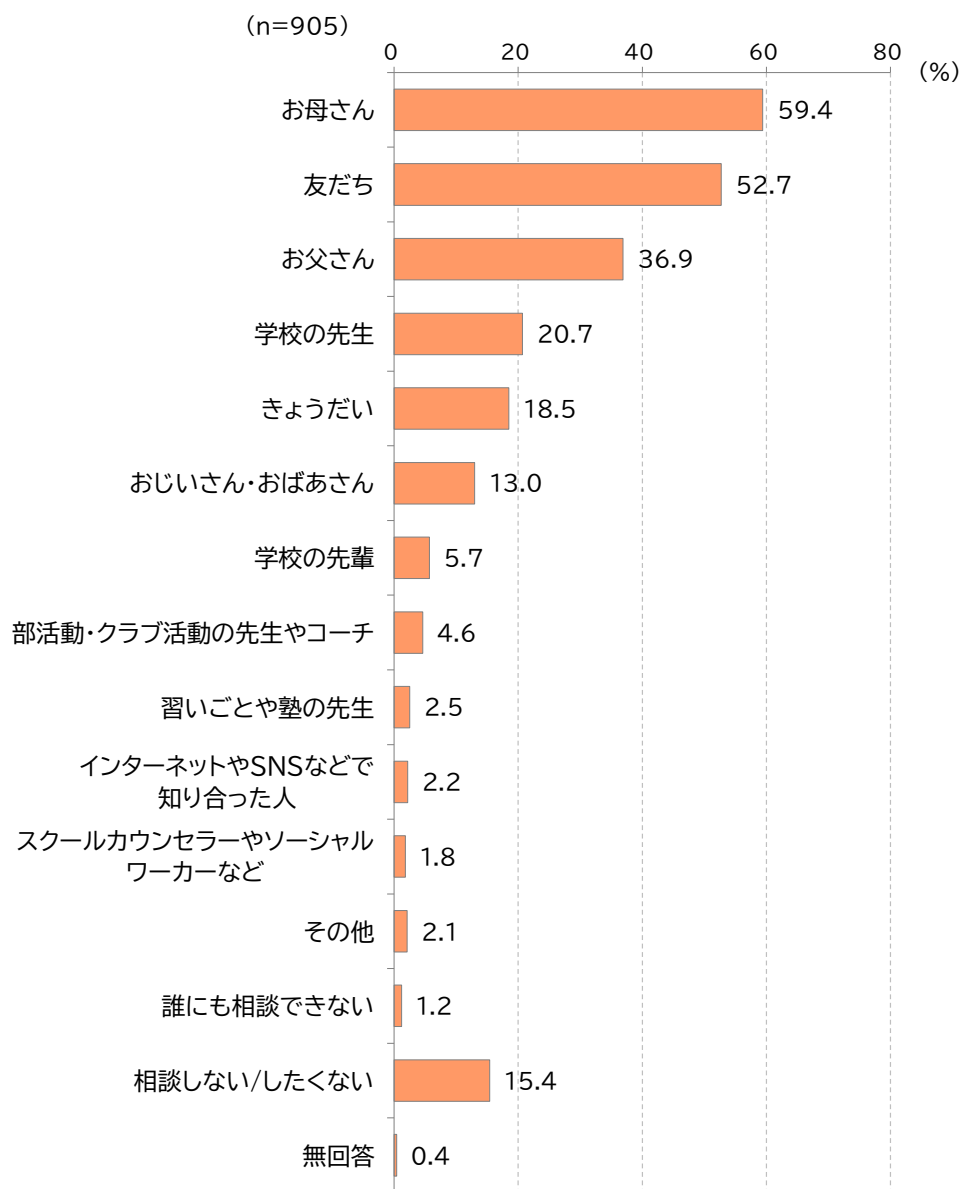
年代区分別にみると、「将来のこと」との回答は高校生で4割台前半、「部活動や習いごとのこと」との回答は高校生で1割台半ばと高くなっています。また、「悩んだり困っていることはない」との回答は小学生、中学生で5割前後と高くなっています。

(2) 困りごとや悩みごとの相談相手

問: 困っていることや悩んでいることがあったとき、誰に相談しますか。
(回答はあてはまるものすべて)

【困りごとや悩みごとの相談相手】

《小・中・高校生》



困りごとや悩みごとの相談相手について、小学生から高校生では「お母さん」との回答が 59.4%と最も高く、次いで「友だち」(52.7%)、「お父さん」(36.9%)などの順となっています。

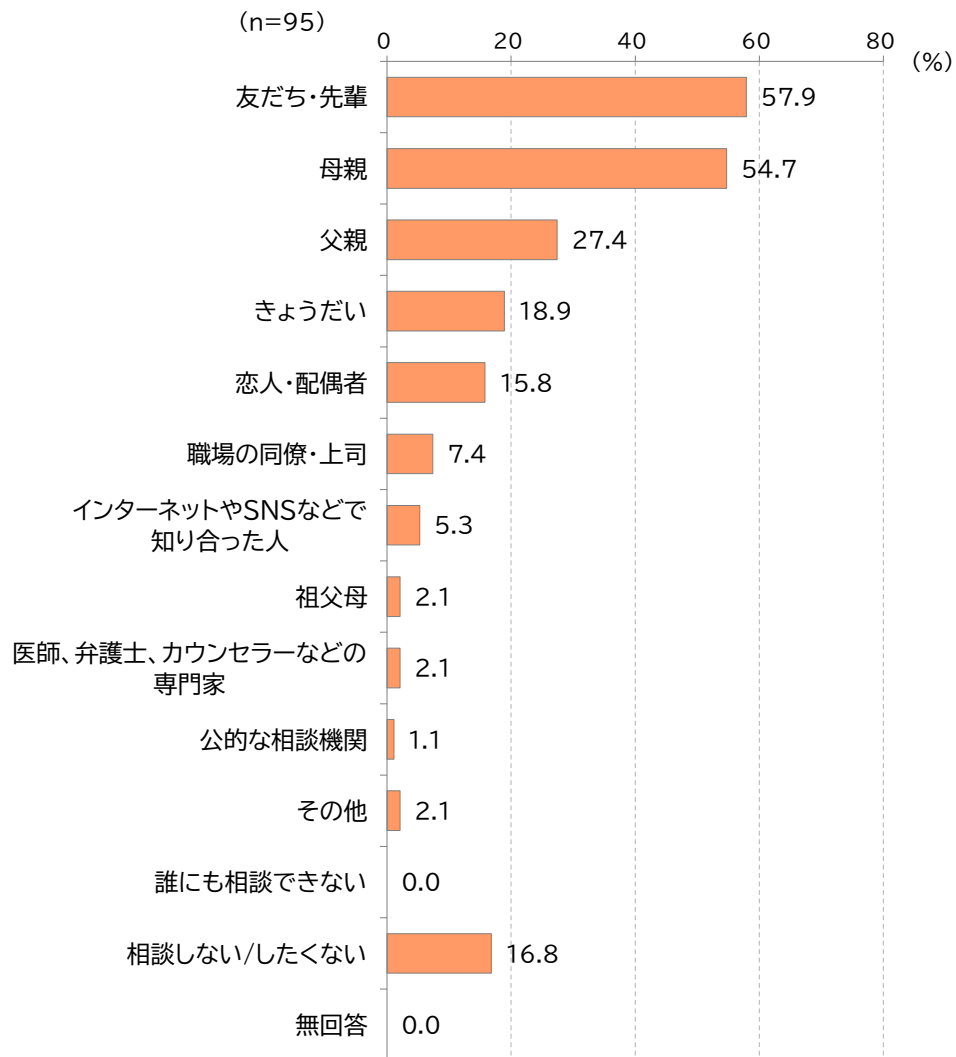
【困りごとや悩みごとの相談相手(年代区分別)】

		お母さん	友だち	お父さん	学校の先生	きょうだい	おじいさん・おばあさん	学校の先輩	部活動・クラブ活動の先生やコーチ
全体 n= 905		59.4	52.7	36.9	20.7	18.5	13.0	5.7	4.6
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 471	68.2	48.0	45.2	20.6	18.7	19.5	4.5	4.2
	中学生 n= 313	49.8	57.5	29.4	20.8	16.9	6.4	6.4	4.5
	高校生 n= 121	50.4	58.7	24.0	20.7	21.5	5.0	9.1	6.6
		習いごとや塾の先生	SNSなどで知り合った人	その他	スクールカウンセラー	誰にも相談できない	相談しない/したくない	無回答	
全体 n= 905		2.5	2.2	2.1	1.8	1.2	15.4	0.4	
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 471	2.1	1.5	2.3	1.1	1.5	13.2	0.8	
	中学生 n= 313	2.9	4.2	1.6	2.6	0.6	19.2	-	
	高校生 n= 121	3.3	-	2.5	2.5	1.7	14.0	-	

年代区分別にみると、「お母さん」との回答は小学生で6割台後半、「友だち」との回答は中学生、高校生で5割台後半、「お父さん」との回答は小学生で4割台半ばと高くなっています。

【困りごとや悩みごとの相談相手】

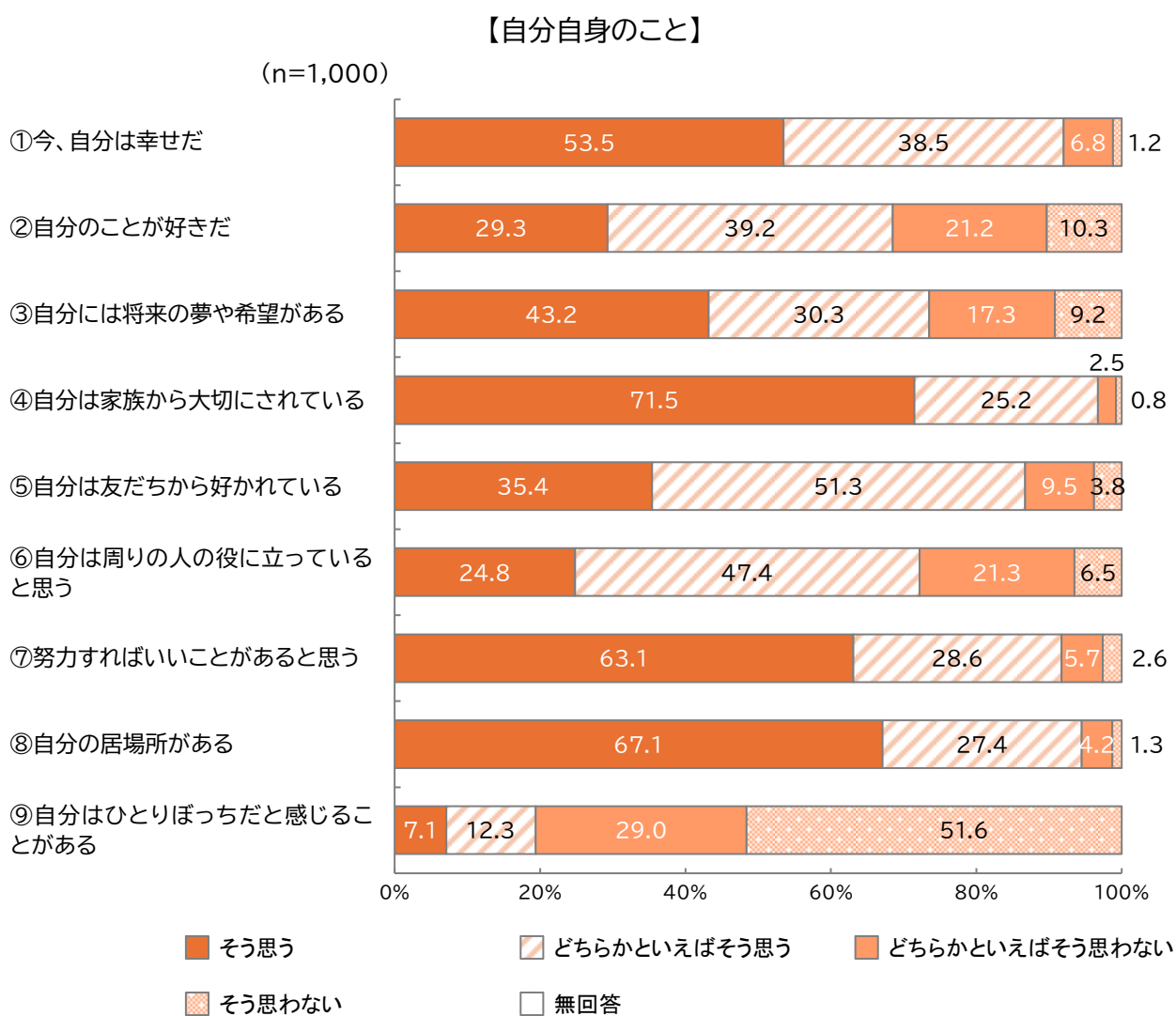
《青年期(18～22歳)》



困りごとや悩みごとの相談相手について、青年期では「友だち・先輩」との回答が 57.9%と最も高く、次いで「母親」(54.7%)、「父親」(27.4%)などの順となっています。

(3)自分自身のこと

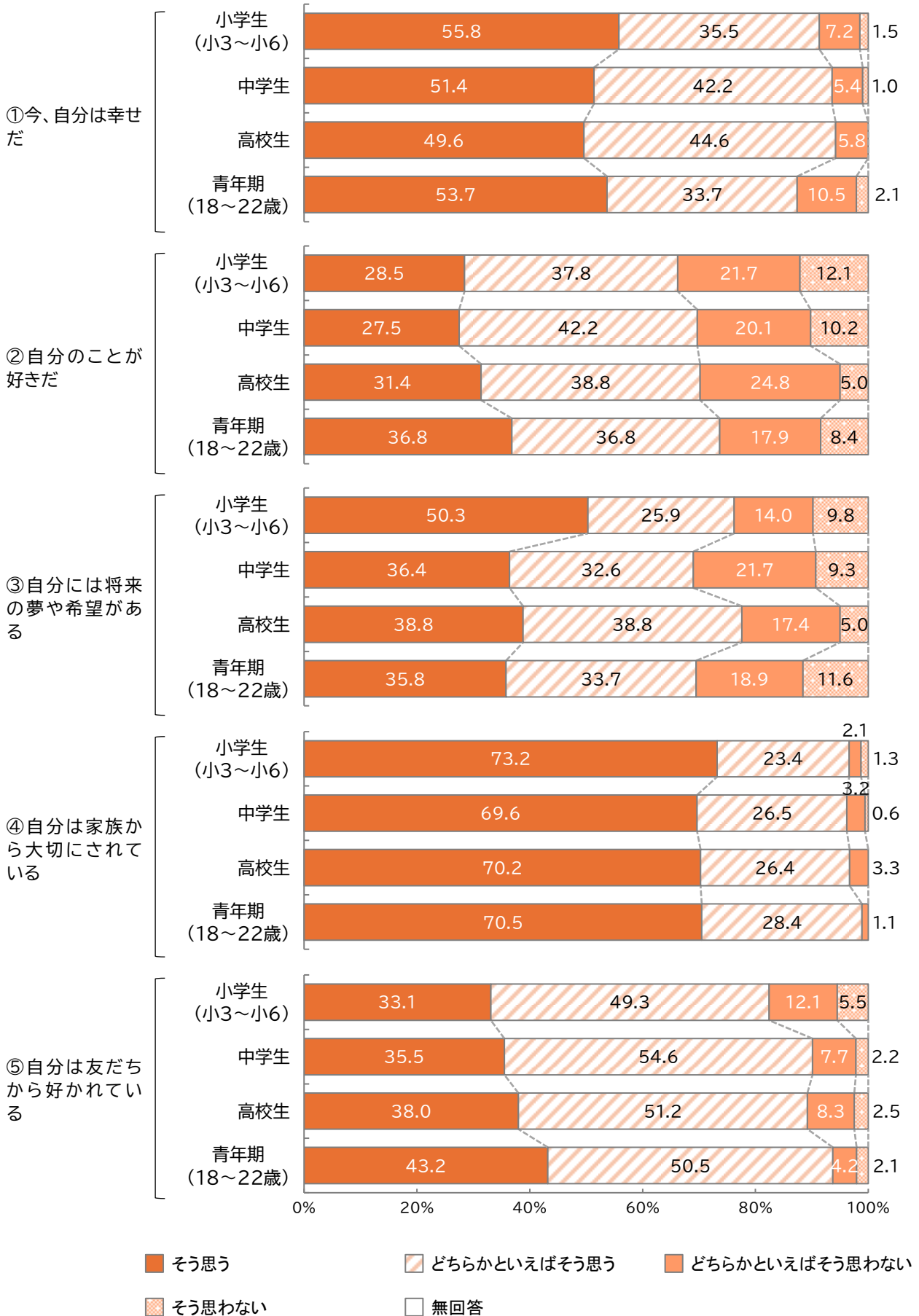
問:あなたは自分のことについてどのように思っていますか。(それぞれ回答は1つ)



自分自身のことについて、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合)との回答は「今、自分は幸せだ」、「自分は家族から大切にされている」、「努力すればいいことがあると思う」、「自分の居場所がある」で9割台と高くなっています。

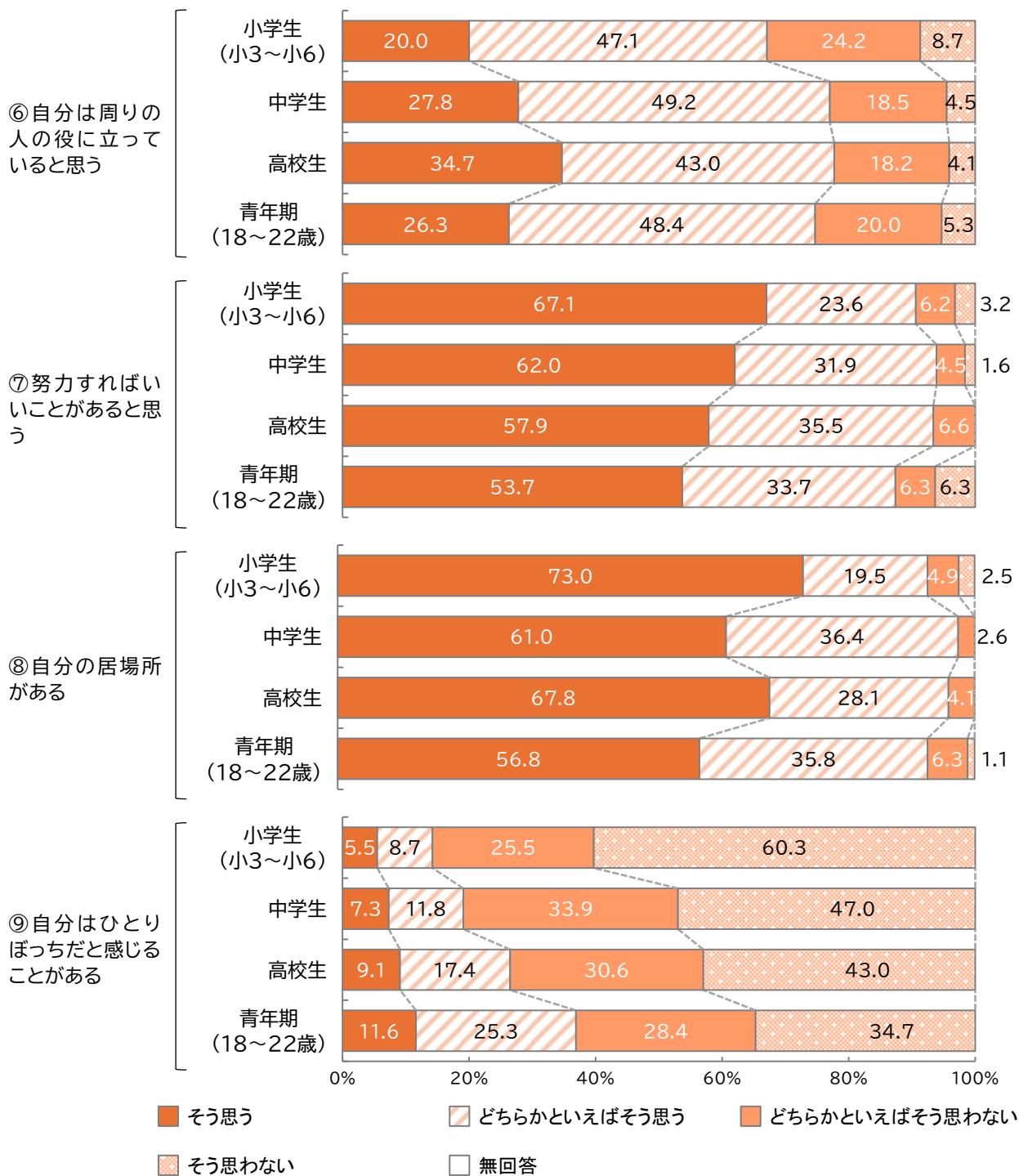
【自分自身のこと(年代区分別)】

小学生(小3~小6)(n=471)・中学生(n=313)・高校生(n=121)・青年期(18~22歳)(n=95)



【自分自身のこと(年代区分別)】

小学生(小3~小6)(n=471)・中学生(n=313)・高校生(n=121)・青年期(18~22歳)(n=95)



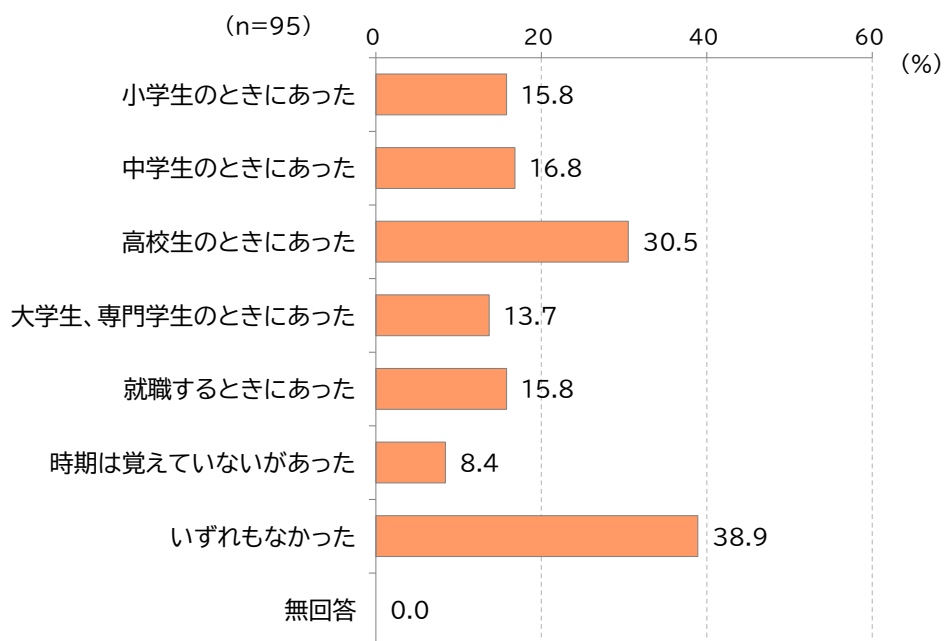
年代区分別にみると、『そう思う』との回答は「自分のことが好きだ」、「自分は家族から大切にされている」、「自分は友だちから好かれている」、「自分はひとりぼっちだと感じることもある」で年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられます。

(4)進学・就職時に苦労した経験

問:進学・就職をしたときに、スムーズに環境に馴染めないなど、苦労したことがありましたか。
(回答はあてはまるものすべて)

※青年期(18~22歳)のみ

【進学・就職時に苦労した経験】

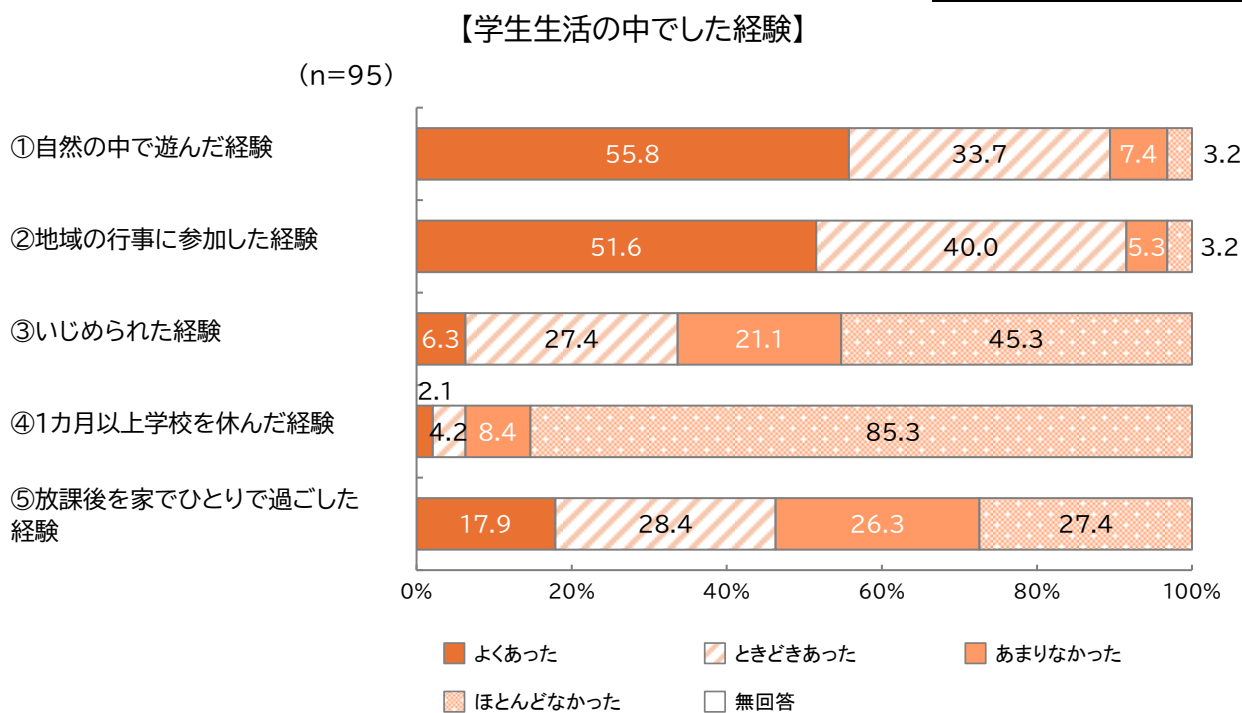


進学・就職時に苦労した経験について、「いずれもなかった」との回答が 38.9%と最も高くなっています。進学・就職時に苦労した経験がある人では「高校生の時にあった」との回答が 30.5%と最も高く、次いで「中学生の時にあった」(16.8%)、「小学生の時にあった」(15.8%)、「就職する時にあった」(15.8%)などの順となっています。

(5) 学生生活の中でした経験

問:これまでの学生生活のなかで、以下のような経験をしましたか。(それぞれ回答は1つ)

※青年期(18~22歳)のみ



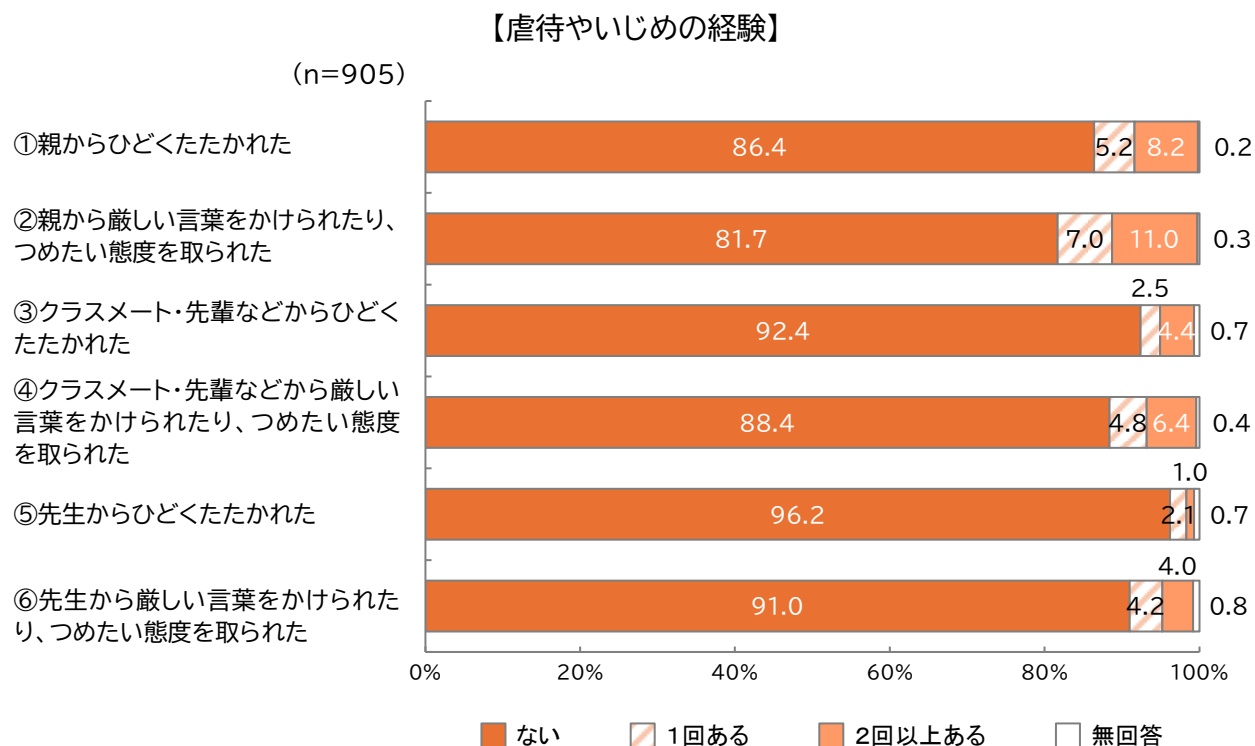
学生生活の中でした経験について、『あった』(「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合)との回答は「自然の中で遊んだ経験」、「地域の行事に参加した経験」で9割前後と高くなっています。一方、「1カ月以上学校を休んだ経験」は1割未満と低くなっています。

6 虐待やいじめについて

(1) 虐待やいじめの経験

問：あなたはこれまでに、誰かからひどくたたかれたり、言葉や態度でひどく傷つけられたりしたことがありますか。(それぞれに回答は1つ)

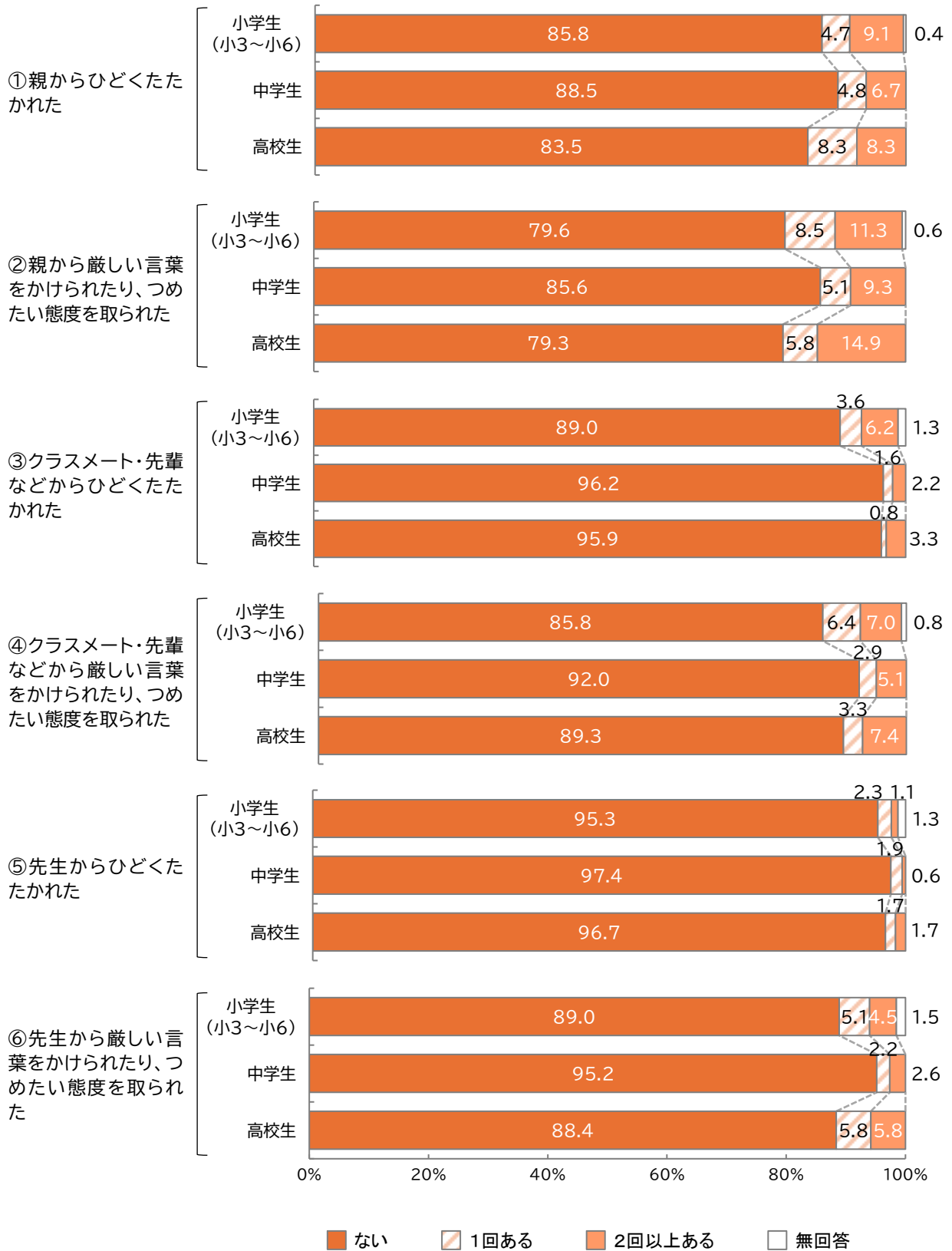
※小学生～高校生のみ



虐待やいじめの経験について、「ない」との回答は「クラスメート・先輩などからひどくたたかれた」、「先生からひどくたたかれた」、「先生から厳しい言葉をかけられたり、つめたい態度を取られた」で9割を超え高くなっています。

【虐待やいじめの経験(年代区分別)】

小学生(小3~小6)(n=471)・中学生(n=313)・高校生(n=121)



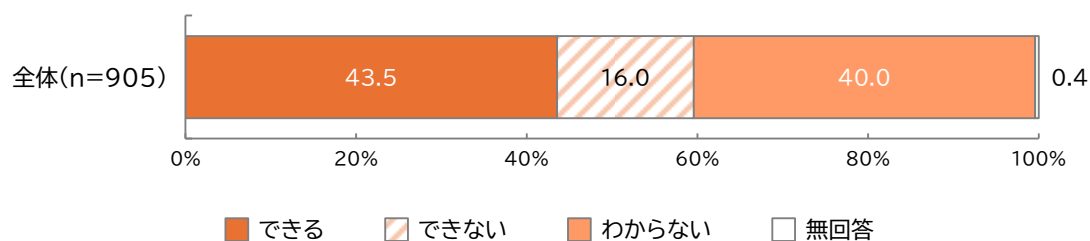
年代区分別にみると、「2回以上あった」との回答は高校生で「親から厳しい言葉をかけられたり、つめたい態度を取られた」が1割台半ばと高くなっています。

(2)つらい気持ちになったときの相談

問:家族からたたかれたり、厳しい言葉を言われたりして、つらい気持ちになったときに、先生や周りの大人に相談することができますか。(回答は1つ)

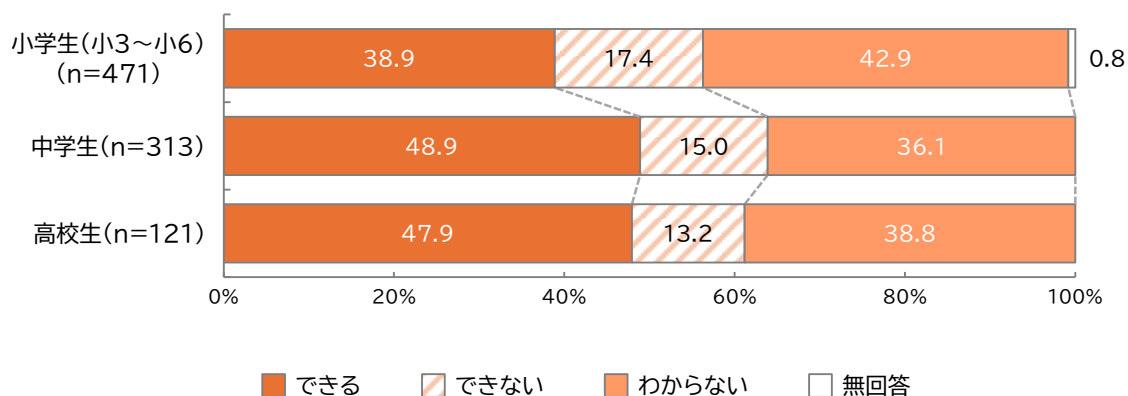
※小学生～高校生のみ

【つらい気持ちになったときの相談】



つらい気持ちになったときの相談について、「できる」との回答が 43.5%、「できない」との回答が 16.0%となっています。

【つらい気持ちになったときの相談(年代区分別)】



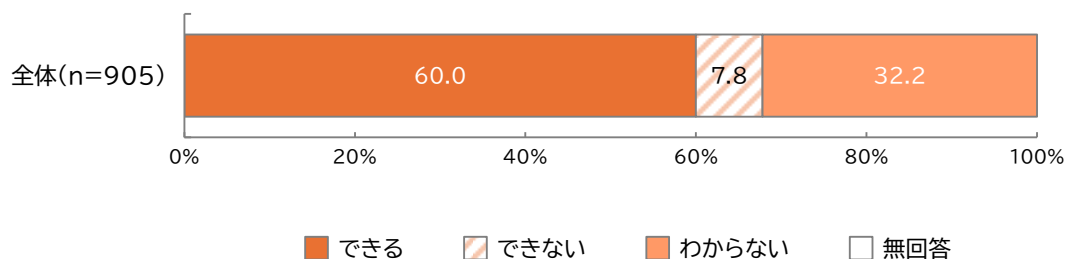
年代区分別にみると、「できる」との回答は中学生、高校生で4割台後半と高くなっています。

(3)いじめを見聞きした際の相談

問:もしも、いじめだと思ふことを見たり聞いたりしたときには、先生や親、友だちなどに相談することができますか。(回答は1つ)

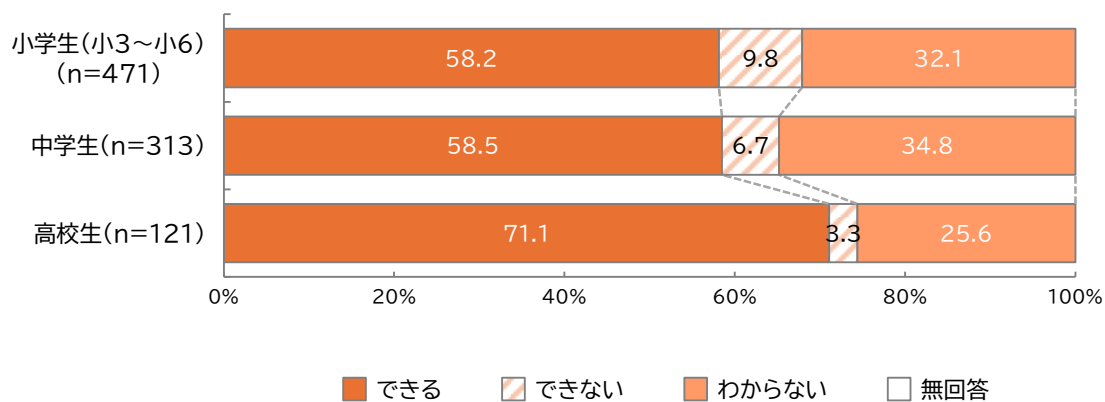
※小学生～高校生のみ

【いじめを見聞きした際の相談】



いじめを見聞きした際の相談について、「できる」との回答が 60.0%、「できない」との回答が 7.8%となっています。

【いじめを見聞きした際の相談(年代区分別)】



年代区分別にみると、「できる」との回答は高校生で7割台前半と高くなっています。

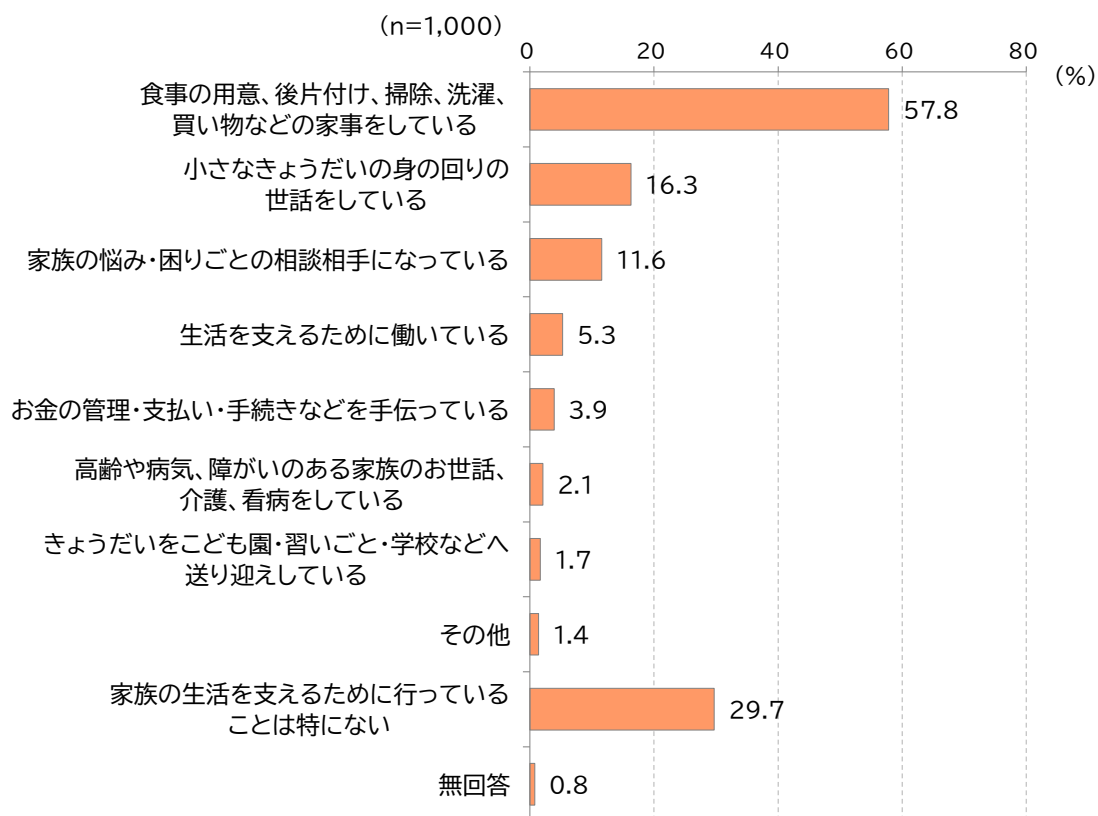
7 ヤングケアラーについて

(1) 家庭や生活を支えるために行っていること

問: あなたは、家族や生活を支えるために次のようなことを行っていますか。

(回答はあてはまるものすべて)

【家庭や生活を支えるために行っていること】



家庭や生活を支えるために行っていることについて、「食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物などの家事をしている」との回答が 57.8%と最も高く、次いで「小さなきょうだいの身の回りの世話をしている」(16.3%)、「家族の悩み・困りごとの相談相手になっている」(11.6%)などの順となっています。また、「家族の生活を支えるために行っていることはない」との回答は 29.7%となっています。

【家庭や生活を支えるために行っていること(年代区分別)】

(%)

		る物け食 な、事 の掃の用 の除意 家事、洗 事を濯、 をし、片 して買付 いい	るの小 回りの さなき のきよ うだ いの身	るの家 相談の 相手 み・困 つてご いと	い生活 を支 える ため に働	い手お 続金の き管理 などを 手支 払って	護ある 、看家 病族 をの してお 世世 話話 、介	ど園き へ・送 送り 迎いだ えいと し、学 て校も るな	その他
全体 n= 1,000		57.8	16.3	11.6	5.3	3.9	2.1	1.7	1.4
年代 区 分 別	小学生(小3~小6) n= 471	57.3	21.4	10.6	6.6	5.7	3.6	1.9	1.9
	中学生 n= 313	61.0	14.1	10.2	0.6	1.3	-	1.3	1.0
	高校生 n= 121	54.5	6.6	14.9	1.7	0.8	2.5	-	-
	青年期(18~22歳) n= 95	53.7	10.5	16.8	18.9	7.4	1.1	4.2	2.1
		特め家 にに族 な行 いっ つ生 活 を 支 え る こ と は た	無 回 答						
全体 n= 1,000		29.7	0.8						
年代 区 分 別	小学生(小3~小6) n= 471	27.6	1.7						
	中学生 n= 313	30.0	-						
	高校生 n= 121	36.4	-						
	青年期(18~22歳) n= 95	30.5	-						

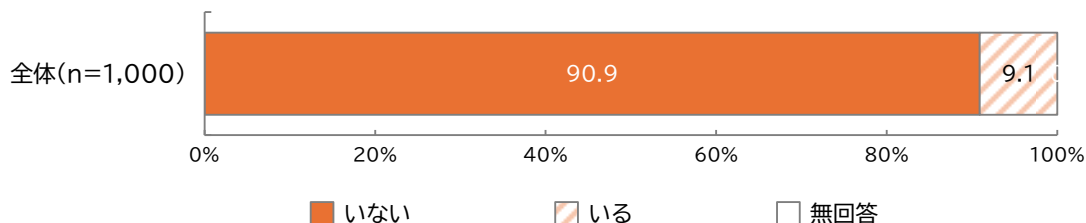
年代区分別にみると、「小さなきょうだいの身の回りの世話をしている」との回答は小学生で2割台前半、「生活を支えるために働いている」との回答は青年期で1割台後半と高くなっています。

(2)お世話をしている人の有無

問:あなたの家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。(回答は1つ)

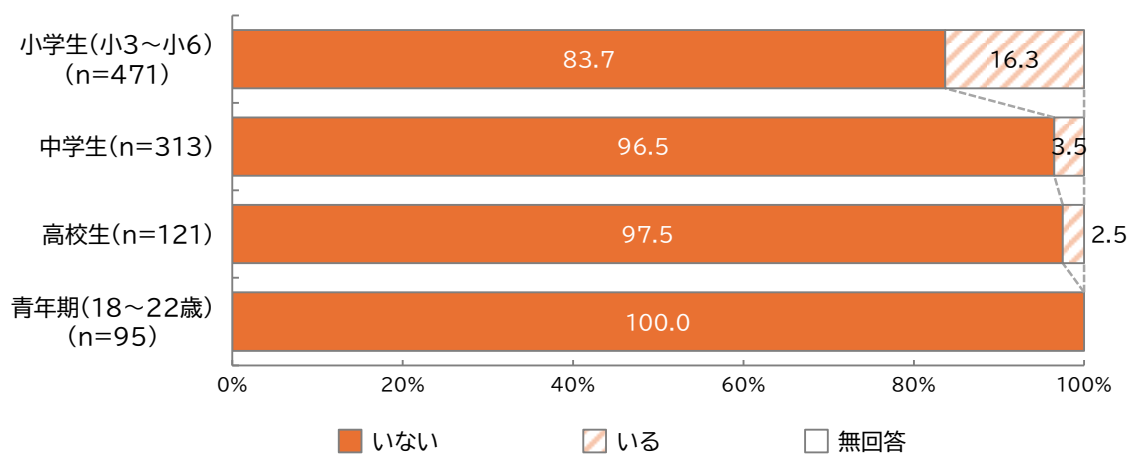
※「お世話」とは、ごはんを作る・食べる、トイレへ行く、着替えるなどの、できないことをいつもたすけていること

【お世話をしている人の有無】



お世話をしている人の有無について、「いない」との回答が90.9%、「いる」との回答が9.1%となっています。

【お世話をしている人の有無(年代区分別)】

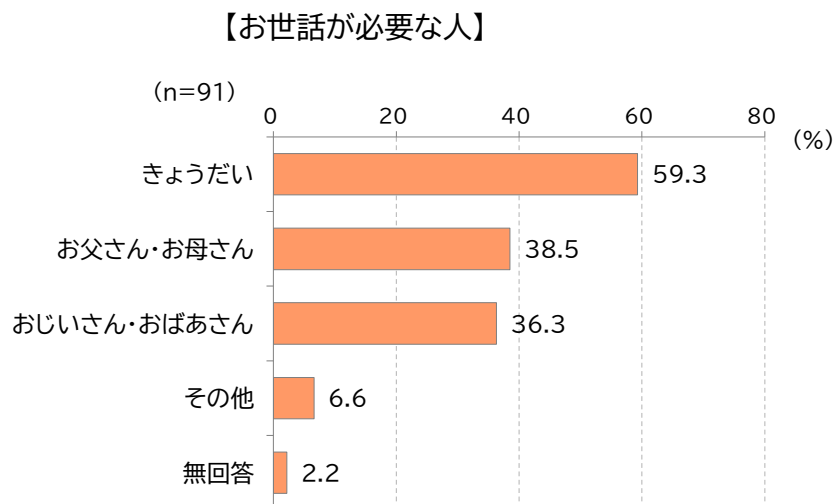


年代区分別にみると、「いる」との回答は小学生で1割台半ばと高くなっています。また青年期では「いる」との回答はありませんでした。

(3)お世話が必要な人

◆前の問で、「いる」と回答した方のみ

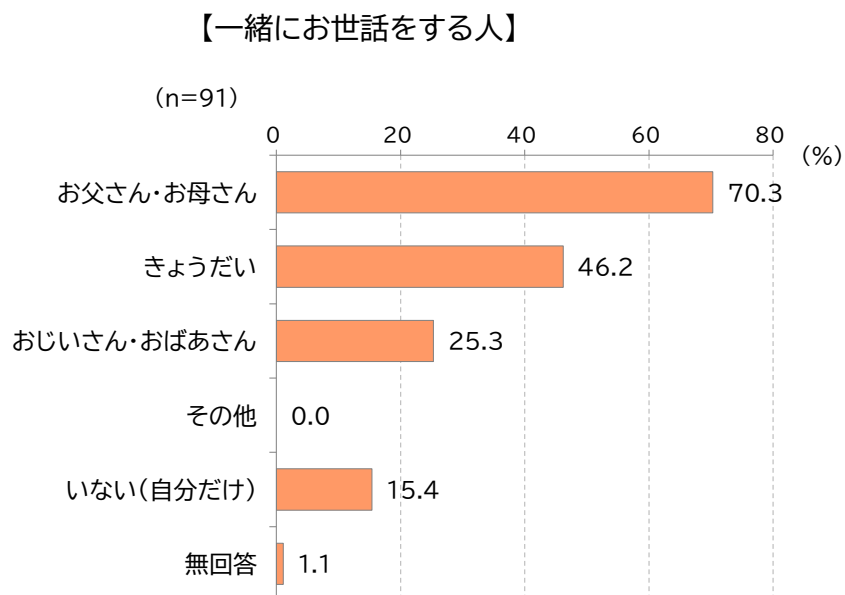
問:あなたのお世話が必要な家族は誰ですか。(回答はあてはまるものすべて)



お世話が必要な人について、「きょうだい」との回答が 59.3%と最も高く、次いで「お父さん・お母さん」(38.5%)、「おじいさん・おばあさん」(36.3%)などの順となっています。

(4)一緒にお世話をする人

問:お世話は誰といっしょにしていますか。(回答はあてはまるものすべて)

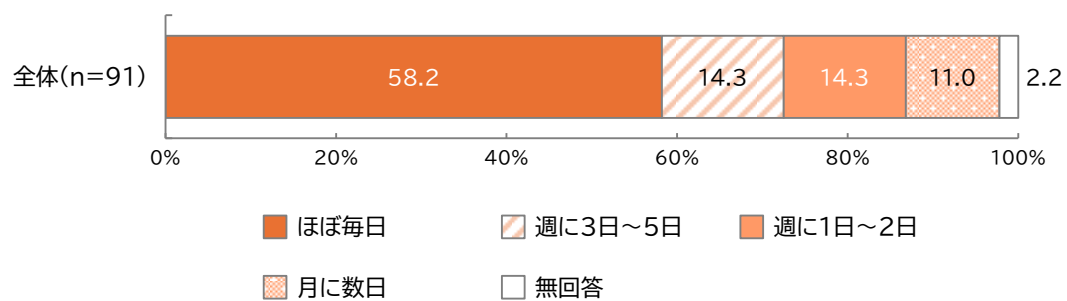


一緒にお世話をする人について、「お父さん・お母さん」との回答が 70.3%と最も高く、次いで「きょうだい」(46.2%)などの順となっています。

(5)お世話をする頻度

問:どのくらいお世話をしていますか。(回答は1つ)

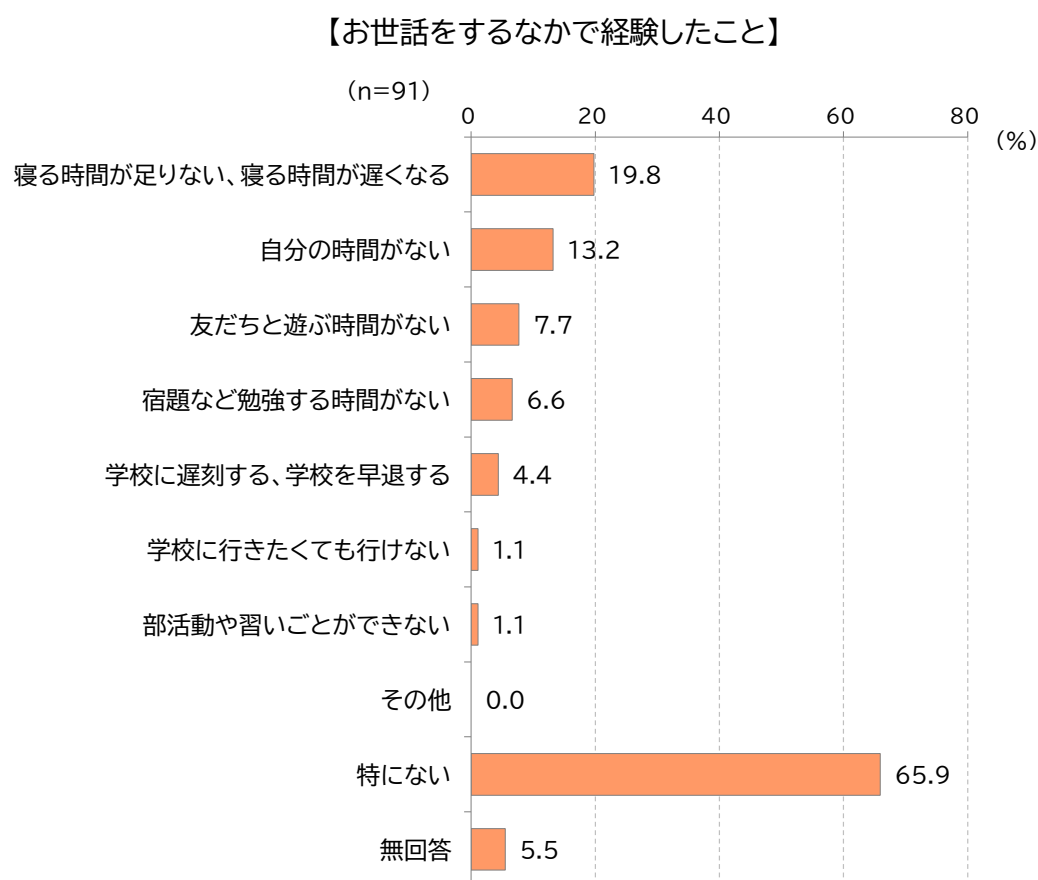
【お世話をする頻度】



お世話をする頻度について、「ほぼ毎日」との回答が 58.2%、「週に3日~5日」、「週に1日~2日」との回答がともに 14.3%などとなっています。

(6)お世話をするなかで経験したこと

問:お世話をする中で、次のような経験はありますか。(回答はあてはまるものすべて)



お世話をするなかで経験したことについて、「特にない」との回答が 65.9%と最も高くなっています。お世話をするなかで経験したことがある人では「寝る時間が足りない、寝る時間が遅くなる」との回答が 19.8%と高く、次いで「自分の時間がない」(13.2%)などの順となっています。

【お世話をするなかで経験したこと(年代区分別)】

		寝る時間が足りない、	自分の時間がない	友達と遊ぶ時間がない	宿題など勉強する時間がない	学校に遅刻する、学校を早退する	学校に行きたくても行けない	部活動や習いごとがで	その他
全体 n= 91		19.8	13.2	7.7	6.6	4.4	1.1	1.1	-
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 77	20.8	15.6	7.8	5.2	1.3	1.3	1.3	-
	中学生 n= 11	18.2	-	9.1	18.2	27.3	-	-	-
	高校生 n= 3	-	-	-	-	-	-	-	-

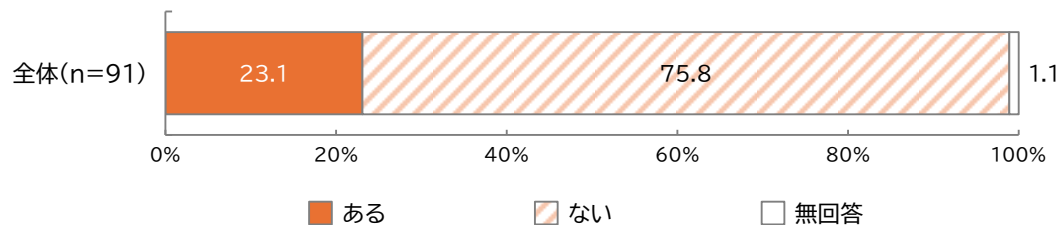
		特 に な い	無 回 答
全体 n= 91		65.9	5.5
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 77	64.9	6.5
	中学生 n= 11	63.6	-
	高校生 n= 3	100.0	-

年代区分別にみると、「寝る時間が足りない、寝る時間が遅くなる」との回答は小学生で約2割、「学校に遅刻する、学校を早退する」との回答が中学生で2割台後半と高くなっています。

(7)お世話をすることに関する相談

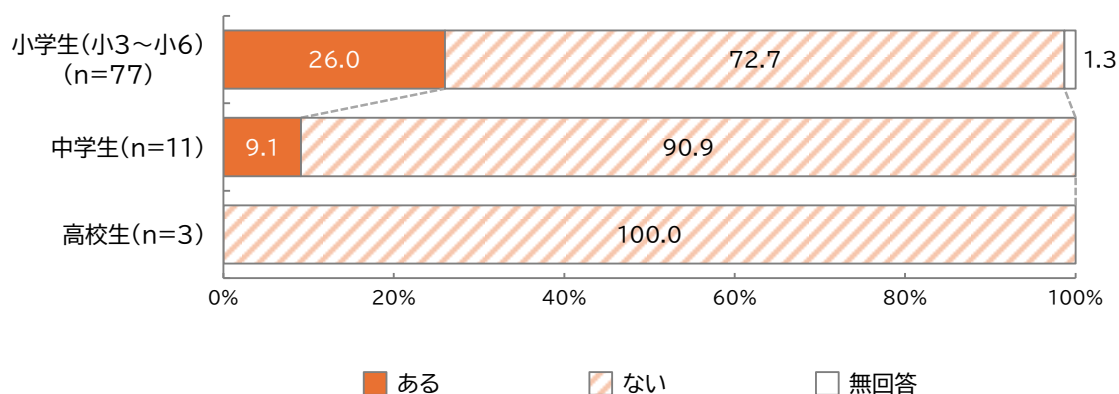
問:あなたはお世話をすることを誰かに相談したことはありますか。(回答は1つ)

【お世話をすることに関する相談経験】



お世話をすることに関する相談経験について、「ある」との回答が 23.1%、「ない」との回答が 75.8%となっています。

【お世話をすることに関する相談経験(年代区分別)】

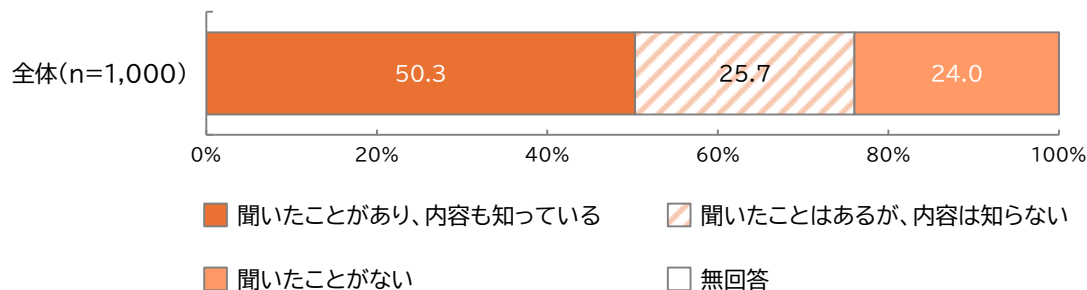


年代区分別にみると、「ある」との回答は小学生で2割台後半となっています。

(8)「ヤングケアラー」という言葉の認知度

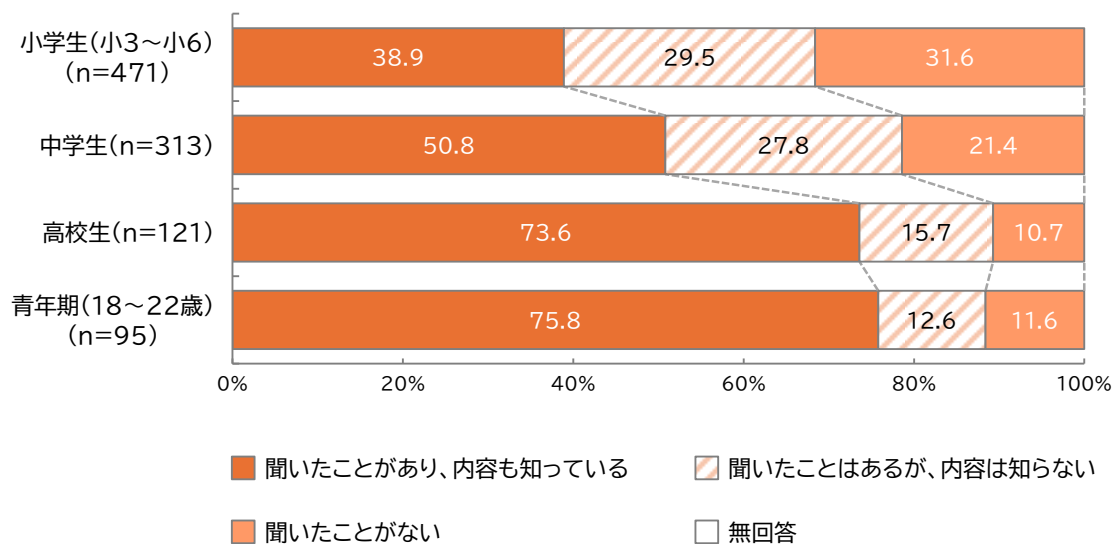
問:「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことはありますか。(〇は1つ)

【「ヤングケアラー」という言葉の認知度】



「ヤングケアラー」という言葉の認知度について、「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答が 50.3%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答が 25.7%、「聞いたことがない」との回答が 24.0%となっています。

【「ヤングケアラー」という言葉の認知度(年代区分別)】



年代区分別にみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答は年代が上がるにつれて高くなっています。

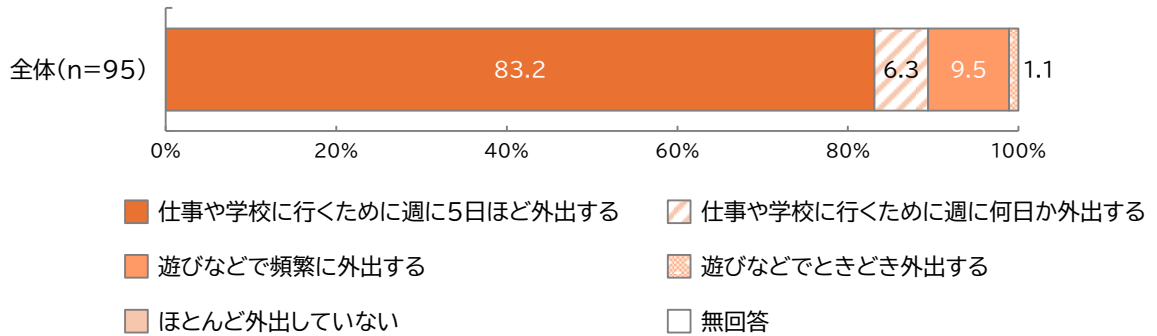
8 外出について

(1)外出の頻度

問：普段、どの程度外出しますか。(回答は1つ)

※青年期(18~22歳)のみ

【外出の頻度】



外出の頻度について、「仕事や学校に行くために週に5日ほど外出する」との回答が 83.2%、「仕事や学校に行くために週に何日か外出する」との回答が 6.3%、「遊びなどで頻繁に外出する」との回答が 9.5%などとなっています。また、「ほとんど外出しない」との回答はありませんでした。

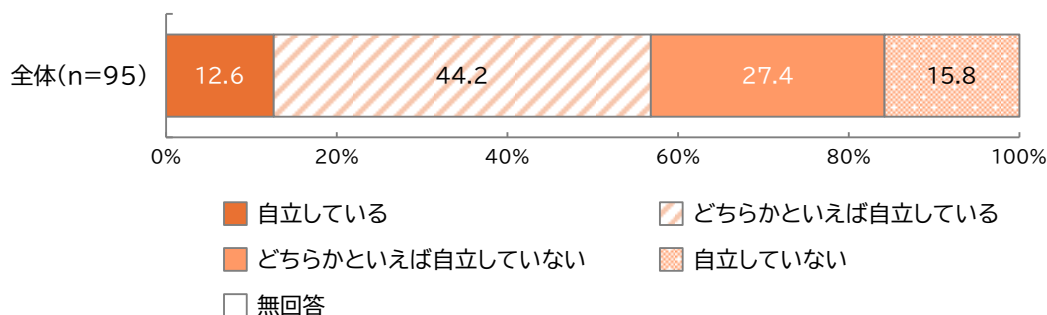
9 自立について

(1)自立している実感

問:現在、あなたは自立していると感じますか。(回答は1つ)

※ここでいう「自立」とは、お金のこと、生活のこと、気持ちの面などを含めて、どの程度自分で判断し、行動できているかを指します。 ※青年期(18~22歳)のみ

【自立している実感】



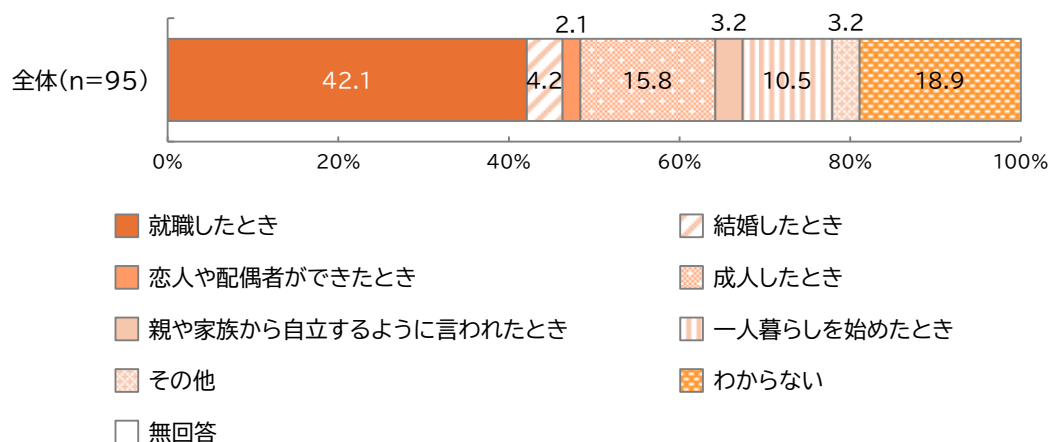
自立している実感について、『自立している』(「自立している」と「どちらかといえば自立している」を合わせた割合)との回答が 56.8%、『自立していない』(「自立していない」と「どちらかといえば自立していない」を合わせた割合)との回答が 43.2%となっています。

(2)自立のタイミング

問:あなたが「自立した」と感じたタイミングはいつですか。また、まだ自立していない場合は、今後「自立する」と感じるタイミングはいつだと思いますか。(回答は1つ)

※青年期(18~22歳)のみ

【自立のタイミング】



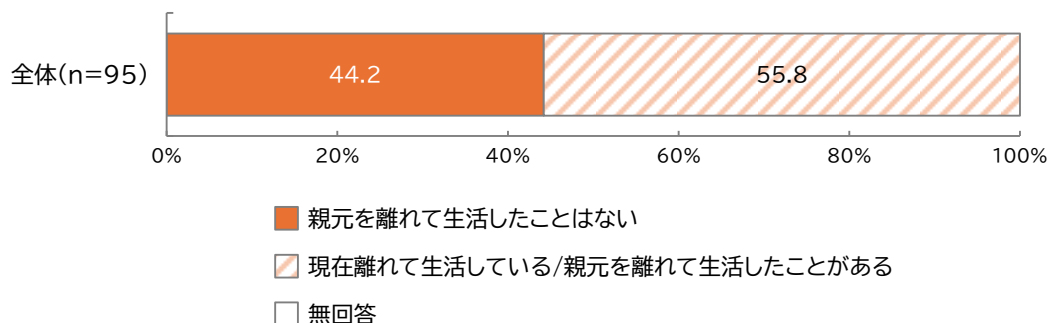
自立のタイミングについて、「就職した時」との回答が 42.1%と最も高く、次いで「成人した時」(15.8%)、「一人暮らしを始めたとき」(10.5%)などの順となっています。

(3)親元から離れて生活をした経験

問:親元を離れて生活したことがありますか。(回答は1つ)

※青年期(18~22歳)のみ

【親元から離れて生活をした経験】



親元から離れて生活をした経験について、「親元を離れて生活したことはない」との回答が 44.2%、「現在離れて生活している／親元を離れて生活したことがある」との回答が 55.8%となっています。

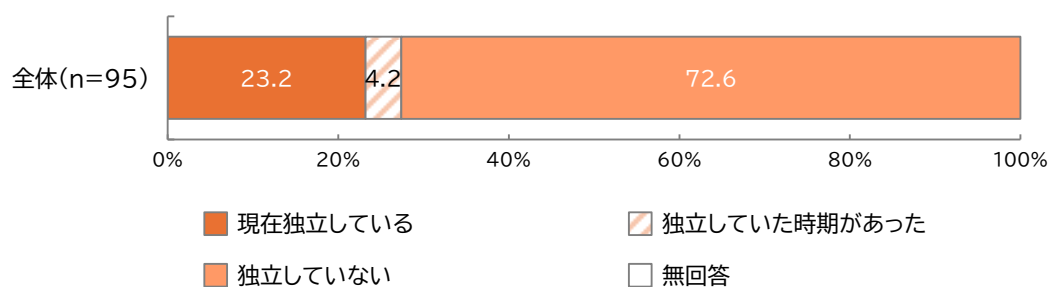
(4)経済的な独立

問:現在、あなたは親から経済的に独立していますか。(回答は1つ)

※ここでいう「経済的に独立している」とは、自分の生活に必要なお金を親の援助に頼るのではなく、だいたい自分で得ている状態をいいます。

※青年期(18~22歳)のみ

【経済的な独立】



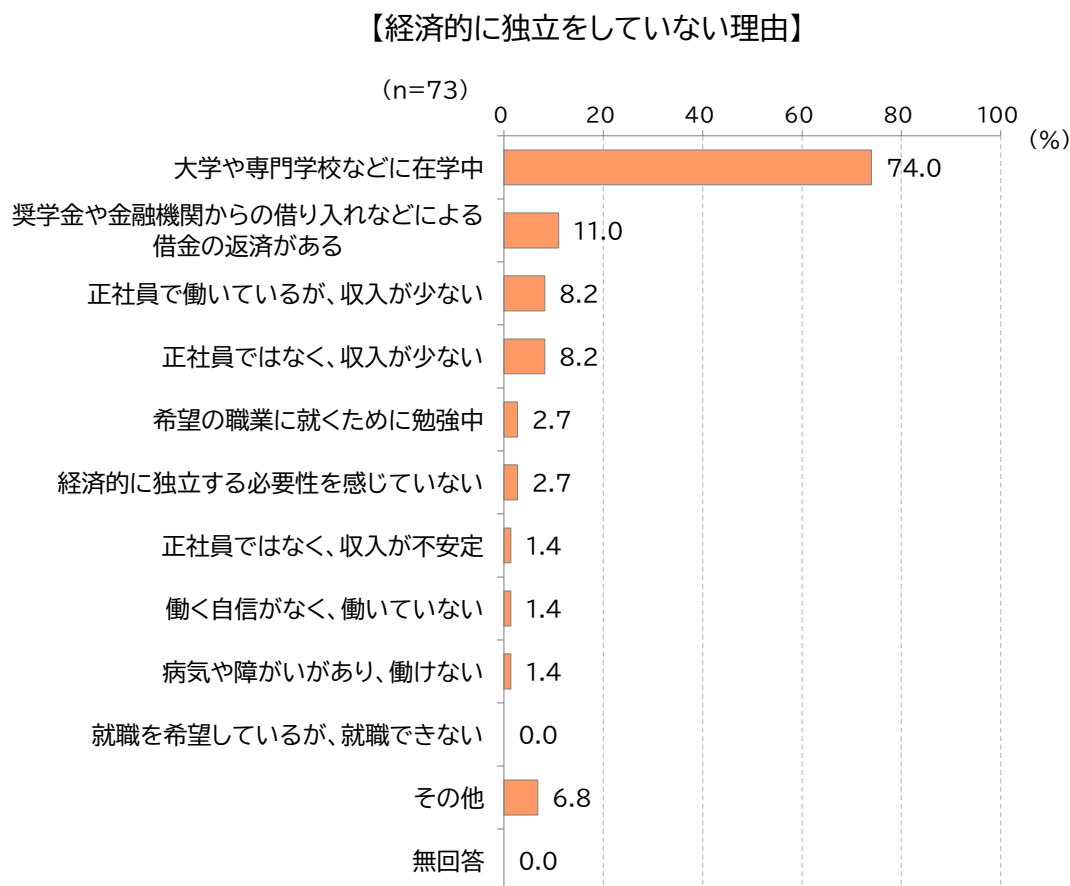
経済的な独立について、「現在独立している」との回答が 23.2%、「独立していた時期があった」との回答が 4.2%、「独立していない」との回答が 72.6%となっています。

(5) 経済的に独立をしていない理由

◆前の問で、「2.独立してた時期があった」、「3.独立していない」と回答した方のみ

問:親から経済的に独立していない理由は何ですか。(回答はあてはまるものすべて)

※青年期(18~22歳)のみ



経済的に独立をしていない理由について、「大学や専門学校などに在学中」との回答が74.0%と最も高く、次いで「奨学金や金融機関からの借り入れなどによる借金の返済がある」(11.0%)、「正社員で働いているが、収入が少ない」、「正社員ではなく、収入が少ない」(ともに8.2%)などの順となっています。

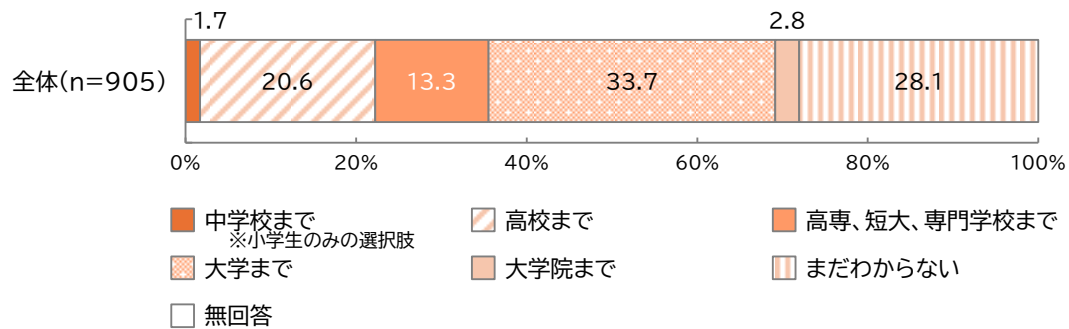
10 将来について

(1) 希望する進学先

問: 将来どこまで進学したいと考えていますか。(回答は1つ)

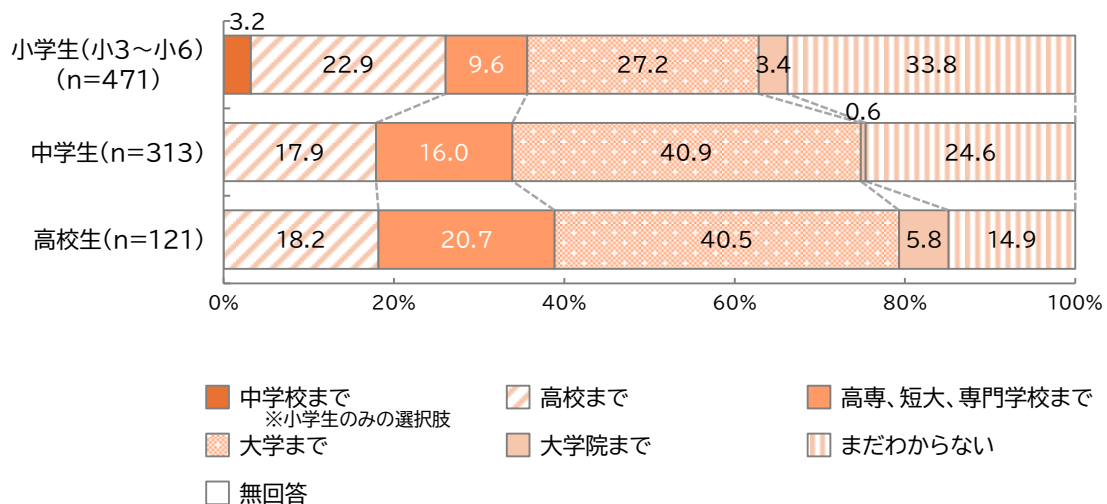
※小学生～高校生のみ

【希望する進学先】



希望する進学先について、「高校まで」との回答が 20.6%、「高専、短大、専門学校まで」との回答が 13.3%、「大学まで」との回答が 33.7%などとなっています。また、「まだわからない」との回答が 28.1%となっています。

【希望する進学先(年代区分別)】



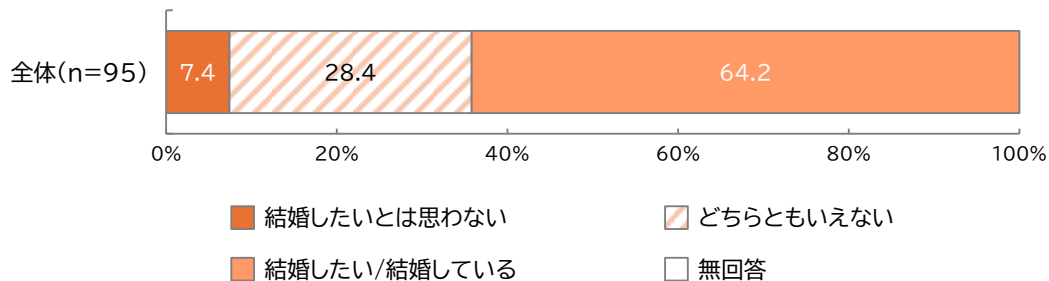
年代区分別にみると、「大学まで」との回答は中学生、高校生で約4割、「まだわからない」との回答は小学生で3割台前半と高くなっています。

(2)結婚の意向

問:将来、結婚したいですか。(回答は1つ)

※青年期(18~22歳)のみ

【結婚の意向】



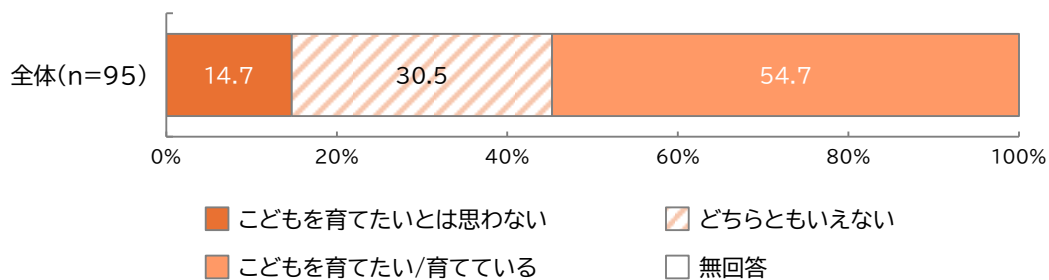
結婚の意向について、「結婚したいとは思わない」との回答が 7.4%、「どちらともいえない」との回答が 28.4%、「結婚したい/結婚している」との回答が 64.2%となっています。

(3)子育ての意向

問:将来、子どもを育てたいですか。(回答は1つ)

※青年期(18~22歳)のみ

【子育ての意向】

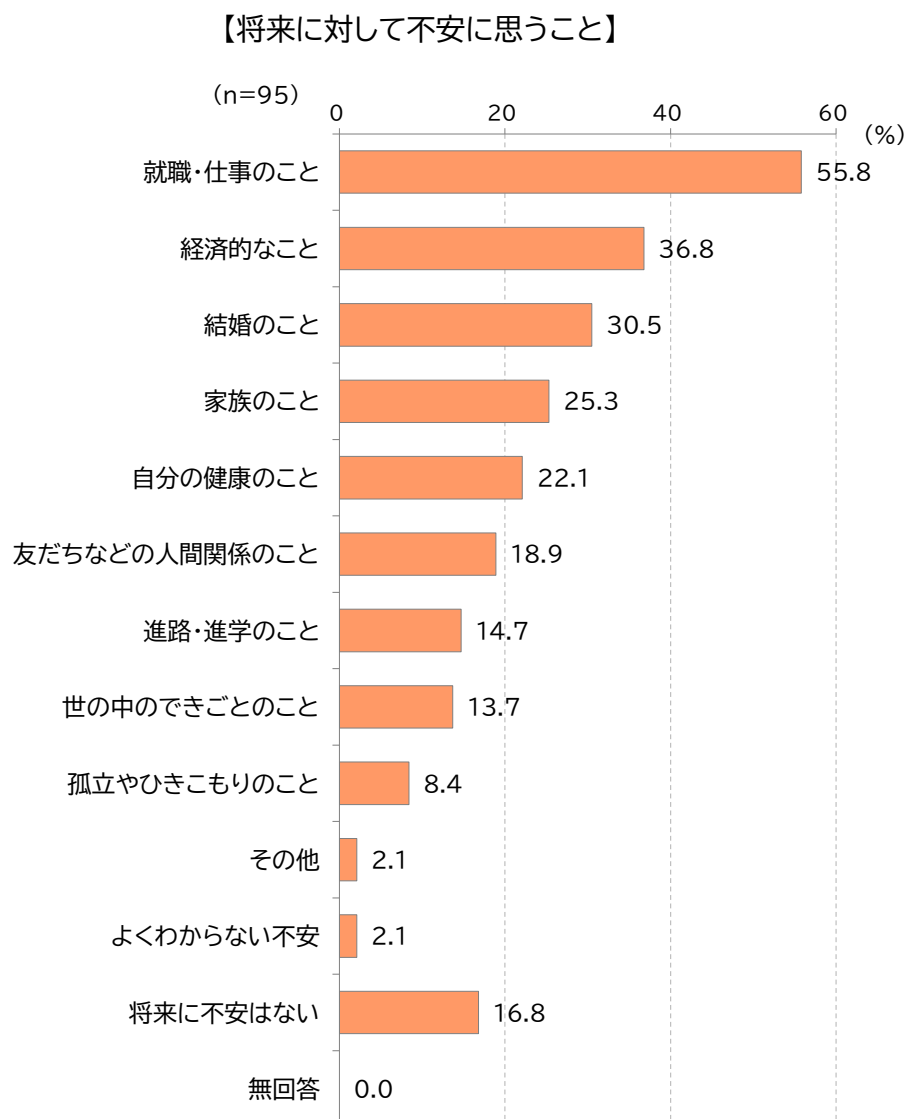


子育ての意向について、「子どもを育てたいとは思わない」との回答が 14.7%、「どちらともいえない」との回答が 30.5%、「子どもを育てたい/育てている」との回答が 54.7%となっています。

(4)将来に対して不安に思うこと

問:将来に対して、不安に思うことはありますか。(回答はあてはまるものすべて)

※青年期(18~22歳)のみ

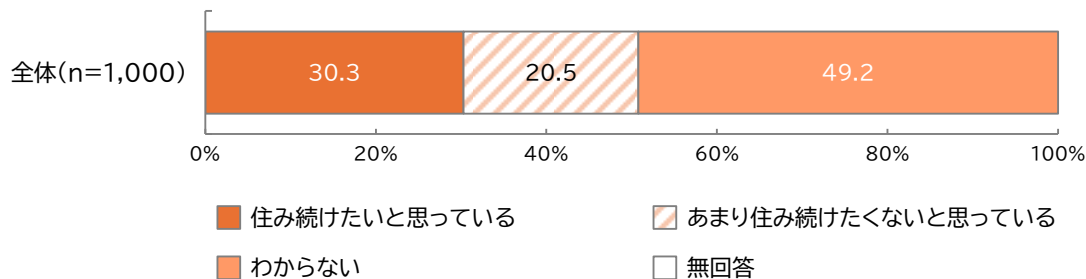


将来に対して不安に思うことについて、「就職・仕事のこと」との回答が 55.8%と最も高く、次いで「経済的なこと」(36.8%)、「結婚のこと」(30.5%)などの順となっています。

(5)北栄町での定住意向

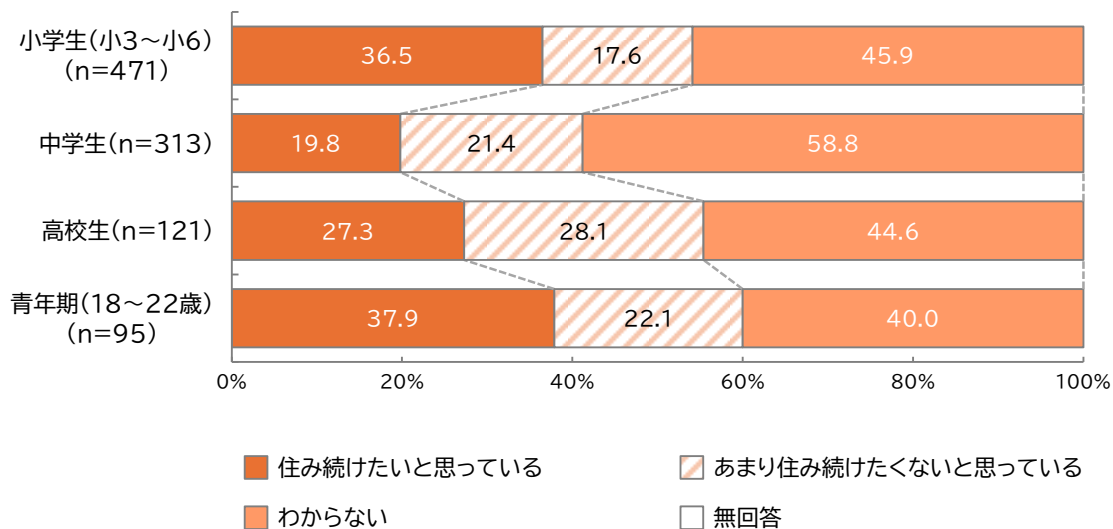
問:あなたは大人になったとき北栄町に住みたいと思いますか。(回答は1つ)

【北栄町での定住意向】



北栄町での定住意向について、「住み続けたいと思っている」との回答が30.3%、「あまり住み続けたくないと思っている」との回答が20.5%、「わからない」との回答が49.2%となっています。

【北栄町での定住意向(年代区分別)】



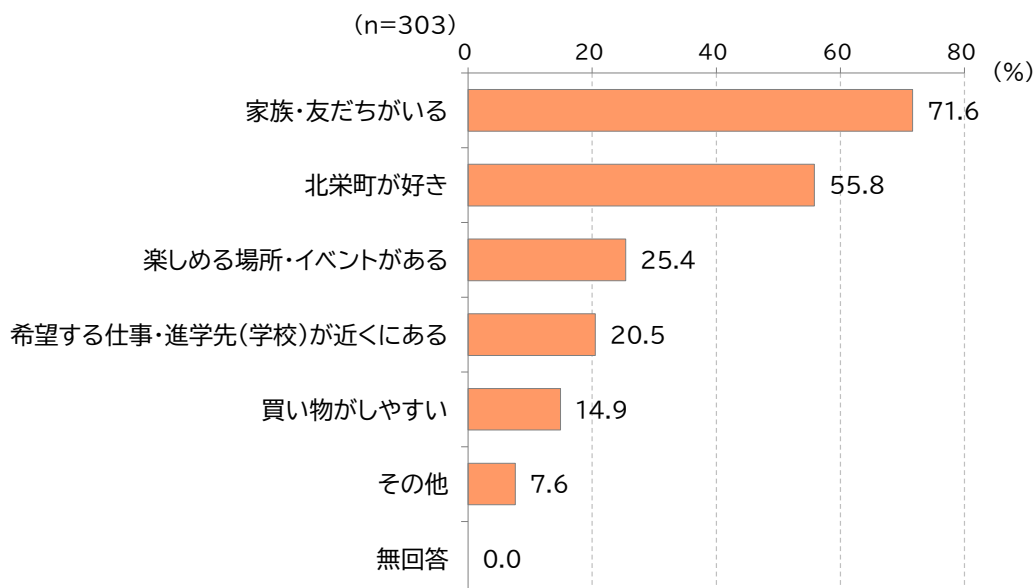
年代区分別にみると、「住み続けたいと思っている」との回答は小学生、青年期で3割台後半、「あまり住み続けたくないと思っている」との回答は高校生で2割台後半と高くなっています。

(6)北栄町に住み続けたい理由

◆前の問で、「住み続けたいと思っている」と回答した方のみ

問:大人になったとき北栄町に住みたい理由を教えてください。(回答はあてはまるものすべて)

【北栄町に住み続けたい理由】



北栄町に住み続けたい理由について、「家族・友だちがいる」との回答が 71.6%と最も高く、次いで「北栄町が好き」(55.8%)などの順となっています。

【北栄町に住み続けたい理由(年代区分別)】

		家族・友だちがいる	北栄町が好き	楽しめる場所・イベントがある	(希望する仕事・進学先(学校)が近くにある)	買い物がしやすい	その他	無回答
全体 n= 303		71.6	55.8	25.4	20.5	14.9	7.6	-
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 172	73.8	62.8	37.2	21.5	20.9	6.4	-
	中学生 n= 62	69.4	50.0	14.5	14.5	11.3	8.1	-
	高校生 n= 33	66.7	42.4	6.1	24.2	-	9.1	-
	青年期(18~22歳) n= 36	69.4	44.4	5.6	22.2	5.6	11.1	-

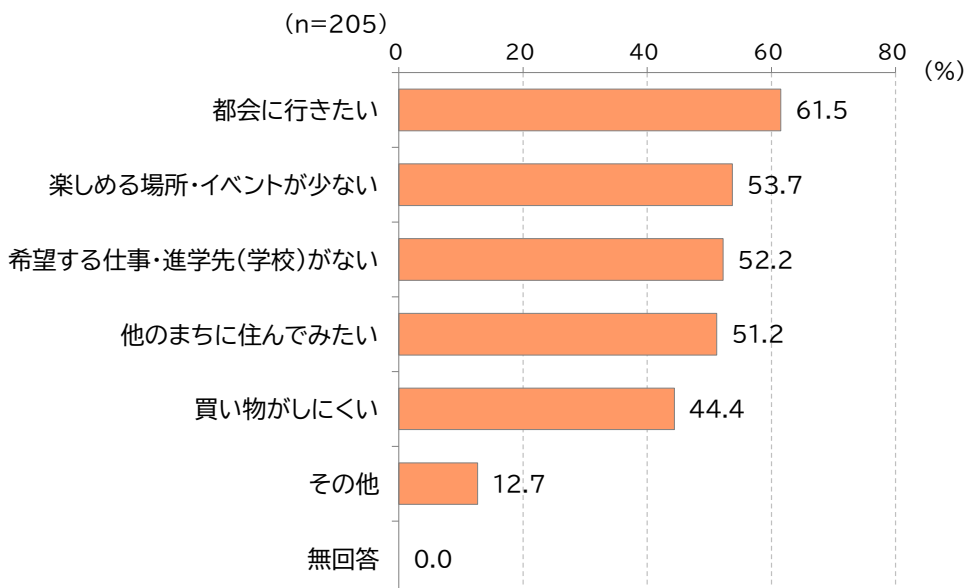
年代区分別にみると、「北栄町が好き」との回答は小学生で6割台前半、「楽しめる場所・イベントがある」との回答は小学生で3割台後半と高くなっています。

(7)北栄町に住みたくない理由

◆前の問で、「あまり住み続けたくないと思っている」と回答した方のみ

問:大きくなってから北栄町に住みたくない理由を教えてください。(回答はあてはまるものすべて)

【北栄町に住みたくない理由】



北栄町に住みたくない理由について、「都会に行きたい」との回答が 61.5%と最も高く、次いで「楽しめる場所・イベントが少ない」(53.7%)、「希望する仕事・進学先(学校)がない」(52.2%)、「他のまちに住んでみたい」(51.2%)などの順となっています。

【北栄町に住みたくない理由(年代区分別)】

		都会に行きたい	楽しめる場所・イベントが少ない	希望する仕事・進学先(学校)がない	他のまちに住んでみたい	買い物がしにくい	その他	無回答
全体 n= 205		61.5	53.7	52.2	51.2	44.4	12.7	-
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 83	50.6	37.3	48.2	62.7	31.3	12.0	-
	中学生 n= 67	76.1	61.2	52.2	46.3	50.7	13.4	-
	高校生 n= 34	58.8	76.5	61.8	41.2	61.8	8.8	-
	青年期(18~22歳) n= 21	61.9	57.1	52.4	38.1	47.6	19.0	-

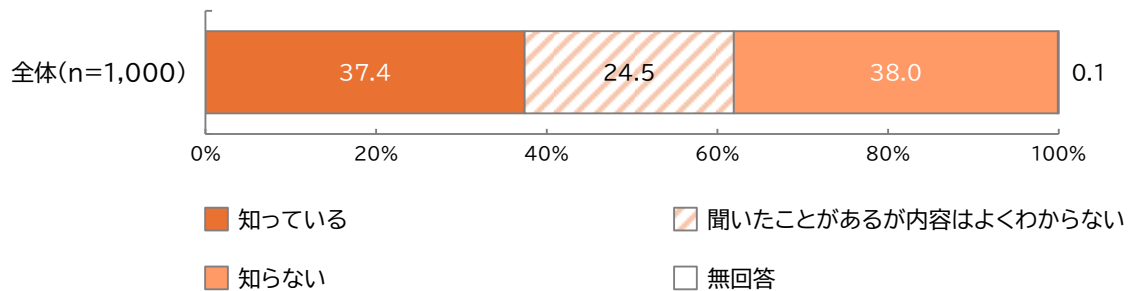
年代区分別にみると、「都会に行きたい」との回答は中学生で7割台後半、「楽しめる場所・イベントが少ない」との回答は高校生で7割台半ば、「他のまちに住んでみたい」との回答は小学生で6割台前半と高くなっています。

11 こども・若者の権利について

(1)『意見を表明する権利』の認知度

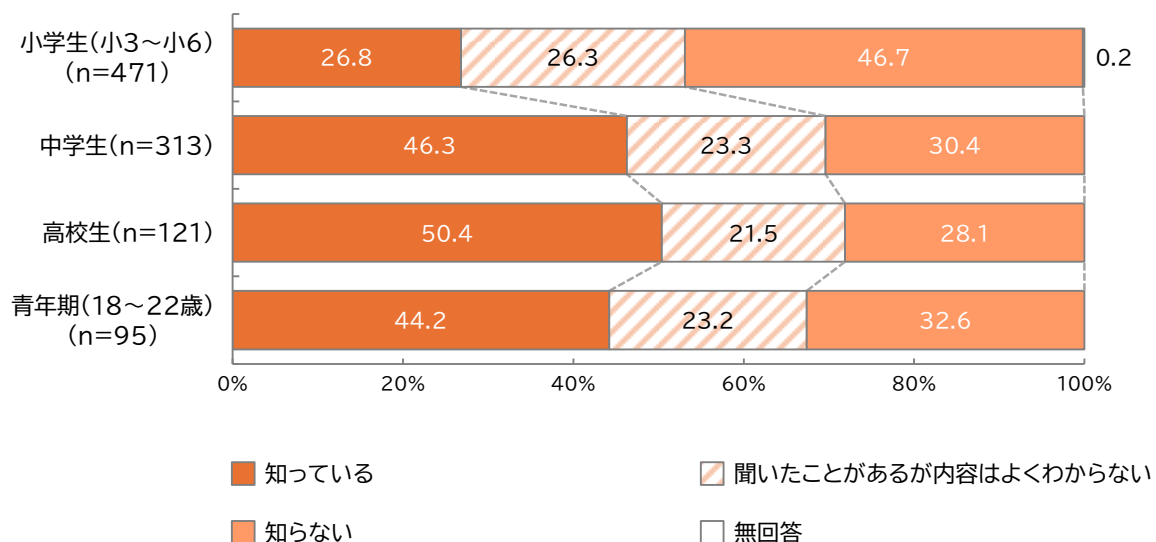
問:あなたは、すべてのこどもには『意見を表明する権利』(こどもが、自分に関係あることについて自由に意見を表すことができる権利)があるということを知っていますか。(回答は1つ)

【『意見を表明する権利』の認知度】



『意見を表明する権利』の認知度について、「知っている」との回答が37.4%、「聞いたことがあるが内容はよくわからない」との回答が24.5%、「知らない」との回答が38.0%となっています。

【『意見を表明する権利』の認知度(年代区分別)】

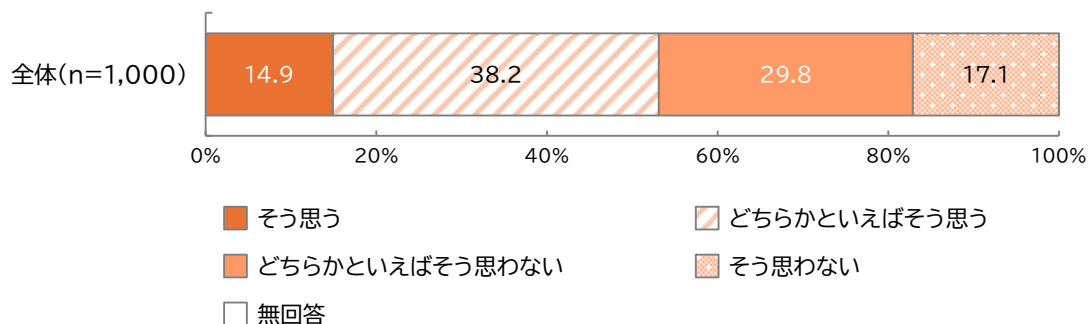


年代区分別にみると、「知っている」との回答は高校生で約5割、「知らない」との回答は小学生で4割台後半と高くなっています。

(2)自分の意見を伝えたり、叶える取組への参加意向

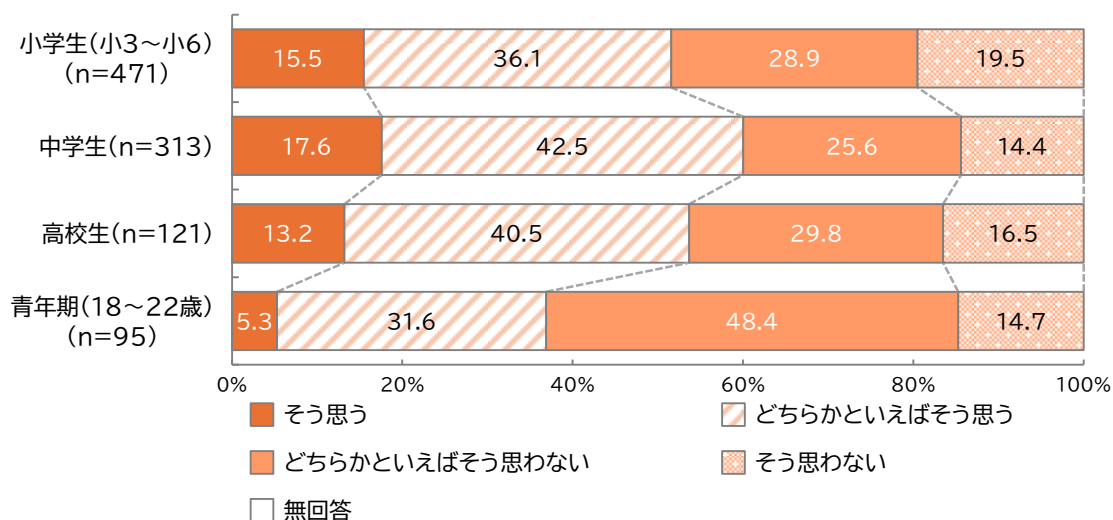
問:あなたは、町へ自分の意見(考え)を伝えたり、それを叶える取り組みに参加したいと思いますか。(回答は1つ)

【自分の意見を伝えたり、叶える取組への参加意向】



自分の意見を伝えたり、叶える取組への参加意向について、『そう思う(参加したいと思う)』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合)との回答が 53.1%、『そう思わない(参加したいと思わない)』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた割合)との回答が 46.9%となっています。

【自分の意見を伝えたり、叶える取組への参加意向(年代区分別)】



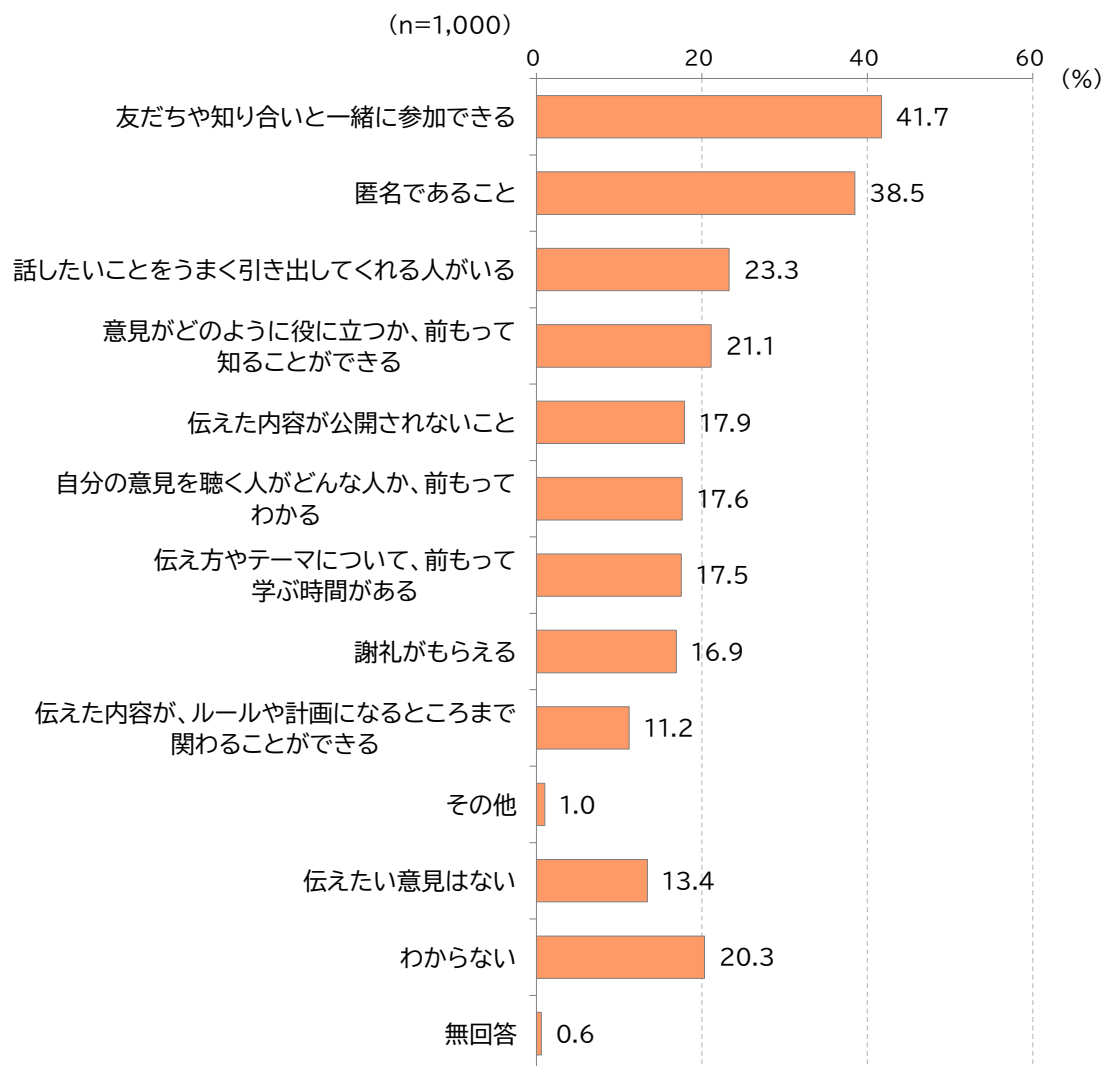
年代区分別にみると、『そう思う(参加したいと思う)』との回答は中学生で約6割と高く、青年期で3割台後半と低くなっています。

(3)自分の意見を伝えやすくなると思う工夫やルール

問:あなたはどんな工夫やルールがあれば、自分の意見(考え)を伝えやすいと思いますか。

(回答はあてはまるものすべて)

【自分の意見を伝えやすくなると思う工夫やルール】



自分の意見を伝えやすくなると思う工夫やルールについて、「友だちや知り合いと一緒に参加できる」との回答が 41.7%と最も高く、次いで「匿名であること」(38.5%)、「話したいことをうまく引き出してくれる人がある」(23.3%)などの順となっています。

【自分の意見を伝えやすくなると思う工夫やルール(年代区分別)】

		友人や知り合いと一緒に参加できる	匿名であること	話したいことをうまく引き出してくれる人がいる	意見がどのように役に立つことができる	伝えたい内容が公開されないこと	自分の意見を聞く人がわかる	伝える方がテーマに沿った時間がある	謝礼がもらえる
全体 n= 1,000		41.7	38.5	23.3	21.1	17.9	17.6	17.5	16.9
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 471	38.2	14.6	23.4	17.6	15.9	19.1	17.8	8.9
	中学生 n= 313	47.0	53.7	18.2	18.2	21.7	14.7	14.7	23.0
	高校生 n= 121	45.5	69.4	31.4	33.1	21.5	18.2	22.3	24.0
	青年期(18~22歳) n= 95	36.8	67.4	29.5	32.6	10.5	18.9	18.9	27.4
		伝えたい内容が、わかるようにまとめる	その他	伝えたい意見はない	わからない	無回答			
全体 n= 1,000		11.2	1.0	13.4	20.3	0.6			
年代区分別	小学生(小3~小6) n= 471	9.6	0.2	24.8	23.6	1.3			
	中学生 n= 313	8.3	0.6	2.2	24.6	-			
	高校生 n= 121	19.0	3.3	4.1	9.9	-			
	青年期(18~22歳) n= 95	18.9	3.2	5.3	3.2	-			

年代区分別にみると、「匿名であること」との回答は高校生、青年期で6割台後半「話したいことをうまく引き出してくれる人がいる」との回答は高校生、青年期で3割前後、「意見がどのように役に立つか前もって知ることができる」との回答は高校生、青年期で3割台前半と高くなっています。

12 自由意見

問:北栄町についてのご意見を、ご自由にお書きください。

※意見をカテゴリー分けし、抜粋して掲載

●学校に関すること

意見	年代区分	居住地区
子どもも選挙みたいなことをしてみたい。	小学生(小3～小6)	大栄地区
町立図書館で静かに勉強できる。	小学生(小3～小6)	大栄地区
学校の校庭に芝生を敷いてほしい。	小学生(小3～小6)	北条地区
入るものが少ないし使いにくいので、ランドナップを廃止してほしい。	小学生(小3～小6)	大栄地区
図書館に勉強ができる自習室をつかってほしい。	中学生	大栄地区
最近の学生、学校が荒れてきている気がする。	中学生	北条地区
学校のいじめなどがなくなって、皆が心から「学校は楽しく学べるところ」だと思えるような取組や注意をしてほしい。	高校生	北条地区
小中学校に ALT の先生がいない時期があった。	高校生	北条地区
北条小・中と大栄小・中が交流するような機会があれば、より北栄町としての一体感が出るのではないかと思う。	青年期 (18歳～22歳)	北条地区

●生活環境に関すること

意見	年代区分	居住地区
ごみを拾ってくれている人がいるところが良い。	小学生(小3～小6)	大栄地区
北栄町に、もっと買い物などができるたくさんの店が集まったショッピングモールがほしい。	小学生(小3～小6)	北条地区
交通安全のルールをみんなに伝えてほしい。	小学生(小3～小6)	北条地区
田舎すぎる。コンビニが少ない。書店も少ない。	中学生	大栄地区
公共の施設を増やしてほしい。	中学生	大栄地区
街灯が少ないので夜道があぶないと感じる。	高校生	北条地区
交通の便を良くしてほしい。スーパーなどのお店を増やしてほしい。	高校生	北条地区
北栄町をソーラーパネルばかりにしないでほしい。	青年期 (18歳～22歳)	北条地区

●まちの魅力に関すること

意見	年代区分	居住地区
さらにまちを栄えさせるために、青山剛昌ふるさと館の周辺にもっとお店を開くべきだと思う。	小学生(小3～小6)	大栄地区
地域の皆さんが優しい。	小学生(小3～小6)	北条地区
北栄町のいろいろな祭りがある。	小学生(小3～小6)	北条地区

意見	年代区分	居住地区
地域の人たちが支え合っているところがとても良い。	中学生	大栄地区
建物などの施設を増やしてほしい。	中学生	北条地区
自然が豊かで田舎なのが魅力だと思うので、このままのどかな自然を大事にしてほしい。	高校生	北条地区
コナン通りが活発になってきてすごくいいと思うので、起業支援政策をもっと組み込んでほしい。	青年期 (18歳～22歳)	大栄地区
住みやすく、人があたたかい。	青年期 (18歳～22歳)	大栄地区

●北栄町への要望に関すること

意見	年代区分	居住地区
一時預かりの対象を広げてほしい。	小学生(小3～小6)	北条地区
生活水準が上がらないのに税が上がり、生活が苦しくなっているの で住民税を低くしてほしい。	高校生	北条地区
働き口の確保、企業の誘致をし、若者が残りたがる環境にしてほし い。	青年期 (18歳～22歳)	大栄地区
子育てでお金が沢山かかるから、助成金などを増やしてほしい。	青年期 (18歳～22歳)	大栄地区
コナンをもっとうまく活用して町をアピールしてほしい。	青年期 (18歳～22歳)	大栄地区